

豊中市健康づくり計画 年次報告書

平成 26 年度(2014 年度)版

豊中市

Toyonaka City

■ 本報告書について

平成 25 年(2013 年)3 月、豊中市健康づくり計画が策定されました。「健やか親子 21 とよなか～豊中市母子保健計画Ⅱ」を「健康」の視点から整理し、「健康とよなか 21」と統合して、あらゆる世代を通じた健康づくりを推進します。

健康は、市民一人ひとりが生活する環境に影響を受けることから、市民生活に関連する様々な部局の取り組みの一つ一つが「健康づくり」につながると考えています。そこで、保健分野だけでなく、福祉・保育・教育・経済など、様々な分野の機関が連携し効果的に取り組みを推進し、市民の健康づくりを支援します。

本書は、健康づくりに関する平成 26 年度（2014 年度）の取り組みをまとめたものです。取り組み目標や数値目標の達成に向け、進捗状況を把握・点検し、評価・見直しを行います。

目次

目次

第1章 健康づくり 取り組みレポート	1
事業① 受動喫煙防止に関する取り組み	2
事業② あたまとからだの体操講座	7
第2章 計画評価指標に関する市民意識調査 実施結果	11
第3章 各事業の進行状況	30
I. 栄養・食生活	32
II. 運動・身体活動	38
III. こころの健康づくり	47
IV. たばこ	54
V. アルコール等	55
VI. 歯や口の健康	55
VII. 健康管理	56
VIII. 子育て・子育て	78
その他	81

第1章

健康づくり 取り組みレポート

第1章では、平成26年度に市内で実施された、健康づくりに関する取り組みの一部をご紹介します。写真や資料なども多く掲載し、取り組み内容について楽しく読み進めていただけます。



マチカネくん

事業①

受動喫煙防止に関する取り組み

取り組み分野

取り組み分野 — IV：たばこ

取り組み内容 — A：たばこの害に関する情報提供や知識の普及啓発

対象世代

妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期
	(0～5歳)	(6～14歳)	(15～24歳)	(25～39歳)	(40～64歳)	(65歳～)

関連事業一覧掲載内容(一部抜粋)

担当課：保健企画課(現・保健医療課)

内容：受動喫煙による健康への悪影響に関する啓発活動や、学校・医療機関・官公庁施設・民間施設等での禁煙化および禁煙表示を推進します。

実績：市広報誌、ホームページに受動喫煙防止・禁煙表示の協力に関する記事を掲載
禁煙表示ステッカー配布ちらしの配布
(世界禁煙デーイベントなどの各事業・催しの場など)

評価：広報誌やちらしを見て禁煙表示に関する問い合わせもあり、市民や民間事業者に受動喫煙について関心を持ってもらう機会につながっています。

掲載箇所：P.54 事業No.150～152

内容

- (1) 受動喫煙について
- (2) 豊中市における受動喫煙防止に関する取り組み
- (3) まとめ

(1) 受動喫煙について

「受動喫煙」とは、一般的に、「たばこを吸わない人が、**自分の意思とは関係なく、他人のたばこの煙を吸わされること**」をさす言葉です。

たばこは、喫煙者本人はもちろんのこと、周囲の人の健康にも悪影響を与えます。

喫煙者が吸い込む煙を「主流煙」、たばこから立ち上る煙を「副流煙」といいますが、有害物質は、主流煙よりも副流煙のほうに多く含まれています。

たばこを吸わない人でも、受動喫煙によって、目やのどの痛み・息苦しさ・めまい・頭痛などの症状があらわれることがあるほか、長期的な影響として、心筋梗塞や動脈硬化、肺がん、乳がんなど様々な疾病を引き起こす危険性が高まることがわかっています。また、妊婦やお腹の中の赤ちゃん、発達の途中にあるこどもは、おとなよりも深刻な影響を受ける可能性があります。

平成15年(2003年)5月に施行された「健康増進法」の規定により、多数の者が利用する施設の管理者には、受動喫煙による健康への悪影響を未然に防ぐよう努力する義務が課せられています。

(同法第25条)

多数の者が利用する施設・・・学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店など

しかし、分煙や禁煙は努力義務であり、特に罰則もないことから、対策が徹底されていない実情があることも事実です。

豊中市では、
『豊中市有施設受動喫煙防止ガイドライン』に基づき、
すべての市有施設で建物内全面禁煙を実施しています

プラスα

◆「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約 (WHO Framework Convention on Tobacco Control)」

通称「たばこ規制枠組条約 (FCTC)」。平成17(2005)年2月27日に発効した国際条約で、喫煙が健康・社会・環境および経済に及ぼす悪影響から、現在および将来の世代を守ることを目的として策定されました。締約国は、たばこ消費の削減に向けて、広告・販売への規制、受動喫煙防止対策、未成年への販売禁止などが求められることになり、日本では、2004年の批准後、たばこの包装等に掲載する警告表示を大きくする、taspoの導入、飲食店等における分煙を求めるなどの取り組みがなされてきました。

対策が進む一方で、国際社会からは、未だ不十分であるという指摘も受けています。例えば、受動喫煙の防止の為に公共空間においては「屋内完全禁煙」を実施すべきところ、分煙すらされていない施設が存在する、あるいは、たばこ包装における警告表示が未だ不十分である(写真やもっと直接的な表現を用いるべき)、といったもので、今後より一層の対策が求められるところです。

(2) 豊中市における受動喫煙防止に関する取り組み

保健医療課では、たばこの煙を吸いたくない人が吸わずに済む環境づくりとして、主に以下の取り組みを行っています。

- ① 受動喫煙に関する情報の普及啓発・禁煙表示の推進
- ② 市内禁煙治療・禁煙サポート取扱い医療機関一覧の作成・周知

① 受動喫煙に関する普及啓発・禁煙表示の推進

■ 世界禁煙デーパネル展 *健康増進課と合同で実施

WHOは、毎年5月31日を「世界禁煙デー」と定めています。

厚生労働省は、この「世界禁煙デー」からの1週間を「禁煙週間」(6月6日まで)とし、禁煙や受動喫煙防止の普及啓発など、たばこ対策に関する取り組みを推進しています。

豊中市では、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」に合わせ、たばこに関する情報や取り組みをお知らせするパネル展などを行っています。

【平成26年度パネル展の様子】



期間：2014年5月28日(水)～6月3日(火)

場所：市役所第2庁舎

内容：たばこに関する情報や取り組みをパネルにして展示するほか、資料・チラシなどの啓発媒体を配布。

また、1日2回(10時と14時、最終日は10時のみ)禁煙週間について館内放送を実施しました。

中央付近パネルでは、主に受動喫煙の害とその対策に関する取り組みの展示、周囲のパネルには、クイズ形式で、喫煙による健康への悪影響と禁煙支援に関する情報を展示しました。



※5月19日(月)～5月27日(火)

中央公民館ロビーでも同内容で実施。

(館内放送は市役所庁舎のみ)

■ 『空気のきれいな施設』の募集・周知

平成 26 年度から、市内の民間施設等のうち、終日禁煙を実施しており、かつ禁煙表示を実施している施設を『空気のきれいな施設』として募集し、市ホームページ等で公表する取り組みを始められています。

終日禁煙を実施する施設の情報を提供することで、たばこの苦手な方たちが受動喫煙の心配をせず安心して利用できる店舗を選択しやすくするとともに、市内事業者（店舗）における禁煙表示の推進・禁煙化の推進を目的としています。

現在、飲食店を中心に、薬局薬店や保育教育施設等の様々な施設 81 施設からご協力をいただいています。
※市有施設については、ガイドラインにより全施設が建物内禁煙を実施している為掲載していません。



なお、禁煙を実施しているものの表示をしていない施設については、希望があれば、併せて豊中市版禁煙表示ステッカーも配布しています。

この取り組みについては、「うちのお店も健康づくり応援団」に対し協力依頼を行っているほか、毎月保健所で行われている食品営業許可更新時講習会（主催：衛生管理課）受講者に対し、取り組みの周知と協力依頼を行っています。

一覧の作成には、施設名や所在地だけでなく、営業時間や PR ポイント、ホームページアドレスなどの情報も掲載しています。

② 市内禁煙治療・禁煙サポート取扱い医療機関一覧の作成・周知

受動喫煙を防止する環境づくりの1つとして、(一社)豊中市医師会の協力のもと、禁煙治療や禁煙サポートを取り扱っている市内医療機関の一覧を作成しています。この取り組みでは、禁煙を希望する市民の方に対し、禁煙治療や禁煙サポートを提供する医療機関の情報を提供することで、喫煙者の減少ひいては禁煙環境の整備につなげることをめざしています。



情報は上のようなリーフレットとしてまとめ、表紙には、喫煙による健康への悪影響、禁煙によって得られる健康上・経済上のメリットを掲載し、裏表紙には禁煙相談の連絡先を掲載しています。健康に関する情報については毎年トピックを更新し、内容検討の際には、(一社)豊中市歯科医師会ならびに(一社)豊中市薬剤師会にもご協力いただきました。

作成したリーフレットについては、情報を広く市民の方に知っていただけるよう、広報とよなかでの周知、禁煙デー等健康づくり関連のイベントや市役所議会棟の喫煙スペースでの掲示、豊中市薬剤師会会員店舗での配布依頼、特定健診受診者への配布などを行っています。

(3) まとめ

平成27年度禁煙週間のテーマが「2020年、スモークフリーの国を目指して～東京オリンピック・パラリンピックへ向けて～」であったことから分かります。受動喫煙防止対策はこれからの動向が大きな注目を集める政策の1つとなっています。公共スペースや飲食店などの完全禁煙の実施や罰則付きの法律・条例の制定を求める意見がある一方、経営上等の理由からマナー・モラルの啓発や分煙でとどめるべきといった声も大きく、議論は様々です。また、嫌煙派と容認派とで感情論の応酬になりやすい分野でもあります。しかし、少なくとも、受動喫煙が非喫煙者や胎児・子どもの健康にも悪影響を及ぼすことは事実であり、対策が必要であることは間違いありません。

市の今後の取り組みとしては、受動喫煙の害について啓発するとともに、禁煙を希望する人に禁煙支援情報を届け、たばこの煙を吸いたくない人には『空気のきれいな施設』の情報をお知らせすることで、少しでも受動喫煙を防ぐ環境づくりを進めていきたいと考えています。

事業②

あたまとからだの体操講座

取り組み分野

- 取り組み分野 — II：運動・身体活動
取り組み内容 — A：運動・身体活動に関する知識の普及啓発

対象世代

高年期（65歳～）

関連事業一覧掲載内容

- 担当課：地域保健課（現・健康増進課）
内容：活動的に元気に生活ができることを目的とする介護予防の動機づけの場として、運動および認知機能低下予防に着目して実施しています。
実績：一期6回の講座を四期実施しました。
参加実人数65人、参加延人数325人でした。
評価：参加人数はほぼ前年度と横ばい。
集団での講座であるが、保健センターの機能を取り入れた個別の対応ができました。
掲載箇所：P.38 事業No.38

内容

- (1) 事業の目的
- (2) 事業内容
- (3) まとめ

(1) 事業の目的

高齢者の方は、転倒によるけがや骨折から介護が必要な状態になることが多く、転倒の予防は、いつまでも健康に自分らしく生活していくためにとても重要です。国は、高齢者が要介護状態に陥るのを防ぎ、地域で自立した生活が送れるよう、介護保険法の中で、市町村による介護予防事業^{*1)}の実施を義務付けています。

豊中市においては、介護予防事業のうち、一次予防事業^{*2)}のひとつとして「あたまとからだの体操講座」があり、加齢に伴う生活機能の低下に着目し、単に長寿であることをめざすのではなく、活動的に元気に生活ができることを目的とする介護予防の動機づけの場として実施しています。認知機能・運動機能を高めるための実技プログラムを通して、頭と体を楽しく動かしながら、介護予防に重要な能力を高めます。

(2) 事業内容

- 対象者：65歳以上の市民
- 定員：20名
- 場所：すこやかプラザ運動実習室（豊中市中部保健センター）
- 参加費：無料
- 従事者：指導者(作業療法士)1名、看護師1名、介助員3名
- 内容：1期6日間のプログラムを、第一期～第五期の5期実施（H26は4期実施）

【各回の流れ】

バイタルチェック⇒問診⇒主プログラム
(血圧測定)

身体を動かす機会が多いため、安全上の観点から、開始時に毎回血圧測定と問診を実施しています

初日	オリエンテーション・認知機能テスト
2日目	運動機能テスト
3日目	認知・運動機能テスト結果説明 実技プログラム
4日目	実技プログラム
5日目	実技プログラム
最終日	実技プログラム・まとめ

*1) 介護予防事業…対象：65歳以上の高齢者 根拠法：介護保険法（第115条の45）

高齢者が、できる限り介護状態にならずに地域で生活できるよう、介護予防に関する知識普及、専門職による訪問指導・相談などを行う事業のことで、一次予防事業と二次予防事業から構成されている。

*2) 一次予防事業…介護予防事業のうち、すべての人（主として、活動的な状態にある元気な高齢者）を対象とした事業。出来るだけ長く生きがいを持ち地域で自立した生活が送れるよう、生活機能の維持や向上を図る。介護予防教室や講演会、啓発媒体を通じた介護予防に関する知識の普及啓発、地域ボランティアの育成・支援などを行っている。

【主プログラムについて】

- ① 現在の自身の状態を知ってもらう
 - 運動機能テスト(握力・TUG^{*1})テスト・開眼片脚立ち・足指力^{*2}測定・5m歩行)
 - 認知機能テスト(ファイブコグ^{*3})検査)
- ② 実技プログラムの実施
 - 運動機能・・・転倒予防を主眼とした運動を実施
 - 認知機能・・・脳の機能のうち、認知症になる前に衰えやすい記憶機能
・注意分割機能を中心に、体を動かしながら高めるプログラムを実施


【その他】

- ・ テキストとして冊子「介護予防をはじめのために」、参考として各回で実施した運動等の資料を配布
- ・ 最終日、市の介護予防事業について説明し、関連する教室や施設を紹介。
また、自宅でできる体操のひとつとして「豊中ローズ元気 up 体操」を紹介し、DVDなどを配布。
- ・ 最終日、講座に対するアンケートを実施(第2期～第5期 53名回収：回収率 79%)

案内文 (H26 第五期分)

**平成26年度
第五期**

あたまとからだの体操講座



この講座は、運動及び認知機能を高めるためのきっかけを掴んでいただく実践講座です。現在のご自分の状態を知っていただき、実技プログラムに生かしてもらうために各種テストを実施しております。また、からだを動かす機会も多いので、安全のため毎回始めに血圧測定・問診を実施しております。状況(例：血圧が異常に高い、不整脈がひどいなど)によっては、見学もしくは、講座への参加自体をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

毎回の流れ

```

            graph LR
            A(血圧測定  
問診) --> B(準備体操)
            B --> C(実技  
プログラム)
            C --> D(整理体操)
            
```

月	1月	2月			3月
日	27日(火)	3日(火)	10日(火)	17日(火)	2日(月)
プログラム	オリエンテーション ・ 認知機能テスト	認知機能について ・ 運動機能テスト	運動について ・ 実技プログラム	実技プログラム 実技プログラム	実技プログラム ・ まとめ

・日時：1月27日～3月2日 毎週火曜日(3月2日のみ月曜) 13:30～15:30

・毎回の持ち物：上靴・タオル・お茶・筆記用具(必要な方は眼鏡持参のこと)
(上靴は、履きなれた運動靴の靴底を洗ったものでも結構です。)

・午前11時において、警報発令の場合には安全のため中止となります。

*1) TUGテスト(Timed Up & Go Test)・・・歩行能力やバランス機能、敏捷性などから身体機能を総合的に評価する検査のこと。高齢者の身体機能評価として広く用いられている。

*2) 足指力測定・・・転倒予防に重要な、足指や足裏機能の状態・下肢筋力(足指力)を知るための検査のこと。

*3) ファイブコグ(Five Cognitive Functions)検査・・・集団認知機能検査のこと(Cognitive Function=認知機能)。脳の機能のうち、特に、軽度認知障害の時期に低下する、記憶・注意・言語・視空間認知・思考の5つの機能を測り、認知機能の状態を評価する。

■ 取り組みの様子



(3) まとめ

各期とも定員に近い人数の参加があることや、参加者アンケート回答者のほぼ全員から「楽しんで参加できた」「講座内容は適当だった」と回答があったことから、参加者にとって満足度の高い事業となっているようです。

この講座は、二次予防事業として実施されている教室と異なり、事前に生活機能等のチェックが無く、身体機能・認知機能において多様なレベルの方が参加されます。そのため、対集団への実施の中でも、参加者に対して個別の対応が求められる場合が多くあり、その時に活かされるのが、保健所機能、とりわけ保健センターの機能です。例えば、口腔機能や食事について相談があれば、別途歯科衛生士や管理栄養士との個別相談を設定したり、高血圧で要医療であると思われる方には保健師から保健指導を行ったりするなど、幅広い専門職の集団であることを活かしたスムーズな個別対応につなげることができています。中には、要支援の認定を受けながら必要なサービスを受けていなかった参加者が、講座参加を通じ、通所リハビリテーションの利用につながったケースもあるなど、保健所以外においても個々の状態に合わせた連携や対応を行っています。

介護予防は、高齢者の生涯にわたる健康に大きく関わっています。この講座は、高齢者の方のこころとからだの健康づくりにつながっています。

第2章

計画評価指標に関する 市民意識調査 実施結果

豊中市健康づくり計画の進行管理に向け、市民の方の健康づくりに関する意識を把握するため、成人保健分野・母子保健分野について調査を実施しました。

第2章では、調査の概要・結果についてご報告します。



調査の目的

健康づくり計画で定める評価指標は、その多くが市民アンケートで把握するものとなっています。平成29年度には計画の見直しを行う予定となっており、見直しに向けて、その前年度である平成28年度には大規模な市民アンケートを実施予定ですが、それまでの間データが取れないことから、簡易版の市民アンケートを実施し、健康づくりに対する市民の意識を把握し、計画の進捗管理に役立てます。

調査の実施状況

調査は成人版と母子版の2種類を実施し、対象者や方法・回答数は以下の通りです。

【成人版】

対象者	① とよなか市民健康展参加者 ② 市ホームページ閲覧者
方法	① 健康展参加時に配布、回収（平成26年10月5日） ② インターネットアンケートシステムを使用し、市ホームページから回答を募集（平成26年9月5日～10月5日）
有効回答数	計179件（内訳：①175件 ②4件）

【母子版】

対象者	3歳6か月児健康診査受診対象児の保護者
方法	調査票に同封し、健診時に回収（平成26年10月～平成27年1月）
有効回答数	115件

【参考】

豊中市健康づくり計画策定にあたり実施した市民アンケート調査（※1）

「市民の生活習慣と健康意識」調査

対象者	平成23年9月21日時点で、16歳以上の市民から3,000件を無作為抽出
調査期間	平成23年10月1日～10月17日
有効回答数	1,251件

「母子保健サービスに関するアンケート」調査

対象者	平成23年9月21日時点で、就学前の子どもを持つ市在住の世帯から3,000件を無作為抽出
調査期間	平成23年10月1日～10月17日
有効回答数	1,571件

備考

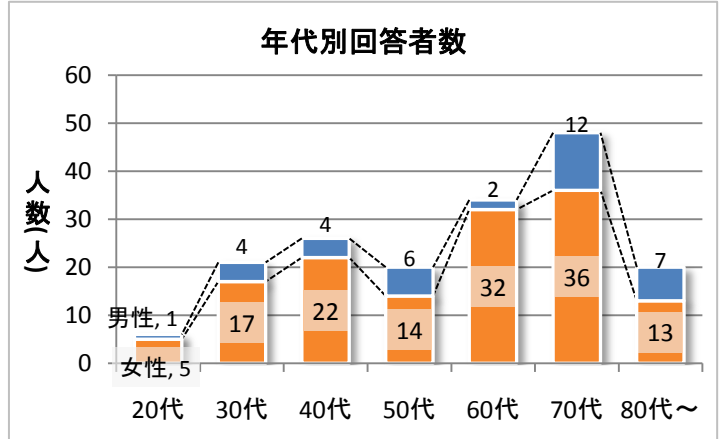
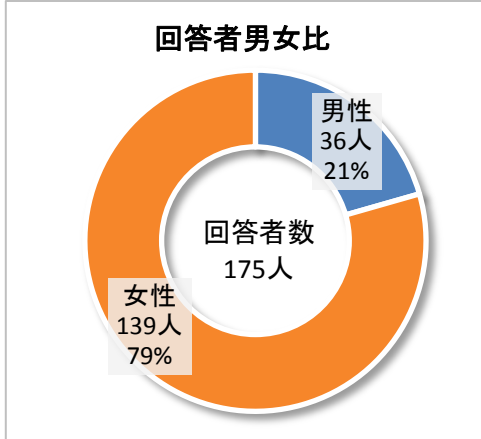
市民全体に調査を行った市民アンケート調査（※1）と異なり、本調査は対象や母数が限定されていることから、結果は**特定の集団の傾向を示す**ものであり、市民アンケート調査の結果やそれに基づき設定された健康づくり計画の目標値とは直接比較ができません。収集したデータは参考値として位置づけ、同じ特定集団間の経年変化を追うこととします。

回答者の属性

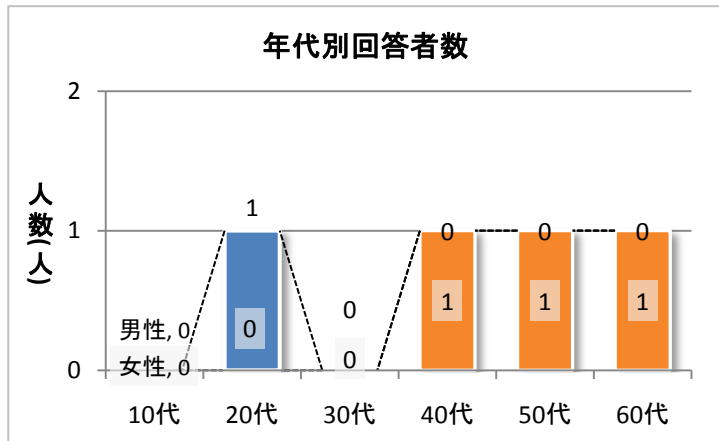
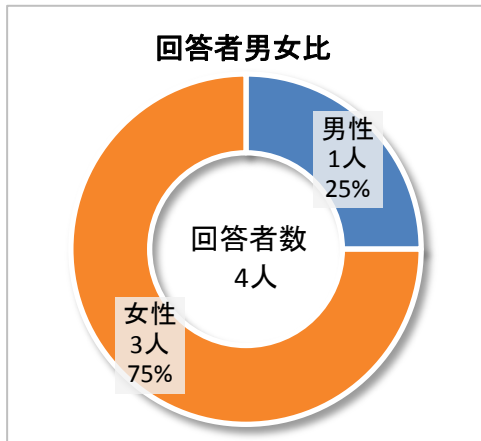
各調査の回答者の属性は以下の通りです。

【成人版】

①とよなか市民健康展参加者 回答者数 175人

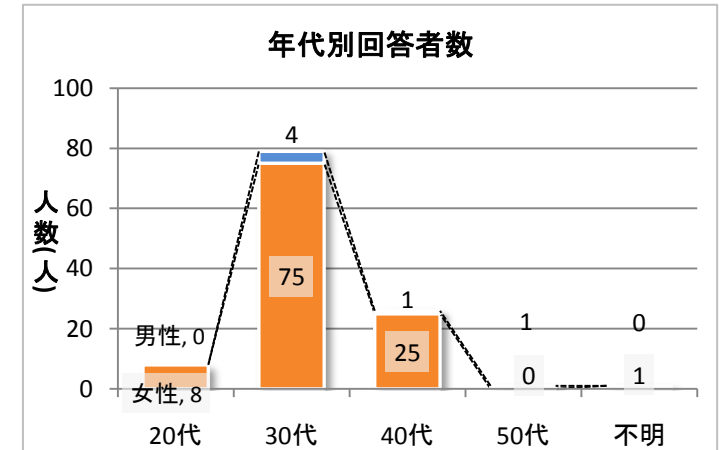
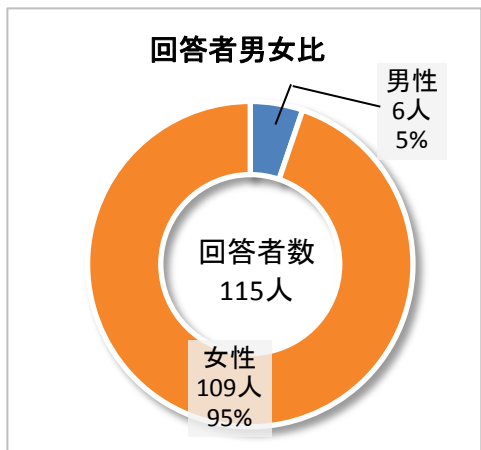


②市ホームページ閲覧者 回答者数 4人



【母子版】

3歳6か月児健康診査 受診対象児の保護者 回答者 115人

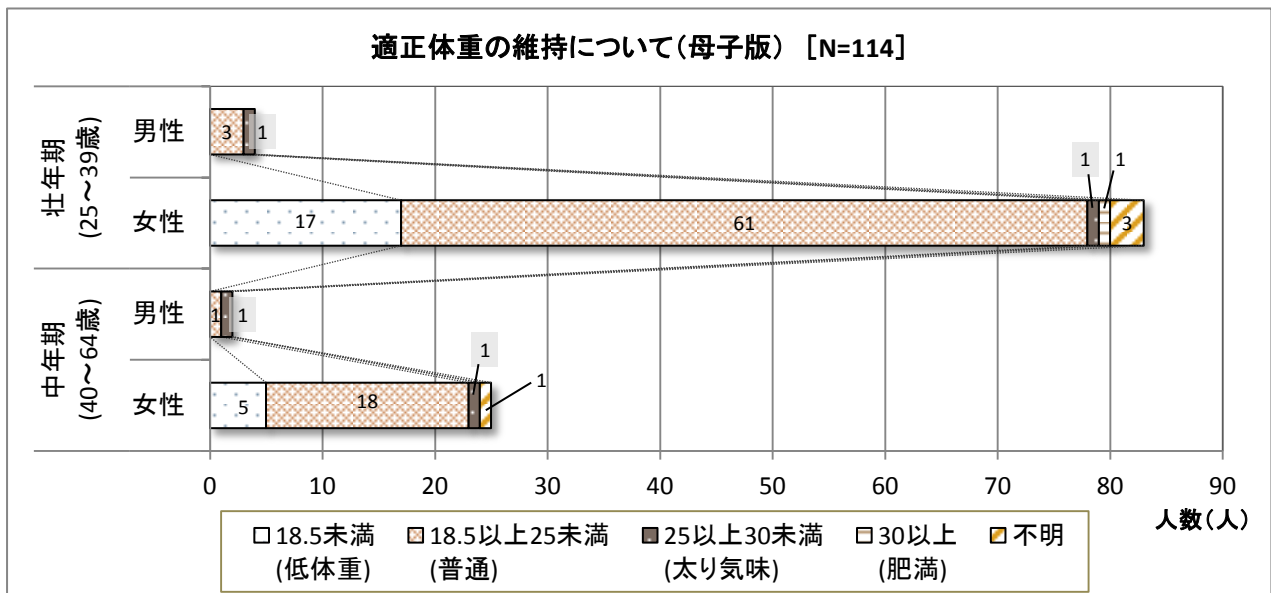
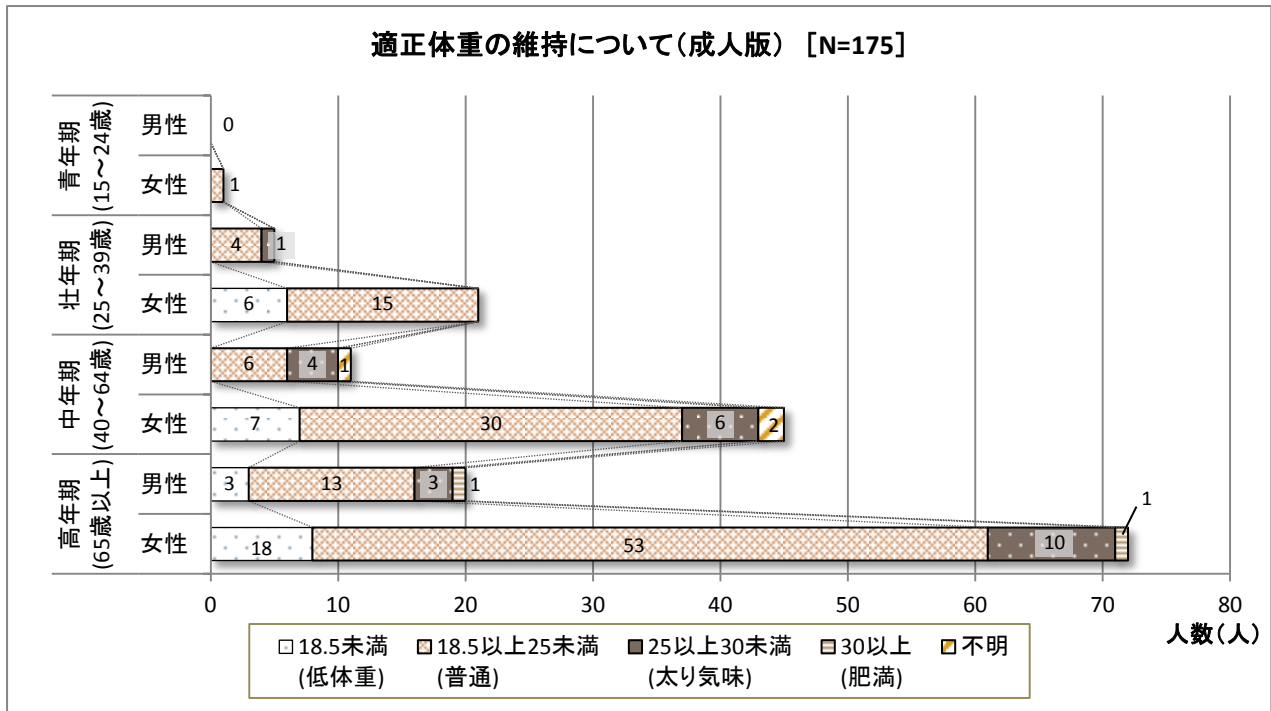


調査結果

I 栄養・食生活

問1. 身長と体重はどのくらいですか。

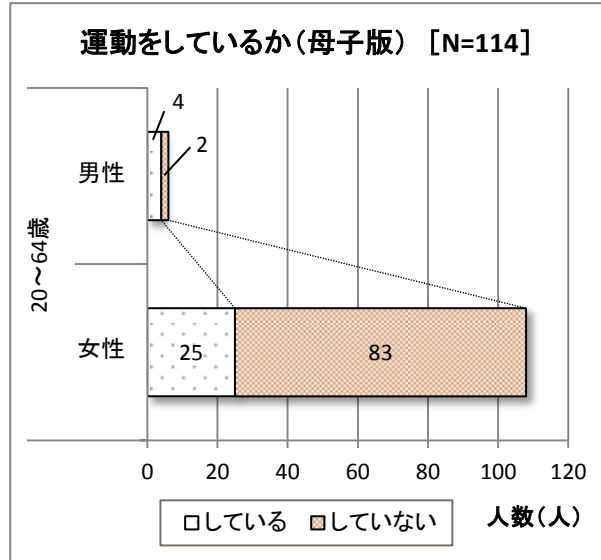
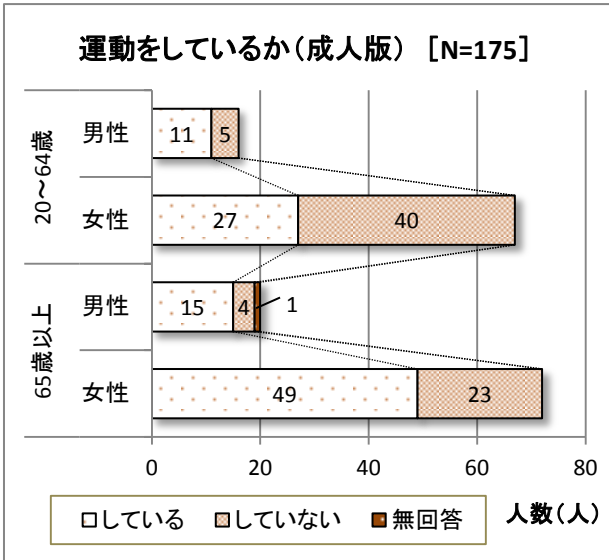
※身長と体重から BMI*1)を算出



*1)BMI・・・ボディマス指数(Body Mass Index)のこと。「体重(kg)÷身長²(m)」の計算式で求めることができ、どの程度の肥満や痩せがあるかを測ることができる。日本では、**BMI22**を標準体重(もっとも罹患率が低く、健康的に生活ができるとされる理想的な体重)、18.5未満を低体重(やせ)、25以上を肥満としている。

II 運動・身体活動

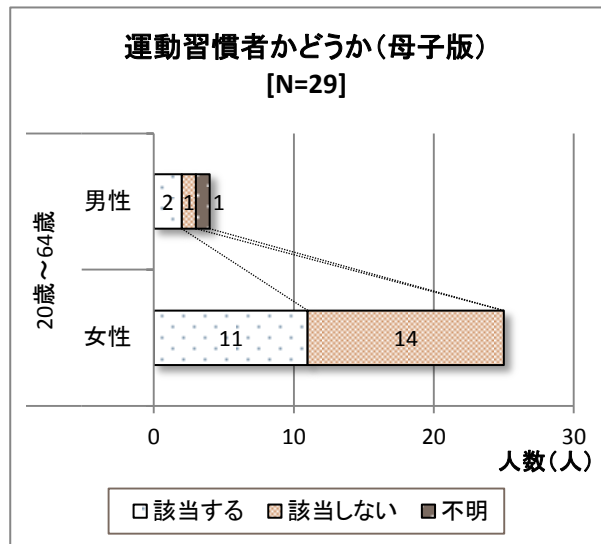
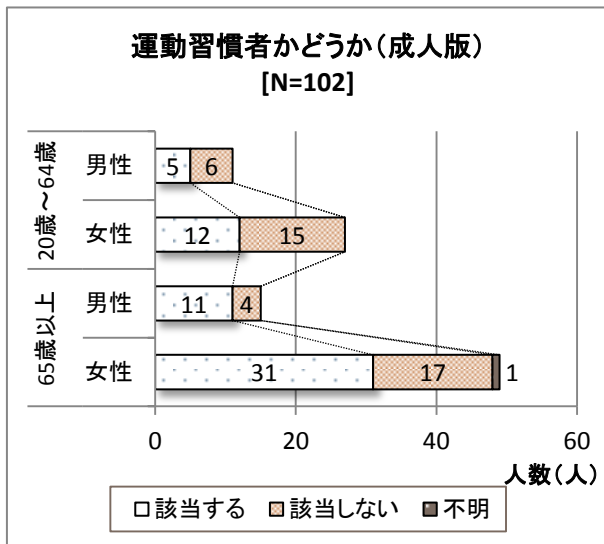
問2. 健康の維持・増進のために意識的に運動していますか。



問2-1. どのくらいの頻度で運動を行っていますか。

問2-2. 一日につき、運動をどのくらいの時間行っていますか。

- ・問2で「運動している」と回答した人のみ対象
- ・頻度と時間から、運動習慣者*2かどうか判定

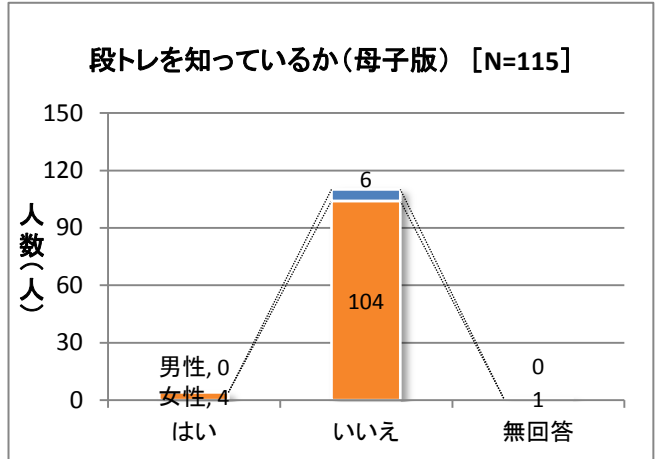
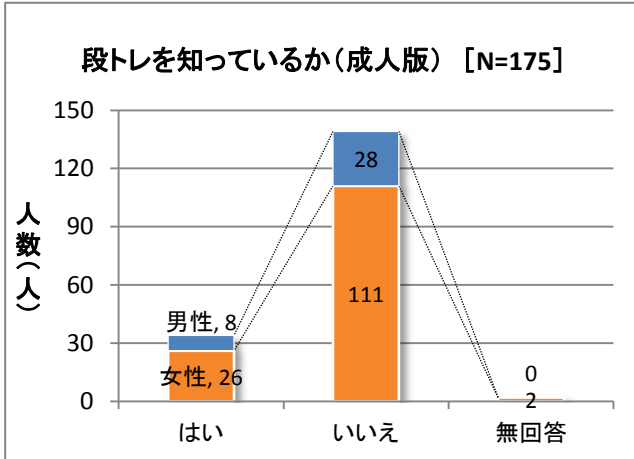


*2)運動習慣者…週に3回以上、一回30分以上の運動をしているものをさす。

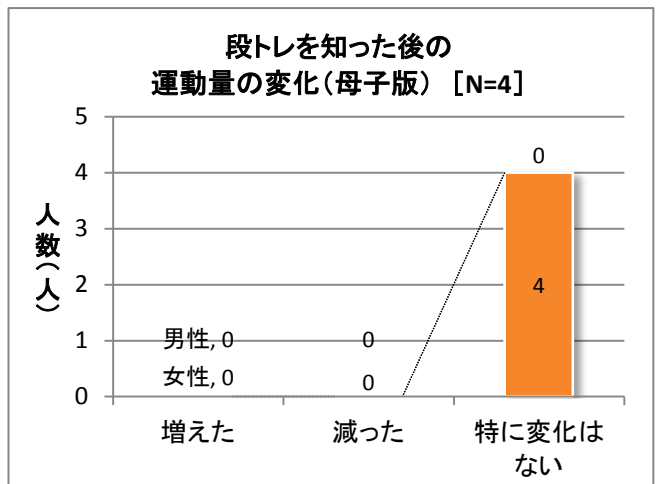
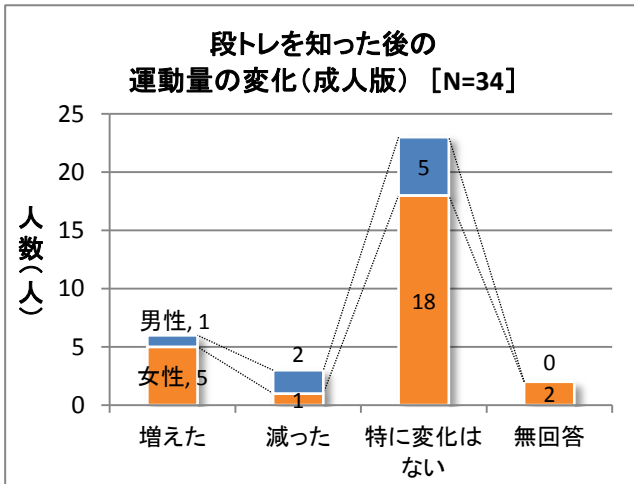
【参考】段トレの認知度について

健康づくり計画評価項目にはありませんが、市の健康づくりの関する取り組みの認知度を測るため、段トレについて質問を行いました。

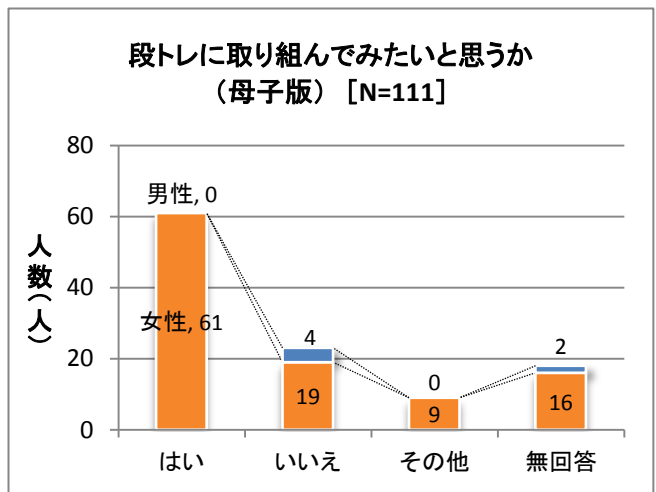
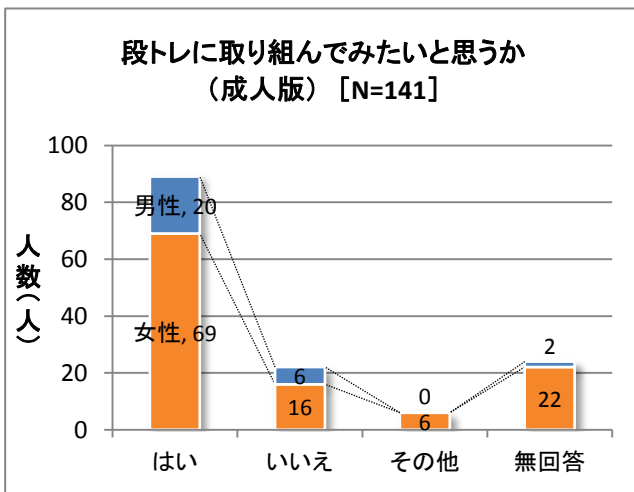
問3. 段トレを知っていますか。



問3-1. 段トレを知る前と後で、運動量に変化はありましたか。(問3で「はい」と回答した人が対象)

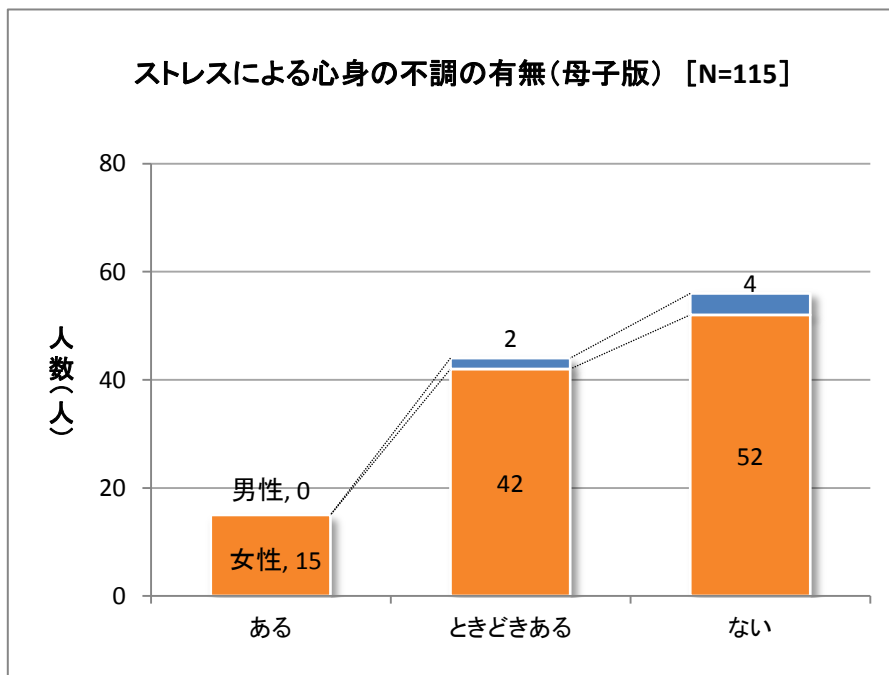
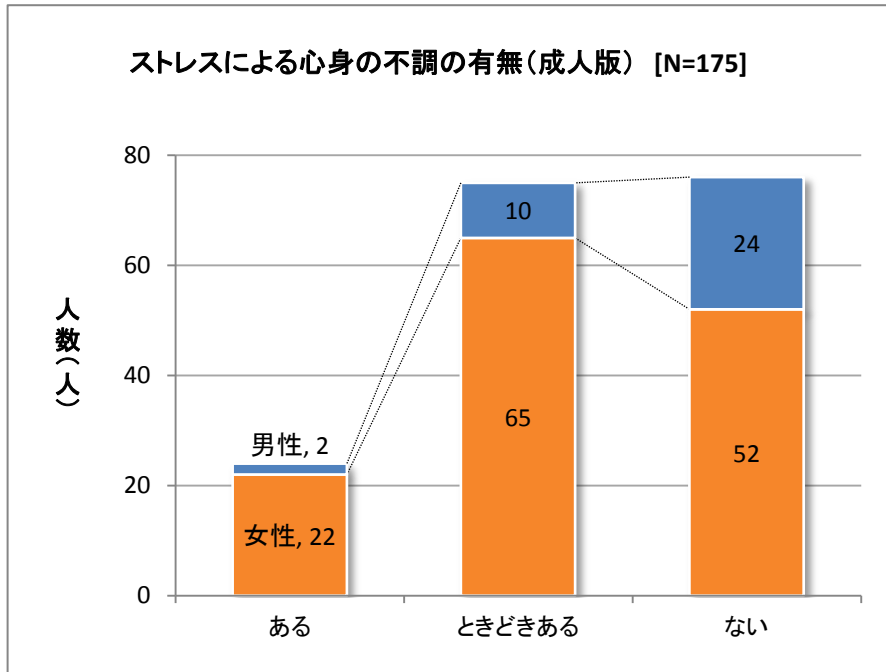


問3-2. 今後、段トレに取り組んでみたいと思いますか。(問3で「いいえ」と回答した人が対象)



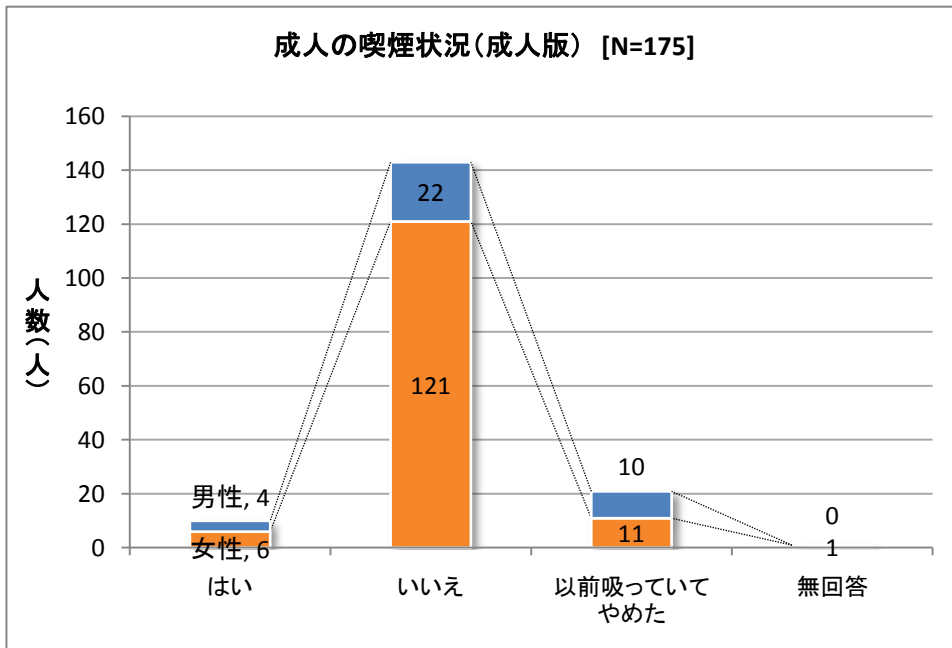
Ⅲ こころの健康

問4. この1ヶ月間にストレスによって心や体の不調などがありましたか。

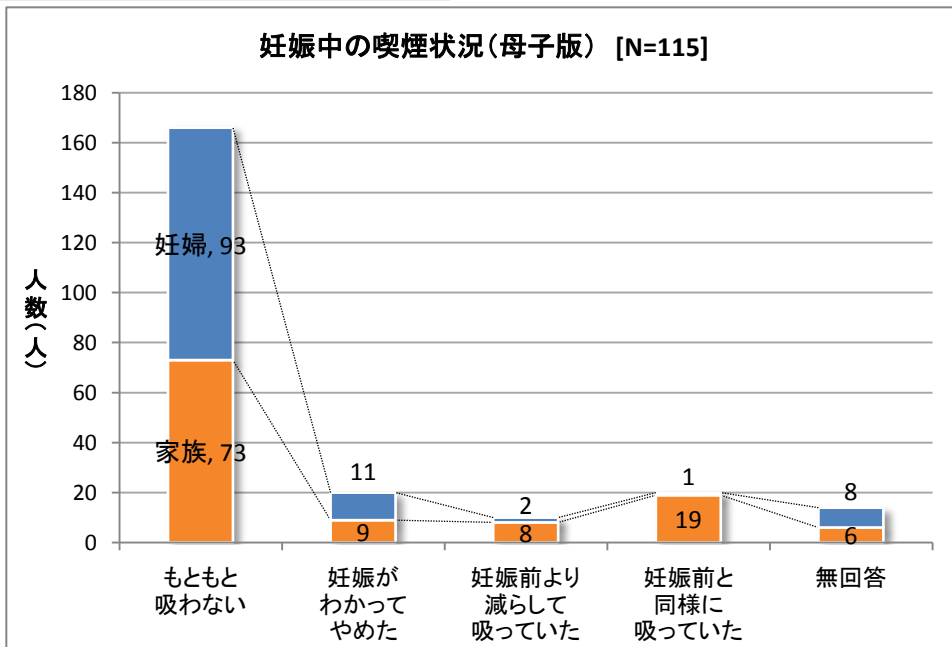


IV たばこ

問5. 現在たばこを吸っていますか。

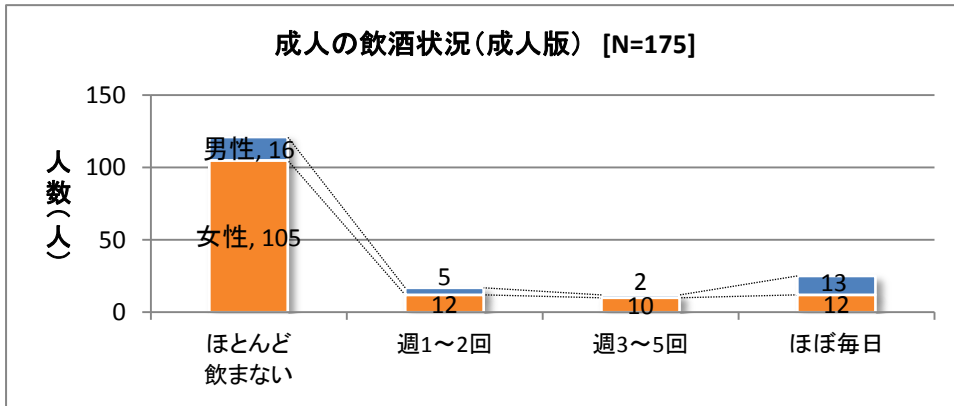


問5. 妊娠中、喫煙していましたか。

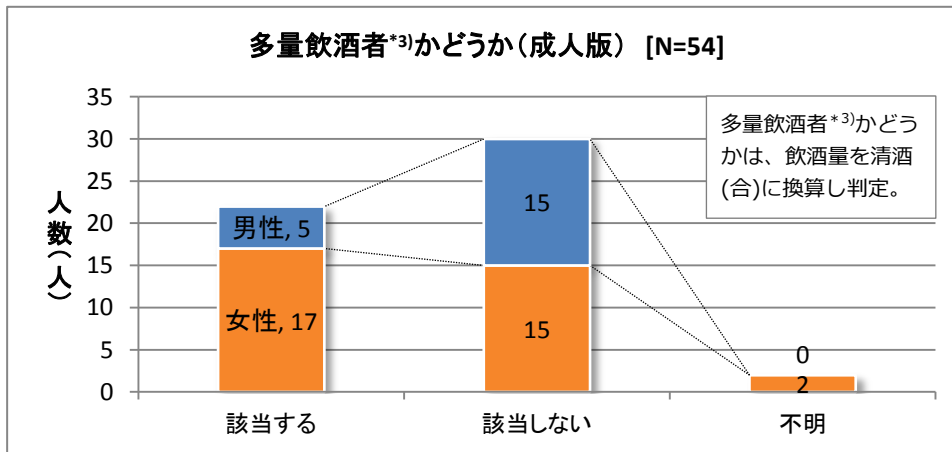


V アルコール等

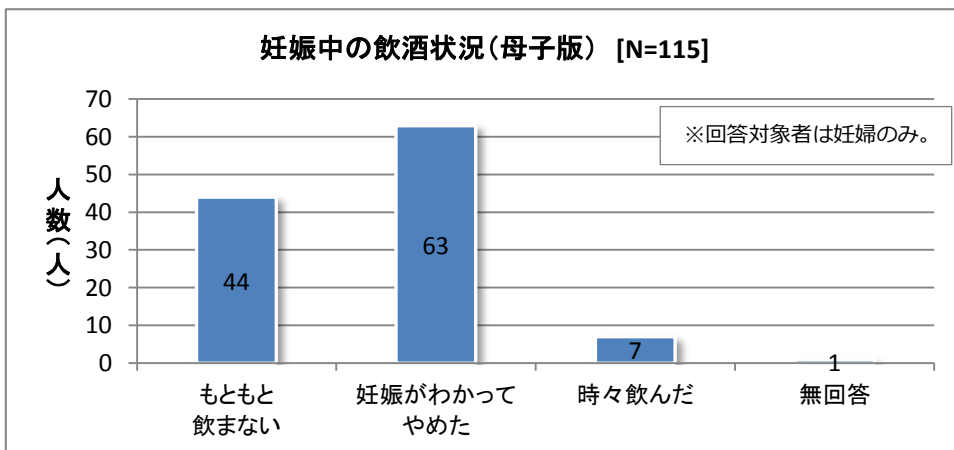
問 6. アルコール類を飲みますか。



問 6-1. 一日で平均どれくらい飲みますか。(問 6 で「ほとんど飲まない」と回答した人は対象から除く。)



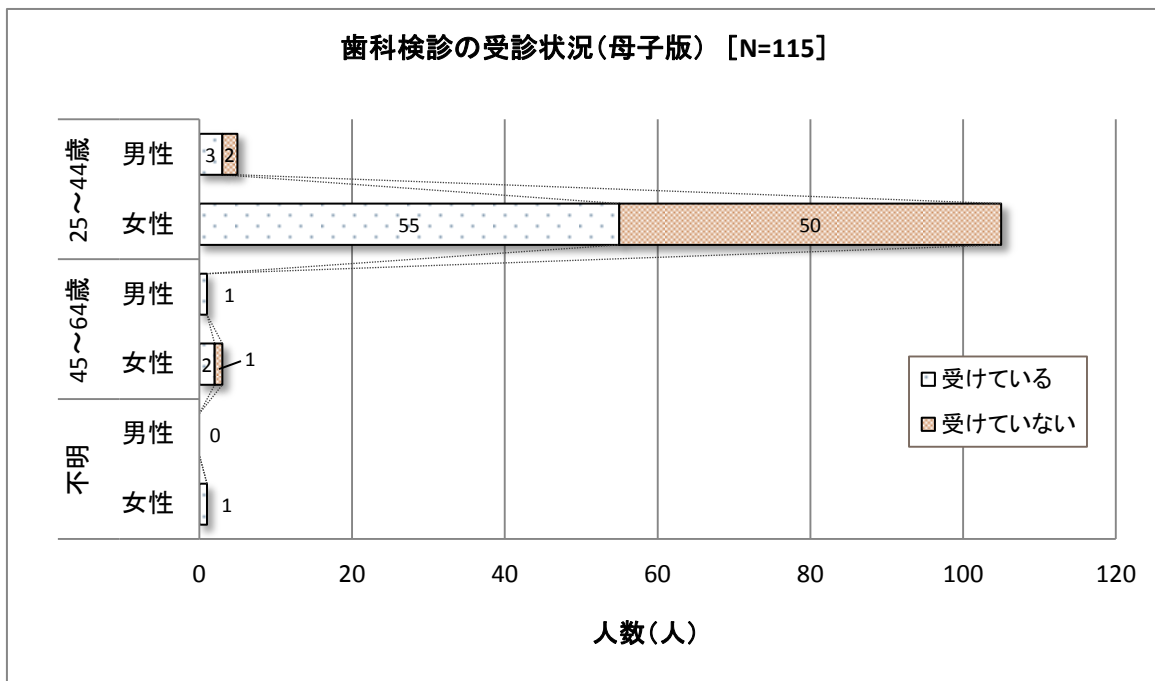
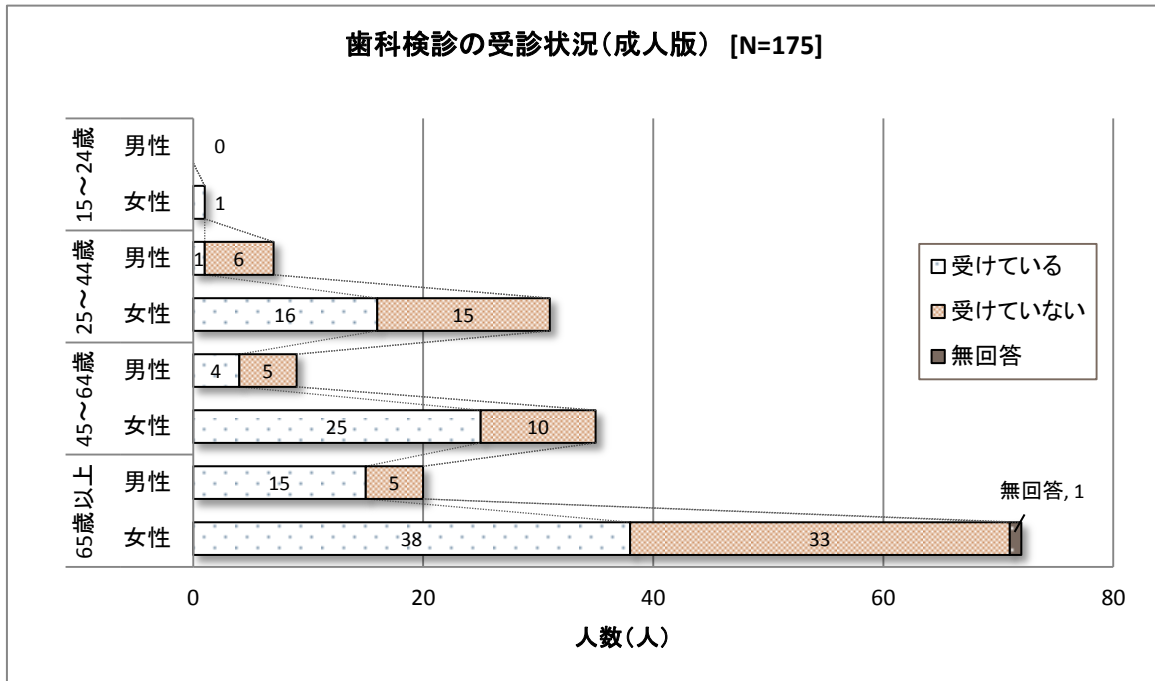
問 6. 妊娠中、お母さんは飲酒していましたか。



*3)多量飲酒者・・・一日当たりの純アルコール摂取量が、男性 40g 以上/女性 20g 以上 に該当する場合をさす。 【純アルコール摂取量目安】 清酒 1 合 ⇒22g、ビール 500ml⇒ 20g 程度。

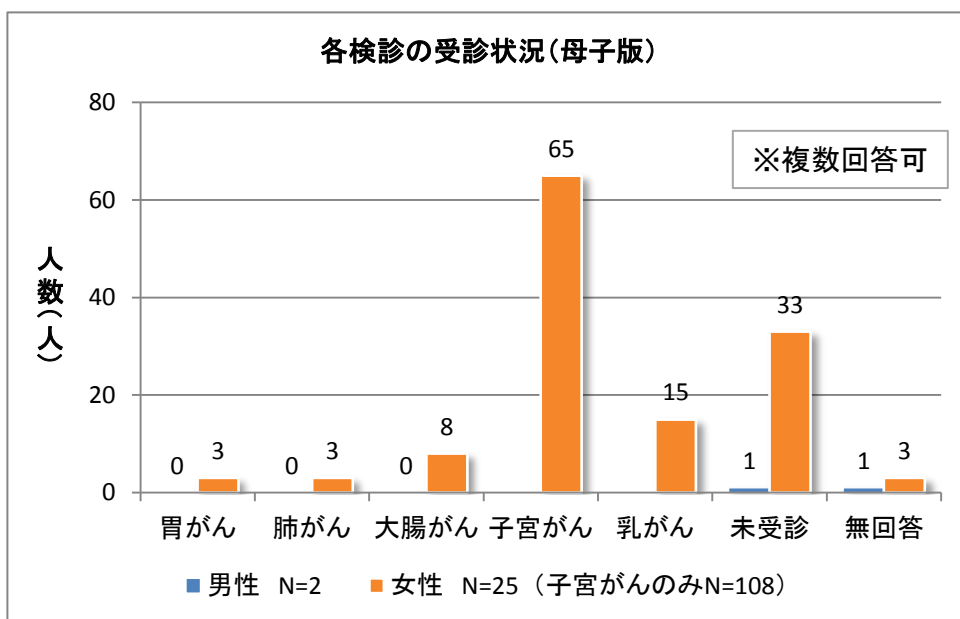
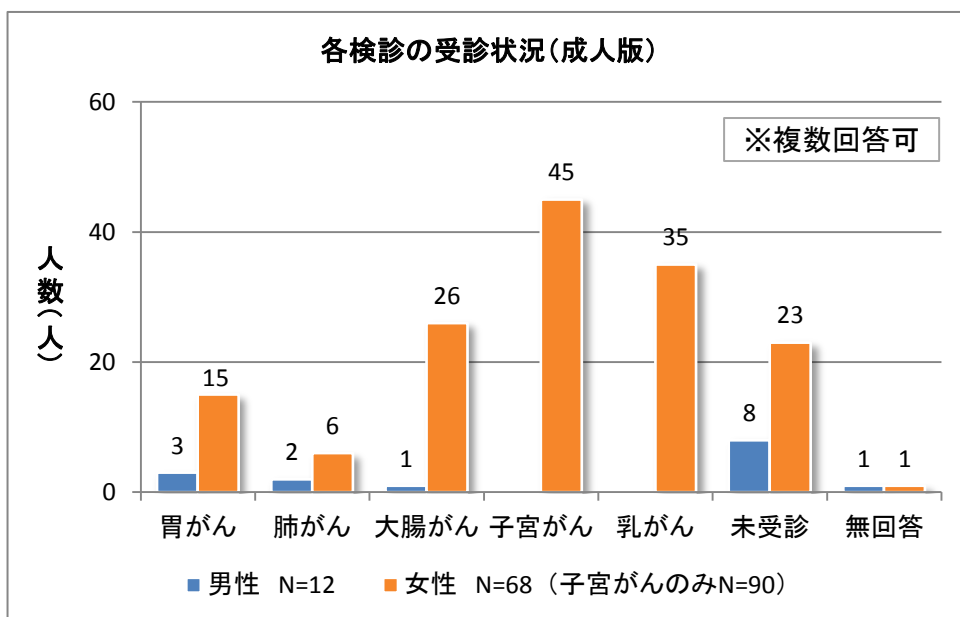
VI 歯や口の健康

問7. 定期的に歯科検診を受けていますか。



Ⅶ 健康管理

問8. 過去1年間(子宮がん・乳がんは過去2年間)に、次のがん検診を受けたことがありますか。



※「受けたことのあるがん検診すべてについて回答」のため、各項目の和と対象人数は一致しない。

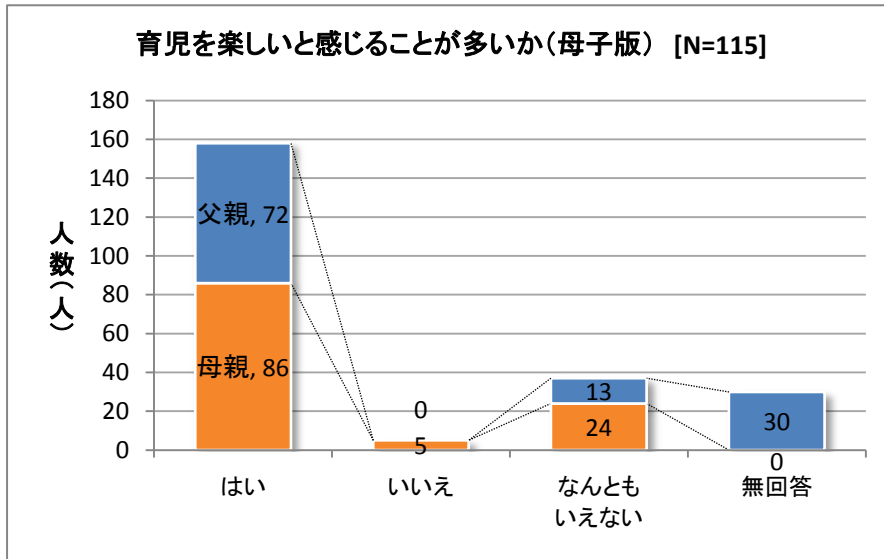
【各検診の対象年齢】

胃がん、肺がん、大腸がん：40～69歳男女

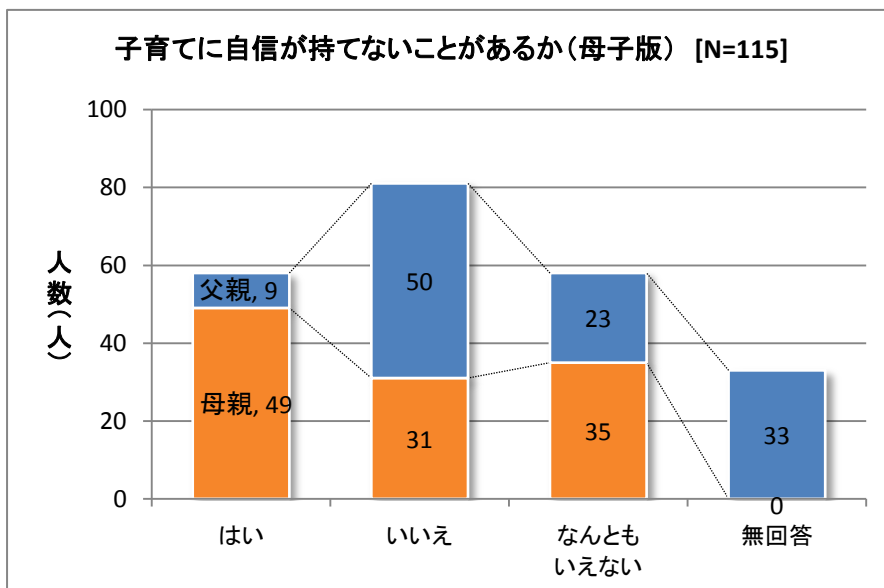
子宮がん：20～69歳女性、乳がん：40～69歳女性

Ⅷ 子育て・子育て *母子版のみの設問

問9. 育児を楽しんでいると感じることが多いですか。



問10. 子育てに自信を持っていないことがありますか。あるいは、以前そのようなことがありましたか。



■ 調査用紙見本（成人版）

豊中市健康づくり計画に関する市民意識調査ご協力をお願い

平成 26 年(2014 年)10 月
豊中市健康福祉部 保健所 保健企画課

日ごろから、当市の健康福祉行政について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊中市では、平成 25 年(2013 年)3 月に「豊中市健康づくり計画」を策定しました。「健康をつくろう！みんなであつこう！」という計画の基本理念のもと、母子保健分野・成人保健分野を「健康」の視点から一体的に推進し、また、市民の健康づくりへの取り組みを地域や社会全体で支援するための環境整備を行うことで、市民一人ひとりが自身の健康を主体的に守り、生涯を通して健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざして取り組みを進めています。

今回、この「豊中市健康づくり計画」のより効果的な推進に向け、市民の生活習慣や健康づくりに対する意識などを知るためのアンケート調査を実施いたします。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

つきましては、大変お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果につきましては、統計的に処理した上で、「平成 26 年度(2014 年度) 豊中市健康づくり計画年次報告書」（平成 27 年度(2015 年度)秋頃に発行予定）内にて公表いたします。

＜ご回答にあたってのお願い＞

- ①ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と数字などをご記入いただく場合があります。
- ②選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。ご注意ください。
- ③設問によって、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。

【アンケートに関するお問い合わせ】

豊中市保健所 保健企画課（企画調整グループ）
〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1
TEL：6152-7309 FAX：6152-7328
E-mail：hokenkikaku@city.toyonaka.osaka.jp

健康づくりに関する市民意識調査

このアンケートは、健康づくり計画の推進のため、市民の皆様の「健康づくり」への意識等を知るために行います。回答内容や集計結果は、豊中市における健康づくり推進の目的以外に使用されることは一切ありませんので、どうぞ協力くださいますようお願いいたします。質問は、問1～問9までの計9問です。

■問1. 身長と体重はどのくらいですか。(下記に数字をご記入ください)

身長 _____ cm

体重 _____ kg

■問2. 健康維持・増進のために意識的に運動していますか。(いずれかに○)

1. はい 2. いいえ

問2で「1.はい」と回答した方にお尋ねします。

■問2-1. どのくらいの頻度で運動を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎日 2. 週3～4日くらい 3. 週1日くらい
4. 月1日くらい 5. その他 ()

問2で「1.はい」と回答した方にお尋ねします。

■問2-2. 1日につき、運動をどのくらいの時間行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 30分未満 2. 30分～1時間 3. 1時間～2時間
4. 2時間以上 5. その他 ()

■問3. 忙しい人でも気軽に体を動かす機会を増やしてもらおうと、「段トレ」という取り組みを進めています。

段トレ(下図)を知っていますか。(いずれかに○)

1. はい 2. いいえ

問3で「1.はい」と回答した方にお尋ねします。

■問3-1. 段トレを知る前と後で、運動量に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 増えた 2. 特に変化はない
3. 減った

問3で「2.いいえ」と回答した方にお尋ねします。

■問3-2. 今後、段トレに取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. はい 2. いいえ
3. その他 ()

段トレの詳細については、3ページ目をご覧ください。



段トレちらし(表)

■問4. この1ヶ月間にストレスによって心や体の不調などがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある	2. ときどきある	3. ない
-------	-----------	-------

■問5. 現在たばこを吸っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. はい	2. 以前吸っていてやめた	3. いいえ
-------	---------------	--------

■問6. アルコール類を飲みますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3~5回	3. 週に1~2回	4. ほとんど飲まない
---------	-----------	-----------	-------------

問6で「1.ほぼ毎日」「2.週に3~5回」「3.週に1~2回」と回答した方にお尋ねします。

■問6-1. 1日で平均どれくらい飲みますか。(下記の空欄に数字をご記入ください)

1. ビール・発泡酒 (mL)	2. 酎ハイ (mL)	
3. 焼酎(25度) (mL)	4. ウイスキー (mL)	
5. ワイン (mL)	6. 日本酒 (合)	7. 梅酒 (合)

【参考】量は以下を参考にしてください。

- ◆コップ1杯…180mL ◆缶1本…小)350mL 中)500mL 大)633mL
- ◆ジョッキ1杯…中)320mL 大)600mL ◆ワイングラス1杯…120mL ◆ワインボトル1本…750mL
- ◆ウイスキー(シングル)1杯…30mL ◆お猪口1杯…30mL ◆1合=180mL ◆一升=1,800mL

■問7. 定期的に歯科検診を受けていますか。(いずれかに○)

1. している	2. していない
---------	----------

■問8. 過去1年間(子宮がん・乳がんは過去2年間)に、次のがん検診を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 胃がん検診	2. 肺がん検診	3. 大腸がん検診
4. 子宮がん検診(女性のみ・過去2年間)	5. 乳がん検診(女性のみ・過去2年間)	
6. この1年間受けたことがない		

■問9. 年齢、性別をお答えください。

年齢 歳

性別 男性・女性

ご協力ありがとうございました。

■ 調査用紙見本（母子版）

豊中市健康づくり計画に関する市民意識調査ご協力をお願い

平成26年(2014年)10月
豊中市健康福祉部 保健所 保健企画課

日ごろから、当市の健康福祉行政について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊中市では、平成25年(2013年)3月に「豊中市健康づくり計画」を策定しました。「健康をつくろう！みんなで作ろう！」という計画の基本理念のもと、母子保健分野・成人保健分野を「健康」の視点から一体的に推進し、また、市民の健康づくりへの取り組みを地域や社会全体で支援するための環境整備を行うことで、市民一人ひとりが自身の健康を主体的に守り、生涯を通して健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざして取り組みを進めています。

今回、この「豊中市健康づくり計画」のより効果的な推進に向け、保護者の皆さんの生活習慣や健康づくりに対する意識などを知るためのアンケート調査を実施いたします。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

つきましては、育児等で大変お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果につきましては、統計的に処理した上で、「平成26年度(2014年度)豊中市健康づくり計画年次報告書」(平成27年度(2015年度)秋頃に発行予定)内にて公表いたします。

＜ご回答にあたってのお願い＞

- ①保護者の方のことについてご回答ください。
- ②各質問に示しています回答方法によりご記入ください。
 - ・指定がない項目は、保護者の方でなくてもご記入いただいてもかまいません。
 - ・各回答欄の横に、「父」・「母」など指定のあるものは、対象の保護者の方がご記入ください。対象の方がいない、不在にしている等、記入できない場合は空欄でもかまいません。
- ③ご記入いただいた調査票は、健診当日にお持ちいただき、会場に設置している回収箱にご提出ください。

【アンケートに関するお問い合わせ】

豊中市保健所 保健企画課 (企画調整グループ)
〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1
TEL : 6152-7309 FAX : 6152-7328
E-mail : hokenkikaku@city.toyonaka.osaka.jp

健康づくりに関する市民意識調査

このアンケートは、健康づくり計画の推進のため、市民の皆様の「健康づくり」への意識等を知るために行います。回答内容や集計結果は、豊中市における健康づくり推進の目的以外に使用されることは一切ありませんので、どうぞ協力くださいますようお願いいたします。質問は、問1～問11までの計11問です。

■問1. 身長と体重はどのくらいですか。（下記に数字をご記入ください）

身長 _____ cm

体重 _____ kg

■問2. 健康維持・増進のために意識的に運動していますか。（いずれかに○）

1. はい 2. いいえ

問2で「1.はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■問2-1. どのくらいの頻度で運動を行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-----------|--------------------------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週3～4日くらい | 3. 週1日くらい |
| 4. 月1日くらい | 5. その他（ ） | |

問2で「1.はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■問2-2. 1日につき、運動をどのくらいの時間行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|----------|--------------------------------|------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～1時間 | 3. 1時間～2時間 |
| 4. 2時間以上 | 5. その他（ ） | |

■問3. 忙しい人でも気軽に体を動かす機会を増やしてもらおうと、「段トレ」という取り組みを進めています。

段トレ(下図)を知っていますか。（いずれかに○）

1. はい 2. いいえ

問3で「1.はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■問3-1. 段トレを知る前と後で、運動量に変化はありましたか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------|------------|
| 1. 増えた | 2. 特に変化はない |
| 3. 減った | |

問3で「2.いはい」と回答した方にお尋ねします。

■問3-2. 今後、段トレに取り組んでみたいと思いませんか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
| 3. その他（ ） | |

段トレの詳細については、3ページ目をご覧ください。



■問4. この1ヶ月間にストレスによって心や体の不調などがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある	2. ときどきある	3. ない
-------	-----------	-------

■問5. 妊娠中の喫煙についておたずねします。(それぞれあてはまるもの1つに○)

妊婦	1. もともと吸わない	2. 妊娠がわかってやめた
	3. 妊娠前より減らして吸っていた	4. 妊娠前と同様に吸っていた
家族	1. もともと吸わない	2. 妊娠がわかってやめた
	3. 妊娠前より減らして吸っていた	4. 妊娠前と同様に吸っていた

■問6. お子さんの妊娠中に、お母さんは飲酒していましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. もともと飲まない	2. 妊娠がわかってやめた
3. 時々飲んだ	4. ほほ毎日飲んだ

■問7. 過去1年間(子宮がん・乳がんは過去2年間)に、次のがん検診を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 胃がん検診	2. 肺がん検診	3. 大腸がん検診
4. 子宮がん検診 (女性のみ・過去2年間)	5. 乳がん検診 (女性のみ・過去2年間)	6. この1年間受けたことがない

■問8. 定期的に歯科検診を受けていますか。(いずれかに○)

1. している	2. していない
---------	----------

■問9. 育児を楽しんでいると感じることが多いですか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

父	1. はい	2. いいえ	3. なんともしえない
母	1. はい	2. いいえ	3. なんともしえない

■問10. 子育てに自信を持っていないことがありますか。あるいは、以前そのようなことがありましたか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

父	1. はい	2. いいえ	3. なんともしえない
母	1. はい	2. いいえ	3. なんともしえない

■問11. 年齢・性別をお答えください。

年齢 _____ 歳

性別 男性・女性 _____

ご協力ありがとうございました。

■ 調査用紙最終ページ（成人版・母子版共通）

【参考】

段トレ(階段トレーニング)とは？

通勤や通学、買い物などの機会に、階段を積極的に利用することで、日々の運動量を増やし、体力アップや身体機能アップをめざしていただくという取り組みです。階段という身近にあるものを活用することで、仕事や育児など、日々の忙しさからなかなか運動する時間がとれない人でも、体を動かす習慣を身につけることができます。

ちらしの中では、段トレの効果について、以下のような内容をご紹介します。

カラダにいい

- 転倒しにくいカラダをつくり身体機能もアップ
- 足腰の筋肉を鍛えることで美脚力アップ
- 足腰の大きな筋肉を鍛え、平地よりエネルギーも消費するので、脂肪燃焼効果もアップ
- ゆっくり昇っても、心肺機能アップ
- 無理のない階段利用で、運動量アップ・体力アップ

こうすれば効く！

- 脚の筋力アップに
 - ふとももに体重を感じながら、ゆっくり降りましょう
- ヒップアップに
 - お尻を引き締めることを意識して昇りましょう
- ポッコリお腹の解消、腰痛予防に
 - お腹(腹筋)を引き締めることを意識して昇りましょう

歯や口も健康に

- 身体を動かすことでおいしく食べられます
- 動くことで唾液も増え、食べたり話したりしやすくなります
- 筋肉を鍛えることで姿勢が安定し、食事時のムセや誤嚥（ごえん）の予防につながります
- 噛むことで脳への血流がよくなり、認知症の予防につながります
- お顔のアンチエイジング
 - 階段昇降では、くいしばりが必要なため、噛む力や飲み込む力などが向上し、口の周りの筋肉（口輪筋）も鍛えられ、素敵な笑顔につながります

気分もリフレッシュ

- デスクワークの人も、1つ上の階のトイレに行く、会議室へはエレベータではなく階段を使うなど、身体を動かして気分をリフレッシュし、仕事の能率アップ

おサイフにもうれしい

- 手軽にいつでもできるので、時間を選ばず、お金もかかりません
- 健康になると医療費節約にもつながります

地球にもやさしい

- エレベーター・エスカレーターを使用する回数が減れば、その分電気の使用量も減り、環境にやさしい



段トレちらし(裏)



豊中市ホームページ
<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>
 (左のQRコードからもアクセスできます)



検索フォームは、市ホームページ右上にあります

段トレ

検索

第3章

各事業の進行状況

第3章には、市内で実施された健康づくり関連事業を掲載しています。

各事業を健康づくりの視点から考察し、取り組み分野ごとに一覧にしています。



取り組み分野一覧

分野		めざす市民の姿	取り組み	頁
I	栄養・食生活	自分の体にあったバランス良い食事を心がけ、正しい食習慣を身につけている	A 栄養・食生活に関する知識の普及啓発	32
			B 適切な食を提供するための環境整備	34
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した食に関する取り組みの推進	37
II	運動・身体活動	日常的に体を動かす習慣をもち、様々な運動・身体活動の機会が地域活動等のなかで提供され、必要な時に気軽に利用できる	A 運動・身体活動に関する知識の普及啓発	38
			B 楽しく気軽に安全に運動や身体活動ができる環境づくり	39
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した運動・身体活動に関する取り組みの推進	44
III	こころの健康づくり	自分のこころの状態を理解し、ストレスのコントロールや相談・受診など適切な健康管理を行うことで、こころの健康を保つ	A こころの健康に関する情報提供や知識の普及啓発	47
			B こころの悩みや不調を抱える人が気軽に相談・受診できる体制整備	48
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携したこころの健康づくりに関する取り組みの推進	51
IV	たばこ	未成年者や妊婦の喫煙を防止するとともに、喫煙による健康影響について正しい知識をもって、禁煙（受動喫煙の防止）をめざしている	A たばこの害に関する情報提供や知識の普及啓発	54
			B 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した子どもの防煙と受動喫煙防止への取り組みの推進	
V	アルコール等	飲酒や薬物による健康への影響について正しい知識をもち、過度の飲酒、薬物乱用をしない	A 酒害と節度ある適度な飲酒及び薬物乱用に関する情報提供と知識の普及啓発	55
			B 酒害等に関する相談体制の整備	
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などと連携した酒害等に関する取り組みの推進	
VI	歯や口の健康	歯や口の健康に関する知識をもち、適切な口腔ケアを実践し、定期的に歯科検診を受けている	A 歯や口の健康づくりに関する情報提供と知識の普及啓発	55
			B 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した歯や口の健康づくりへの取り組みの推進	
VII	健康管理	自分の体や健康状態を把握し、適切な健康管理ができることで、生涯を通じいきいきとした生活をおくる	A 健康に関する情報提供と知識の普及啓発	56
			B 健康診査・事後指導に関する情報提供と受診勧奨及び健診体制の整備	62
			C 妊娠期の健康と安全な出産への支援	63
			D 子どもの健やかな育ちへの支援	63
			E 感染症についての情報提供と予防接種の普及啓発	70
			F 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した健康づくり等に関する取り組みの推進	72
VIII	子育て・子育て	親子が直面する様々な悩みについて、身近で相談や必要な支援を受けることができ、安心して子育て（子育て）ができる	A 育児上の問題発生の予防・支援体制の充実	78
			B 虐待の予防と早期発見・早期援助のための体制の充実	79
			C 親自身の悩みを受け止める場や専門的な相談機関の情報提供と相談の場の充実	80

平成26年度 健康づくり関連事業一覧

注) 所管部局・関連団体の名称は平成26年度当時のものです

【方向性】

拡充：さらに積極的に取り組む予定
 継続：同様に取り組む予定
 縮小：規模などを縮小して取り組む予定
 完了：単年度事業、期間満了となった取り組み
 廃止：終了する取り組み

【対象世代】

幼：幼年期（0～5歳） 壮：壮年期（25～39歳）
 少：少年期（6～14歳） 中：中年期（40～64歳）
 青：青年期（15～24歳） 高：高年期（65歳～）

I. 栄養・食生活

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その 他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
1 ぐらしのノート事業	ぐらしセンター 消費生活課	消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「ぐらしのノート」を作成し、学校現場で活用してもらい、消費者教育を推進しています。小学生用には豊中市食育推進計画等を掲載し、健康な食生活について啓発しています。	消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「ぐらしのノート」を作成(小学校4, 100冊、中学校4, 200冊)しました。	学校現場で活用し、消費者教育の推進、食生活と健康づくりについて情報提供をすることができました。	継続			●						I-A	
2 消費者活動支援業務	ぐらしセンター 消費生活課	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業(リユースバザー・ぐらしかん祭り・講座等)を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ10団体ありました。	登録グループ活動のうち、ひろば事業での食に関する講座を行い食生活や健康への啓発を行うことができました。	継続				●	●	●	●		I-A	
3 生活情報ひろば事業	ぐらしセンター 消費生活課	(とよなか消費者協会に委託)ぐらしかん1Fの「生活情報ひろば」において、ぐらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。食に関するパネル展示や講座を実施し、健康な食生活を啓発しています。	ひろば事業(うち食に関するもの)パネル展:4回 地産池消:12回 講座:18回	食に関するパネル展示や講座を実施し、食生活や健康への啓発をすることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-A	
4 生活関連物資課題調査	ぐらしセンター 消費生活課	(とよなか消費者協会に委託)食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め市場調査を行っています。食料品等を含む生活関連物資課題調査の結果を市民へ情報提供することは、適切な商品選択に資することから、健康づくりのための商品選択の一助となっています。	食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め調査を行いました。 調査内容:ミネラルウォーターの品質表示などの調査、量目調査	調査結果を配信し、食に関する情報を提供し、健康への啓発を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-A	
5 消費者啓発講座・セミナー	ぐらしセンター 消費生活課	①消費生活セミナー:消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事:消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。 ③学校における啓発講座:食品表示や食に関する講座を実施し、健康な食生活の啓発をしています。	①消費生活セミナー:2回(うち食に関するもの0回) ②消費者月間行事:1回(うち食に関するもの0回) ③学校における啓発事業:80回 2,754人(うち食育関係:56回、1,936人)	学校での啓発事業では、食品表示や食に関する講座を実施し、食生活と健康づくりの啓発を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-A	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
6	とよなか食育プラス ワン	保健所 保健企画課	第2期食育推進計画を市民の方 に実践していただけるよう、「ほ んの少しの取り組みから始めま しょう」という思いを込めて食育プ ラスワンシートを作成・配布してい ます。	【新規作成プラスワンシート】 ○血糖値・血圧・コレステロールが気になる人の ためのプラスワンシート(協力:市薬剤師会)市内 薬局を通じて配布。 ○80歳で20本の歯をたもつためのプラスワンシ ート(協力:地域保健課) ○匂を味わうためのプラスワンシート…公立保育 園の給食だよりの裏に印刷。 ○ココロもカラダも元気になるためのプラスワンシ ート(協力:農業委員会事務局)農業祭のチラシ の裏 既存シートと合わせて合計 25,120 枚活用	シートの内容について他の部局と検 討したり、食育や健康づくりに関する シートをチラシの裏に印刷させていた だくことで、複数の部署や関連団体と 協働して食育事業を実施する環境の 整備につながっているほか、関心の 薄かった層にも食育という単語を知っ ていただく機会になっていると感じて います。食育を実践していただくため のツールとして、今後も広く活用して いきます。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	I-A	I-C
7	食の育みフォー ラム	保健所 保健企画課	食育推進計画の周知のため、市 民に身近なテーマでフォーラムを 開催しています。	テーマ「子どもたちの育ちを支える食育とは～家 庭でも保育施設でも楽しい食育～」平成 26 年 8 月 29 日(金)開催参加者 100 人 ①講演「子どもの育ちと共食」(豊中市保健所 松岡所長) ②講演「生きる力を育てる食育」(こどもの城児童 館運営部 太田氏)	食育は楽しく食べることや会話を楽し むことなど簡単なことから気軽に取 り組むめばよいということをお話し していただきました。食育は日常の中にある ということを今後も発信していきます。	継続				●			●	I-A	
8	食品衛生事業	保健所 衛生管理課	市民に対し、食品衛生に関する 知識を広め、食中毒予防に取組 むなど、安全な食生活の確保を 図ります。	市民に対し、食中毒予防や異物混入防止に関 する講習会を 34 回開催し、1,217 名が受講し ました。 また、食中毒予防街頭キャンペーン等のイベ ントを実施し、広く食品衛生に関する知識の普及を 図りました。	講習会の受講者は概ね熱心に受講 されており、食品衛生に関する知識 の普及としては有効であったと考えま す。今後も継続実施していくにあつ ては、講習会の効果的な周知方法 の検討や会場の確保が課題であると らえています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-A	
9	食育スタディー デー	保健所 保健予防課	(NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ 21 協力)小学生と その保護者を対象に、環境学 習・収穫体験・共食体験などを 行います。	1 回 69 人	スタッフの配置の工夫等でより効果 的に事業が行えました。参加者にも 好評でした。	継続			●		●	●		I-A	
10	幼児食講座	保健所 保健予防課	幼児食に関する知識・情報を提 供します。千里保健センター、中 部保健センター、庄内保健セン ターで実施します。	実施回数 22 回、参加者数 108 人	幼年期だけでなく生涯を通じた食生 活について啓発する場として、実施 することができました。	継続		●						I-A	VII-D
11	マタニティークキ ング	保健所 保健予防課	妊娠中の食事と離乳食につい て、簡単な調理実習と試食を 実施します。	実施回数 6 回、参加者数 94 人	妊娠中の食事だけでなく、離乳食も 作れる講座として好評でした。	継続	●							I-A	VII-C
12	メタボ撃退お料理 教室	保健所 保健予防課	メタボリックシンドロームなど生活 習慣病予防に焦点をあてた調理 実習を実施します。	1 回 15 人	簡単に作れるメニューで好評でした。	継続					●	●	●	I-A	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その 他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
13 妊婦教室「カンガルークラス」	保健所 保健予防課	妊娠5カ月以降の妊婦とその家族を対象に、栄養士が妊娠中の食事についてお話しします。毎月1回開催しています。	11回開催 参加者数延140人	妊娠期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。	継続	●								I-A	VII-D
14 離乳食講習会	保健所 保健予防課	離乳食に関する知識・情報を提供します。千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センターで実施。	ごっくんクラス 実施回数24回 参加者数829人 かみかみクラス 実施回数24回 参加者数647人	離乳食に関する知識や情報を提供するとともに、保健センターが食に関する相談窓口であることをPRすることができました。	継続		●							I-A	
15 親子でかむかむクッキング	保健所 保健予防課	よく噛んで食べるための話と親子での調理実習を実施します。	1回 32人	幼年期のこども及び保護者に噛むことの重要性を伝え、親子で調理する機会を提供できました。	継続		●							I-A	
16 消費生活情報の広報	くらしセンター 消費生活課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。食品表示や食に関する記事を掲載し、健康な食生活の啓発をしています。	A4判8項 3,000部/回 年1回発行 A4判4項 3,000部/回 年3回発行 点字版 B5判 11部/回 年4回発行	食品表示や食に関する記事を掲載し、食生活や健康づくりへの情報提供を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
17 くらしかん祭り	くらしセンター 消費生活課	①消費者問題等に取り組むくらしかん登録グループの実践活動の発表の場としてくらしかん祭りを実施しており、グループ間交流や市民との情報交流を図っています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。食や栄養に関するブースを設置し、健康な食生活の啓発をしています。	協力団体23団体(くらしかん登録グループを除く) 参加者数:957人	食に関するブースを設け、健康づくりを推進することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
18 啓発事業	くらしセンター 消費生活課	JAS法の遵守を確保するために市内事業者を対象に指導点検等による品質表示制度の普及・啓発等を行います。	・事業者への巡回点検等を行い、啓発を実施しました。 ・くらしかん祭りでは「ミネラルウォーター」の品質表示をパネル展示しました。	食品表示の大切さを市民に普及啓発することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
19 地域産業の活性化	くらしセンター 地域経済課	地域社会を支えてきた産業のさらなる振興を図るとともに、大阪国際空港や道路などの交通利便性の高さ、大学の立地といった地域特性を活かして新たな産業の立地を進めます。	中小企業チャレンジ促進プランにもとづき、とよなか産業フェアや情報調査提供事業など自立と発展をめざす企業を支援する事業を展開しました。	さまざまな企業が新たなビジネスにチャレンジできるよう、幅広い支援を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	I-A
20 新産業・起業の促進	くらしセンター 地域経済課	事業者間の出会いの場づくりやPRの場づくりを通じて、新たなビジネスの創出に取り組む企業を支援することにより、市内産業の活力向上を図ります。また、さまざまな分野で創業・起業をめざす人材や第二創業に取り組む市内事業所を支援し、市内産業の新たな担い手の育成を図ります。	中小企業チャレンジ促進プランにもとづき、中小企業チャレンジ支援事業やとよなか起業・チャレンジセンター事業など自立と発展をめざす企業を支援する事業を展開しました。	さまざまな企業が新たなビジネスにチャレンジできるよう、幅広い支援を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その 他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
21 在宅給食サービス 事業	いきいきセンター 障害福祉課	単身障害者又は障害者のみの世帯に対し、安否確認のため居宅を訪問し、食事を手渡します。栄養バランスのとれた食事を定期的に提供することで健康維持にもつながります。	給付決定人数 44 人	単身障害者又は障害者のみの世帯に対し、栄養バランスのとれた食事を定期的に提供しました。このことで、健康維持のみならず安否確認も行うことができました。	継続	●			●	●	●			I-B	
22 市立障害児者施設 給食関係業務	いきいきセンター 障害福祉課	市立2園(生活介護事業所みのり園、生活介護事業所たちばな園)の給食献立作成、材料発注、給食検討会議、施設管理を行います。食事の介助や食事形態の工夫等が必要なそれぞれの利用者に対して、安全で満足できる食事の機会を提供します。	延べ提供人数 12,931 人	一人暮らし、食事の介助が必要等、様々な事情を抱える利用者に対し、仲間と楽しく、季節感のある食事を安全に提供することができました。	継続				● 18 歳 以上	●	●			I-B	I-A
23 在宅給食サービス 事業	いきいきセンター 高齢者支援課	食事づくりが困難な高齢者に栄養バランスのとれた食事を定期的に配達することにより、介護予防及び要介護状態重度化の予防を図るとともに、安否確認を実施し、高齢者が地域で安心して暮らせるように食の自立支援を図ります。	年度末利用者数:457 人 配食数 99,934 食	バランスのとれた食事提供と安否確認を行うことで、独居高齢者等が在宅生活を継続できるよう支援しました。	継続							●		I-B	
24 ホームページ 「栄養・食生活」	保健所 保健企画課	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供、食育に関する情報の発信、「とよなかの自慢料理」の紹介等を行っています。	「とよなかの自慢料理」では、市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設で提供されている給食の中から、各施設のおすすめメニューをお知らせしています。また、給食を作っている人の思いや様子もお伝えしています。	「とよなかの自慢料理」の紹介メニューを充実させていきます。	拡充	●	●	●	●	●	●	●		I-B	
25 食育推進のための 安全安心ハンドブックⅡの活用	保健所 保健企画課	食中毒を予防し、安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。地域のお祭りや、イベントなどで模擬店を出店する時、調理実習をする時などに活用できます。衛生管理課と合同で作成しました。	庁内関係各課を中心に、市民の方にも配布しました。	食中毒予防及び継続的な食育活動に向けて、今後も必要に応じて配布します。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その 他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
26 特定給食講演会	保健所 保健企画課	大阪府域の特定給食施設およびそれに準ずる施設のスタッフ(管理栄養士・栄養士・調理師等の給食関係者)や、大阪府栄養士会会員等約1000名を対象に、年2回、府内の市町村等が合同で講演会を実施しています。 主催:大阪府・大阪市・堺市・豊中市・高槻市・東大阪市・大阪府立大学21世紀化学研究機構「公衆栄養実践研究センター」・大阪府栄養士会 会場:大阪府立大学学術情報センターUホール白鷺(大ホール)	◆特定給食講演会Ⅰ平成26年11月28日(金)開催。豊中市からは35施設37名が参加しました。 ・事例発表:「病院を飛び出した患者食～国循のかるしお事業について～」(国立循環器病研究センター村井栄養管理室長) ・講演:「日本人の食事摂取基準(2015年版)総論・各論」(武庫川女子大学 雨海教授) ◆特定給食講演会Ⅱ平成26年12月10日(水)開催。豊中市からは19施設24人が参加しました。 ・講演:「日本人の食事摂取基準(2015年版)総論・各論」(国立循環器病研究センター 河野高血圧・腎臓科部長) ・事例発表:「積水化学工業大阪本社食堂における健康への取り組み」(中央フードサービス株)、「マリア高安保育園における年間を通しての食育活動」(社福)厚生博愛会マリア高安保育園)	特定給食施設における給食は、給食利用者の健康づくりに大きく影響を及ぼすことから、適正な給食の提供と栄養管理が行えるよう給食担当者の資質の向上等を図ることは重要と考えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
27 特定給食施設研修会	保健所 保健企画課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ(施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等)を対象に、年2回程度研修会を実施しています。	◆食中毒予防に関する講演 平成26年5月1日(木) ①講演「食中毒予防」(市保健所衛生管理課 食品衛生グループ 食品衛生監視員) ②手洗いチェック体験:76施設98人 ◆日本人の食事摂取基準に関する講演 平成27年2月24日(火) ①講演「日本人の食事摂取基準を読み解く」(大手前栄養学院 小松先生) ②講演「日本人の食事摂取基準を活用する」(ほうせんか病院 永野管理栄養士) ③情報交換会:38施設42人	食中毒予防に関する講演では「手洗いの重要性を再確認できた」「勉強になった」との声が多数寄せられ、安心安全な給食の提供の徹底に役立てていただけたのではないかと思います。食事摂取基準に関する講演では、実践的なお話をしていただいたため、「すぐに活用できそうな内容でよかった」「とてもわかりやすかった」との声が多数寄せられ、大変満足度の高い研修会となったことが伺えます。今後も対象者のニーズに合った研修会を開催していきます。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
28 栄養表示基準に関する指導等	保健所 保健企画課	栄養に関する表示や広告などの「誇大広告の禁止」などに関して市民に適切な情報の提供を行ったり、食品業者や広告業者などに対する相談や指導を行っています。	特別用途食品の許可申請にかかる相談及び申請関係事務 0件 栄養表示基準等に関する相談・指導・助言 3件 虚偽誇大広告等に関する相談・指導 5件	わかりやすく正確な栄養表示などを行うことで市民の健康づくりを推進します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その 他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
29 「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及啓発	保健所 保健企画課	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、健康と環境にやさしい「ヘルシーオーダー」の実施を推進しています。	広報とよなかに「うちのお店も健康づくり応援団の店」のコラムを掲載することなどにより普及を呼びかけました。	今後も継続して市内の飲食店に啓発を行っていきます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
30 給食 (医療型児童発達支援センター)	保育幼稚園室	こどもたちがおいしく安全に、楽しく食事をすることで心身両面の発育を促します。こどもの摂食機能にあった給食を提供します。	給食は特別食(ミキサー食、クッカー食、軟食)と普通食を提供しました。素材の味を生かし、工夫した調理によりどの形態も安全で楽しく食べられるようにしました。保護者からの調理の質問にもしいの実学園で工夫していることを伝えることができました。	口から摂食できる子どものほとんどが特別食であり、嚥下に問題を持つ子どもにも安全な給食を提供できたと思います。給食を楽しみ、少しでも口から栄養を取ることができました。	継続		●						I-B	
31 小学生メニュー コンテスト	保健所 保健企画課 教育推進室	保健企画課と教育推進室が共催で、小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞作品メニューを市の小学校給食献立のメニューとして活用しています。	夏休みに実施。3,310人から「栄養バランスがよい」「おいしい」「作りやすい」などの工夫がされたメニューの応募がありました。(入賞6人、入選6人)	夏休みに実施するため、多くの応募があります。また、入賞作品の学校給食採用、給食だより等での紹介により、学校関係者・保護者に認知されるようになってきており、学校、家庭における食育の推進が可能と考えています。	継続			●					I-C	
32 幼稚園教員研修事業	保育幼稚園室	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	子どもの心を豊かにする絵本についてや、まわりとの愛着関係・信頼関係を育むための保育について、また困り感のある子どもへの支援について等の研修を開催しました。	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	継続			●		●	●	●	I-C	II-C
33 中学校夜間学級補食提供事業	学校給食室	中学校夜間学級生の補食給食(パンと牛乳)を実施します。	平均19人の生徒に対し194回の補食給食を実施しました。	中学過程の修得を目指す中学校夜間学級の生徒の健康保持に努めました。	継続					●	●	●	I-C	
34 小学校給食運営	学校給食室	市内の小学校に学校給食を提供します。	約21,000人の児童に189日給食を実施しました。	給食の提供を通じて、児童に適切な栄養の摂取による健康の保持増進に努めました。	継続			●					I-C	
35 食育推進	教育推進室	望ましい食習慣を身につけるとともに、学校と家庭が連携し食育を推進するため、体験型料理教室及び料理教室を開催します。	「わくわく食育プロジェクト事業」として、幼稚園2園・小学校6校・中学校1校において、専門家講師による親子料理教室や、食育教室を実施しました。	専門家講師等による親子料理教室は大変好評でした。食に関する情報を正しく理解し、親子でおいしく楽しく調理・食事をすることで食に関する関心意欲を高めることにつながりました。食育教室では、栄養バランス等について学び、自分の食生活を振り返ることで食育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	I-C	

II. 運動・身体活動

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中			高		
36	ステップアップ教室	いきいきセンター 高齢者支援課	市内の老人福祉センター4会場で、いきいき元気運動教室の修了生を対象にした運動教室を開催します。	実施回数:96回、延参加人数:659人	教室参加中からステップアップ教室の案内をすることで、教室終了後も運動習慣を続ける機会となっています。	継続							●	II-A		
37	介護予防体操	いきいきセンター 高齢者支援課	老人福祉センター、老人憩の家等で月2回、1時間程度介護予防体操を行います。	実施回数:320回、延参加人数:7150人	2次予防通所型介護予防教室やステップアップ教室からの参加者が増え、2次予防、1次予防のつながりができてきました。	継続							●	II-A		
38	あたまとからだの体操講座	保健所 地域保健課	活動的に元気に生活ができることを目的とする介護予防の動機づけの場として、運動及び認知機能低下予防に着眼して実施しています。	一期6回の講座を四期実施しました。参加実人数65人、参加延人数325人でした。	参加人数はほぼ前年度と横ばい。(前年度実人員64名) 集団での講座ですが、保健センターの機能を取り入れた個別の対応ができました。	継続							●	II-A	III-A IV-A	
39	介護予防サポーター養成講座	保健所 地域保健課	介護予防体操である「豊中ローズ元気up体操」を広めるべく、介護予防及び体操を理解し、教示していただける方を養成しています。	年一回実施。参加実人数10人	参加者の低迷もあり、今後の展開について、現在活動している団体等へのアプローチも含め検討が必要です。	縮小							●	●	II-A	II-B
40	とよなか百万歩ウォーク	保健所 地域保健課	楽しく歩く習慣を身につけ、生活習慣病予防に役立てていただくため、参加登録から1年以内に百万歩を達成した人に、認定書と記念品を贈呈しています。	登録者数451人(新規登録95人、達成者356人)	新規登録者数が前年度より減少(前年度新規登録者数136人)	継続							●	●	II-A	II-C IV-A
41	研究・研修	教育推進室	保健、体育における研究・研修の実施を通して、学校園の保健環境や授業力の向上を図るとともに、学校園での保健、体育、環境の調査統計を行い、健康の保持増進を図ります。	教育センターと連携し、教職員を対象に、水泳・なわとび・柔道・体づくり・フラッグフットボール等多様な運動領域の実技研修を実施しました。	授業力の向上につながり、今後の日々の授業に生かすことができました。また、多様な課題に対する正しい知識の習得につながりました。	継続		●	●	●	●			II-A		
42	障害者青年教室	地域教育振興室	障害のある青年に対し、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の学習機会を提供します。教室の科目に体育、エアロビクス、リズム体操、体操があります。	障害のある青年に対し、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の学習機会を提供します。教室の科目に体育、エアロビクス、リズム体操、体操があります。	現状のまま継続します。	継続			●	●				II-A		

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
43	女性のこころとからだ健康関連の講座	人権政策室	((一財)とよなか男女共同参画推進財団が運営・管理)からだを動かすことでエンパワーと自己解放をめざします。	親子で楽しむリトミック:全5回 親子20組が参加 リトミックの手法を用いて育児期の女性の心身のリフレッシュと親子のコミュニケーションを図り、育児のストレスから開放される機会を作ります。	アンケート満足度100%。定員20組に対して49組の応募があった。テーマを変えて、新しさを維持しながら継続して実施していきます。	継続						●	●	●	●	II-B	II-A
44	保健福祉事業	人権政策室 蛭池人権まちづくりセンター	人権意識の高揚と差別や偏見のない人権尊重のまちづくりをめざすとともに、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るとともに、介護予防に努めています。	事業実施回数95回 参加人数1,273人 健康生きがい教室、火曜サロン他の開催	事業を通して、高齢者の生きがいと健康づくりの推進と人権意識の高揚を図りました。	継続								●	●	II-B	
45	保健福祉事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	高齢者等の「介護予防事業」や「ふれあい交流事業」を柱に、地域住民・市民の生きがいのある生活と健康づくりの推進を図っています。	高齢者ふれあい介護予防事業「ほっとス」実施回数49回 延参加人数1,067人 高齢者ふれあい「会食会」実施回数21回 延参加人数859人 高齢者ふれあい「健康・趣味講座」実施回数7回 延参加人数109人 外出支援事業「トークマインド」実施回数11回 延参加人数171人	新規参加者の働きかけを行うとともに、福祉施設のケアマネジャーやヘルパーからの紹介で参加する高齢者の参加もあります。高齢者の福祉及び健康の増進のため、必要性が増すと考えています。今後も継続して取り組んでいきます。	継続								●	●	II-B	
46	路上喫煙対策事業	環境センター 美化推進課	周りの人に迷惑となる路上喫煙を防止し、安全・快適な生活環境の確保を推進します。	路上喫煙禁止区域に指定している豊中駅周辺・千里中央駅周辺での巡回指導を実施しました。また、広報誌・ホームページに事業内容を掲載し、快適な生活環境づくりを推進しました。	禁止区域において、巡回指導等を実施することにより、喫煙者のマナーが向上し、路上での喫煙率が減少、また、ポイ捨ても減少傾向にあります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
47	安全安心対策事業	公園みどり推進課	公園施設のバリアフリー化及び改築・更新。	2公園においてバリアフリーに配慮して、トイレの置換えや段差解消、水飲みの置換えを行うとともに遊具更新も行いました。	誰もが公園施設を安全に安心して利用できるように、バリアフリー化及び改築・更新を計画的に進めています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
48	公園施設長寿命化計画策定業務	公園みどり推進課	公園の計画的な改修計画を策定。	25年度で完了		完了											
49	公園整備・小改良事業	公園みどり推進課	公園施設の小規模な改良。	20箇所の公園の工事を行いました。	公園施設の修繕を行うことで、安全な身体活動の場所を維持しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
50	公園維持管理事業	公園みどり推進課	公園樹木の剪定など公園の維持管理に関する事業。	公園の除草(約2回/年)、清掃(1回/週)等や公園施設の修繕を行いました。	植栽や施設の維持管理を行うことで、癒しや憩いの空間を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
51	開発許可制度	公園みどり推進課	開発事業者からの帰属公園となりますが、協議によっては、健康遊具の設置も考えられます。	開発許可制度によって、4箇所の公園が設置されました。	公園が設置されることで、身近な身体活動の場が確保されました。	継続						●	●	●	●	II-B	II-A

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
52	みどりの基本計画 施策推進事業	公園みどり推進課	市民との協働により、地域での花だん活動や小学校等での「みどりのカーテンづくり」を支援するとともに、各種緑化啓発イベントを開催するもので、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	花苗の配布(6,613株) みどりのカーテンづくりの支援(68団体) みどりのフォーラムの開催(参加者91人) みどりの交流会展の開催(参加者438人) みどりのつどいの開催(3回、参加者71人)	地域での花だん活動や小学校等での「みどりのカーテンづくり」が進み、各種緑化啓発イベントには、多くの参加者があり、高い効果が得られています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
53	緑化推進事業	公園みどり推進課	公共施設の緑化、自治会等が取り組む緑化活動への資材等の提供などを行うもので、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	街路樹の補植(1,355本) 市民協同緑化樹の配付(11,856本) 生垣緑化助成金の交付(1件、12.5m、30本)	多くの団体から市民協同緑化樹の配付申込みがあり、引き続き、民有地における緑化活動を推進することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
54	花いっぱい運動事業	公園みどり推進課	駅前等の草花やバラ園などの維持管理、イベント等における種子・球根の配布など、花いっぱい運動の啓発及び写真展の開催、市民との協働による地域での花苗の育成や草花の育成管理を行うもので、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	駅前等の草花やバラ園などの維持管理イベント等における種子・球根の配布(1,280袋、1,700球) 花いっぱい運動写真展の開催(応募140点、参加者912人) 市民との協働による地域での花苗の育成や草花の育成管理	イベント等における種子・球根の配布には、多くの需要があり、また、花いっぱい運動写真展には、多くの応募や参加者があることから、必要性の高い事業となっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
55	花とみどりの相談所主催事業	公園みどり推進課	花とみどりの相談業務や講習会、緑化リーダーの養成講座、豊中緑化リーダー会への活動支援を行うもので、草花鑑賞や人との交流による健康づくりに寄与しています。	花とみどりの相談件数:943人、1,182件 花とみどりの講習会:78回、1,705人、養成講座:36回、504人	リーダー会との協働での活動や講習会・養成講座を開催することで、みどりの啓発を行い、市民に潤いと安らぎを提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
56	ふれあい緑地施設管理	公園みどり推進課	協働事業提案制度に基づき公園の維持管理を協働で行っており、四季折々の花の咲く花壇など、きめの細やかな管理を行っており、ウォーキングのイベント施設(見どころ)としては利用できる可能性があります。	ふれあい緑地フェスティバル(来場者3,500人)、秋のフェスタ等を開催しました。	イベントを開催することより、余暇を楽しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
57	バードドーム管理事業	公園みどり推進課	建物の中に入り、セキセイインコなどの小鳥と触れ合える施設。ウォーキングのイベント施設(見どころ)としては利用できる可能性があります。	来場者数:10,159人	気軽に小鳥とふれあう空間を保つことで、癒しの空間を提供できました。	廃止	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
58	市民農園	くらしセンター 地域経済課	市民が土に親しみ余暇を楽しむ場の提供。土に触れ花や野菜を育てることでこころの健康につながります。	29農園、1,192区画	近隣とのトラブル等が増加していますが、市民が余暇を楽しむ場として定着し市民には好評です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
59	レクリエーション講習会	いきいきセンター 高齢者支援課	レクリエーションを体験し、介護予防の促進を図ります。	25年度で完了		完了										

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野				
						妊	幼	少	青	壮	中			高			
60	レクリエーション大会	いきいきセンター 高齢者支援課	体操・ゲーム等のレクリエーションを行い、介護予防活動の機会として活用を図ります。	実施回数1回、参加人数:358人	市老連との共催で実施しました。例年と異なり、千里体育館で実施することで新たな参加者が増えました。大会に参加し身体を動かすことで、介護予防活動のよい機会となりました。	継続							●	II-B			
61	老人福祉センター 主催事業	いきいきセンター 高齢者支援課	趣味教室を卒業した人の同好会等に交流の場を提供し、利用者の交流・生きがいつくりを支援します。利用者の健康管理のため、医師による健康相談を実施します。千里、原田、庄内、柴原の4センターで実施しています。	登録団体数…千里:21、原田:58、庄内:11、柴原:18 利用者数…千里:15,739人、原田:13,266人、庄内:4,303人、柴原:4,744人 健康相談…千里:実施47回、受診者延503人、原田:実施49回、受診者延301人、庄内:実施46回、受診者延321人、柴原:実施42回、受診者延36人	高齢者に交流の場を提供し、生きがいつくりと介護予防・健康維持に寄与しました。	継続							●	●	II-B	VII-A	
62	大会開催事業	いきいきセンター 高齢者支援課	ゲートボール大会・囲碁大会・将棋大会・謡曲大会を開催します。	ゲートボール大会 93名 囲碁 132名 将棋 92名 謡曲 93名。	日頃の練習の成果を発揮する場として大変有効な場となっています。	継続							●	●	II-B		
63	ふれあい入浴	いきいきセンター 高齢者支援課	市内在住の65歳以上の高齢者を対象に毎月15日に100円で公衆浴場に入浴できる「ふれあい入浴券」を発行します。	入浴者数:25,081人	地域の交流の場として喜ばれています。	継続								●	II-B		
64	老人福祉センター 主催事業(趣味教室)	いきいきセンター 高齢者支援課	教室講座(お茶、お花、新舞踊、謡曲、パソコンなど)を開設し、健康の維持管理や教養の向上等交流の場を提供します。千里、原田、庄内、柴原の4センターで実施しています。	千里:8教室、受講者延1,339人 原田:10教室、受講者延1,457人 庄内:5教室、受講者延443人 柴原:6教室、受講者延448人	趣味教室を通じて、高齢者の生きがいつくりと教養の向上、介護予防・健康維持に寄与しました。	継続							●	●	II-B		
65	老人クラブ支援業務	いきいきセンター 高齢者支援課	豊中市老人クラブ連合会を支援する観点から、単位クラブや同連合会への補助事業などを行います。	165単位クラブ7,744,520円 老人クラブ連合会3,225,520円	市補助金を活用した多様な活動が行われています。	継続								●	●	II-B	VI-B
66	老人憩の家施設 管理	いきいきセンター 高齢者支援課	指定を受けた老人憩の家(豊中市立老人憩の家以外)の運営にかかる費用を補助します。一老人憩の家あたり、6,000円/月(年間72,000円)	23老人憩の家に1,656,000(72,000円×23施設)円補助金を交付しました。	趣味の教室や同好会の開催など、地域高齢者の交流により健康づくりが図られています。	継続							●	●	II-B		

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
67 老人憩の家施設管理(老人福祉センター費)	いきいきセンター 高齢者支援課	豊中市立老人憩の家施設の維持管理業務を行います。受付業務、貸室業務を行います。	施設の屋根修繕を行いました。空調機修繕を行いました。10の老人憩の家において、部屋の貸付を行い、延べ150,043人の利用がありました。	老朽化している施設があることから修繕料が必要です。	継続						●	●	II-B	
68 社会奉仕活動報償事務	いきいきセンター 高齢者支援課	美化活動、雑巾づくり、友愛訪問の三種の活動に対して助成します。	登録団体:99団体	登録団体数は、減少傾向にあります。	継続						●	●	II-B	
68 なごやか教室	いきいきセンター 高齢者支援課	囲碁、謡曲の講座を月4回程度開催します。	25年度で廃止		廃止									
70 老人文化祭事業	いきいきセンター 高齢者支援課	市内高齢者より作品を募集し、2日間にわたり文化作品を会場に展示し、文芸作品は作品目録に掲載し配布します。(豊中市老人クラブ連合会との共催)。	入場者674人、794展の出品がありました。	日常の創作活動の発表の場として定着しています。	継続						●	●	II-B	
71 保健事業(保健衛生普及費)	保険窓口センター 保険給付課	被保険者に医療費をお知らせする医療費通知や、被保険者の健康増進を図るためのプールなどの公的体育施設の利用料を補助する、はつらつ健康事業等を行います。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。	はつらつチケット発行対象者数:1,685人	国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援し、スポーツ施設の利用促進により、被保険者の健康増進に寄与していると考えられます。	継続			●	●	●	●	●	II-B	
72 豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針による行政指導	千里ニュータウン 再生推進課	住宅の新築や建替えに際し、豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針に基づく行政指導を行い、千里ニュータウンの良好な住環境の継承を図ります。基本方針でプレイロット(コミュニティスペース)の確保を指導しています。	基本方針の指導件数 1件	環境に配慮したまちづくりに寄与しているため、継続的な指導を実施します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
73 歩道改良整備	道路センター 道路建設課	「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、市内の主要な道路において計画的、効率的に歩道改良整備を実施します。	「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、5路線を整備	歩道の幅員、段差、勾配を線的に整備することにより、通行しやすい歩行空間を整備しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
74 住居地区バリアフリー整備	道路センター 道路建設課	生活道路等のバリアフリー整備を計画的かつ効果的に実施するため、地区単位で市民意見を反映しながら計画、設計、工事を順次進めます。5~6小学校区程度の単位で地区を設定し平成32年度までに全ての地区を完了させます。	「島田・庄内・庄内西・庄内南・千成小学校区住居地区バリアフリー事業計画」に基づき整備を実施。	歩道の段差、勾配を面的に整備することにより、通行しやすい歩行空間を整備しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
75 穂積菰江線	道路センター 道路建設課	都市計画道路神崎刀根山線から府道西宮豊中線までの区間で新設及び拡幅による街路整備を行い、都市機能の向上を図る。平成30年の事業完了を目標としています。	用地買収に向け測量を実施。	道路整備に向けて計画通り進捗しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
76 神崎刀根山線	道路センター 道路建設課	府道大阪池田線から市道三国第7号線までの区間の拡幅整備を行い、都市交通の混雑緩和を図ります。	25年度で完了		完了									
77 神崎刀根山線(旭ヶ丘橋)	道路センター 道路建設課	通学児童の安全・安心及び高齢者や障害者に配慮したバリアフリー歩行空間の形成のため、現旭ヶ丘橋の北側に3mの歩道橋、南側に1.5mの張出し歩道を設置します。	25年度で完了		完了									
78 桜の町第11号線	道路センター 道路建設課	広域避難所にもなっている近隣小学校へのアクセス向上並びに歩行者の安全性向上のため歩道を設置し、生活環境向上のため道路を新設します。	25年度で完了		完了									
79 スポーツ団体の支援と指導者の育成・確保	スポーツ振興課	スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	スポーツ推進委員研修会・研究会、種目別指導者・審判講習会、スポーツ指導者育成講習会、スポーツ団体への運営補助金交付を行いました。	スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、市民が幅広く生涯スポーツにふれる機会が確保できました。	継続				●	●	●	●	II-B	
80 庄内温水プール(休館)運営管理	スポーツ振興課	平成23年度(2011年度)より耐震性の問題から休館中の庄内温水プールの運営管理を行います。	平成23年度(2011年度)より耐震性の問題から休館中の庄内温水プールの代替水泳教室を民間プール事業者と連携して実施しました。	代替水泳教室を実施することにより、庄内温水プール利用者の継続した施設利用を図ることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
81 生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民大会・後援事業の支援・豊能地域生涯スポーツ推進事業などを通して生涯スポーツの振興を図ります。	年間を通じて、市民大会講習会、ニュースポーツデー、豊能地域生涯スポーツ事業等の各種事業を実施しました。	地域で催しを開催することにより、市民に気軽にスポーツ・レクレーションに親しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
82 地域スポーツの振興	スポーツ振興課	小学校区スポーツ振興会・総合型スポーツクラブの支援など、地域における生涯スポーツの振興を図ります。	年間を通じて、小学校区スポーツ振興会・総合型ローズクラブの支援等の各種事業を実施しました。	地域で催しを開催することにより、市民に気軽にスポーツ・レクレーションに親しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
83 大阪府総合体育大会派遣事業	スポーツ振興課	大阪府総合体育大会に豊中市の代表選手を派遣することで生涯スポーツの振興に寄与します。	府総合体育大会に選手を派遣しました。	競技者の目標設定ができ、充実したスポーツ活動となった。また、市民のスポーツ振興につながりました。	継続			●	●	●	●		II-B	
84 国内・国際スポーツ大会の参加奨励事業	スポーツ振興課	国際・国内スポーツ大会に参加奨励することにより、スポーツの振興を図ります。	大会出場者からの申込みにより報奨金を支給しました。	報奨金を支給することにより、遠方で開催される全国大会などに出場しやすくなりました。	継続			●	●	●	●	●	II-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
85	スポーツに親しめる環境の整備	スポーツ振興課	学校体育施設の開放することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	学校開放事業は通年実施しました。	スポーツに親しめる環境が身近にあることにより、スポーツに気軽に親しむことができました。また、勤労者のスポーツ活動の場を提供できました。	完了	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	II-C
86	スポーツ施設情報システムの運用	スポーツ振興課	スポーツ施設利用の利便性を図るため、システム(インターネット等)を利用して、利用申込みを行います。	述べ利用人数 1,091,575人	市民のスポーツ施設利用の利便性が向上しました。	継続				●	●	●	●			II-B	
87	体育施設運営管理	スポーツ振興課	屋内・屋外体育施設、温水プールの運営管理を行います。また、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう修繕等ハード面での管理を行います。	体育施設の運営管理及び修繕を行いました。	体育施設の運営管理及び修繕を行うことにより、利用者が、安心・安全にスポーツを実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●			II-B	
88	大阪国際空港周辺緑地2街区整備事業	スポーツ振興課	市民スポーツの推進のため、ふれあい緑地2街区にサッカー等の専用グラウンドを開設します。	平成26年(2014年)9月からふれあい緑地球技場の供用を開始しました。	ふれあい緑地球技場を活用した、市主催事業を実施することにより、ふれあい緑地全体を広く周知することができました。	完了	●	●	●	●	●	●	●			II-B	
89	ふれあい緑地少年野球場改修事業	スポーツ振興課	ふれあい緑地少年野球場で硬式野球ができるように施設を改修します。	ふれあい緑地少年野球場で硬式野球ができるようにフェンスの嵩上工事を行いました。	フェンスの嵩上工事を行うことにより、小・中学生の硬式野球が可能となりました。	完了		●	●							II-B	
90	豊島体育館屋根改修事業	スポーツ振興課	豊島体育館の雨漏りや音響設備を改修します。	豊島体育館の雨漏りや音響設備を改修しました。	豊島体育館の雨漏りや音響設備を改修することで、より安全で快適な環境で、施設を利用できるようになりました。	完了	●	●	●	●	●	●	●			II-B	
91	螢池北青少年運動広場施設運営	青少年育成課	占有使用の承認・子ども広場交流会を開催します。	地域協力団体からの聞き取り調査と開催日程調整の結果、未実施となりました。	前年度に引き続き、事業のねらいの再共有やより効果的なあり方を検討していくこととなりました。	継続		●	●	●	●	●	●			II-B	
92	とよなか地域ささえ愛ポイント事業	いきいきセンター 高齢者支援課	高齢者の介護施設などにおける高齢者支援活動に対してポイントを付与することで、参加者の介護予防・地域貢献・社会参加活動を促進します。	ボランティア登録人数:829人 受け入れ先登録数:120施設	介護予防の新たな取り組みとして事業展開するなかで、登録者や受入施設も段階的に増加し、当初のねらいの高齢者の生きがいづくりと介護予防に寄与しました。	継続								●		II-C	
93	幼稚園園庭の芝生化推進事業	保育幼稚園室	幼年期における運動能力の向上、及び園児が自然環境に触れる機会の提供を目的としています。	芝生化した園での芝生の維持管理のための予算を計上しました。また、事業としてはH26年度で完了します。	運動会などの行事の際に裸足で実施するなど、幼児期の運動能力の向上や、自然環境にじかにふれあう取組ができたと思います。	完了		●								II-C	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
94 研修・会議関係事業	保育幼稚園室	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	公立・民間保育所は共に研修・研究会(看護師交流会、障害児保育交流会等)を行い、保育内容の充実を図りました。心や体の健康について考え、児童虐待や食物アレルギー、食品衛生等をテーマにした研修も開催しました。	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	継続		●					●	●	●	II-C	I-C	
95 幼稚園教育推進事業	保育幼稚園室	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。子どもを対象に体づくりにつながるプロジェクトも行っています。	公立幼稚園において、幼児教育の充実をはかるために講師を迎え研究を深めたり、公開保育を行ったりしました。また「げんキッズプロジェクト」では運動遊び専門の外部講師を招聘し、指導をしてもらいました。	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。子どもを対象に体づくりにつながるプロジェクトも行っています。	継続		●						●	●	●	II-C	
96 子育て支援センターほっぺ施設運営	保育幼稚園室	貸室利用に関わる受付事務及び貸室の衛生管理を行います。	年間貸室件数 169件	貸室利用者が心地よく安全に使えるように点検等を行い、衛生管理に努めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-C	
97 体力向上推進事業	教育推進室	親子スポーツフェスタ・豊中市小学校水泳大会の開催、体づくり研究推進校への支援、体づくり推進会議の運営などを行い、児童・生徒の体力向上を図ります。	10月18日服部緑地陸上競技場において親子スポーツフェスタ、8月25日・26日豊中市立豊島温水プール・二ノ切温水プールにおいて豊中市小学校水泳大会を開催しました。からだづくり研究推進校に対して、研究を効果的に推進していけるよう物品の支援及び指導助言を行いました。体づくり推進会議を年間2回開催し、子どもの体力向上プランを策定し、「運動の手引き」を資料につけ、市内全小学校に配布しました。	親子スポーツフェスタ、豊中市小学校水泳大会の実施により、それぞれの種目において子どもたちが自己の目標に向けてチャレンジし、運動に親しむ貴重な機会をつくれ、生涯スポーツにつながる取組となりました。	継続			●							II-C		
98 運動部活動指導協力者派遣事業	教育推進室	中学校の運動部活動に専門的技術と指導性を備えた人材を派遣し、部活動の活性化と充実を図ります。	要請のあった中学校17校、40部に対し、のべ40人の協力を得て2,078回の運動部活動指導協力者派遣を行いました。	専門的な指導を受けることで、運動部活動の活性化・競技力向上につながり、また、生徒のスポーツへの関心意欲を高めることができました。	継続			●							II-C		
99 スポーツ推進審議会	スポーツ振興課	豊中市の社会体育の現状と問題点をふまえ、生涯スポーツを實踐できる方策について審議を行います。	平成25年度に策定した「豊中市スポーツ推進計画」について、指標を設定する等、進行管理の手法の確立に向けて取り組みました。	平成25年度に策定した「豊中市スポーツ推進計画」について、指標の設定や、進行管理の手法を確立することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-C		

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
100 とよなか地域子ども教室	地域教育振興室	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。放課後子どもプランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組めます。各子ども教室で様々なスポーツ教室が行われています。	全41の小学校区単位で週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行いました。放課後子どもプランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組めました。	子どもの居場所づくりの取り組みの中で、子どもと大人がともに、野球、サッカー、テニス、陸上、ダンス、体操、ドッジボールなどさまざまなスポーツを通して交流を深めました。	継続			●		●	●	●	II-C	
101 地域教育協議会 (すこやかネット)	地域教育振興室	市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。各校区ごとにフェスタが開催され、その中でスポーツイベントが催されることがあります。	各校区ごとに開催したフェスタ等の中で、スポーツイベントが催されました。	各校区ごとに開催したフェスタ等の中で、スポーツイベントが催されることがあり、地域の大人と交わりながらスポーツを気軽に楽しむことができました。また、地域の清掃活動とスポーツを合わせることで、より参加者が楽しめる取り組みもありました。	継続			●		●	●	●	II-C	
102 小地域福祉ネットワーク事業	豊中市 社会福祉協議会	(市補助事業) 地域住民同士のなかまづくりを目的として、ミニデイサービス、ふれあいサロンや子育て中の親子向けに子育てサロン、また世代を超えた交流の場として三世代交流を38校区福祉委員会で実施しています。活動のボランティアスタッフとして協力していくことで、ボランティア自身の健康増進にもつながります。	ミニデイサービス…86回開催 延べ参加者…1,864名 延べ協力者数…1,718名 ふれあいサロン…1,369回開催 延べ参加者数…21,462名 延べ協力者数…7,864名 子育てサロン…651回開催延べ参加者数…19,918名 延べ協力者数…4,630名 世代間交流…150回開催 延べ参加者…35,413名 延べ協力者数…7,311名	多くの参加があり閉じこもりの予防、防止に役立っています。又、悩みの相談や新しい仲間づくりの場としての面も大きく、サロン外でのつながりにもなっています。協力するスタッフも元気で対応できるようにと健康管理につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-C	VII-F
103 生活支援サービス事業	豊中市 社会福祉協議会	(団体自主事業) 専門家による職業としての援助ではなく、互助の精神を基盤とした市民による有償の社会奉仕活動で、家事援助や話し相手や見守りなど、個々の要望に応じた活動を実施しています。	利用件数…599件 利用者数…599名 利用日数…2,311日 利用時間…4,279:24 新規相談件数…178件	介護保険など公的サービスでは対応できない援助を行うことで、心配ごとの解消につながっています。援助を行うことの体力増進や加齢による不便さの理解につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-C	VII-F

Ⅲ.こころの健康づくり

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
104 女性のこころとからだ 健康関連の展示	人権政策室	((一財)とよなか男女共同参画推進財団が運営・管理) 乳がん、子宮がん、更年期、ストレス等に関連して女性の健康を維持するに資する展示。	①所蔵資料展示：心もからだも健やかに～7月は心と身体の健康月間です ②所蔵資料展示：からだの声に耳をすませて～10月の乳がん月間をきっかけにしてみませんか	情報ライブラリーのテーマ展示で実施。テーマにそった書籍を集め、健康に関する情報提供の機会を作りました。	継続	●		●	●	●	●	●	●	Ⅲ-A	Ⅶ-A
105 シルバー人材センター 補助金業務	くらしセンター 雇用労働課	シルバー人材センターに対する補助事業を実施し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与します。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	シルバー人材センターの財政的な自主運営を目的として、市の労働政策と整合を図ったシルバー人材センターの事業運営に対する補助を行いました。(平成26年度シルバー人材センター就業延人数187,280人、契約件数4,511件)	就業延人数、契約金額等の増加により、高齢者の生きがいの充実、社会参加、就業機会の確保など福祉の増進及び高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに効果がありました。心の健康づくりに寄与しました。	継続								●	Ⅲ-A	Ⅱ-B
106 地産地消推進事業補助事業	くらしセンター 地域経済課	安心・安全な豊中産農産物の提供による地産地消の推進。学校給食等に豊中産野菜の出荷、豊中産野菜の直売会を実施します。	地産地消協力者 56名	地産地消の推進は食育の推進につながります。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ-A	
107 花畑開放	くらしセンター 地域経済課	市内の農地にレンゲの種をまき、開花時に市民が自然とふれあう場を提供するほか、小学校等の体験学習の場としてレンゲ旗を開放します。	延18団体2,039人の園児・小学生等がレンゲ畑に入場	市内の農地にレンゲの花が咲くことで市民に安らぎを与えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ-A	
108 農業祭	くらしセンター 地域経済課	市民の農業に対する理解と認識を深めるとともに地産地消を広くPRします。	11月22日(土)第35回農業祭を実施 来場者数4,000人	都市化の進んだ本市における農業をPRできる絶好の機会です。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ-A	
109 啓発活動	いきいきセンター 障害福祉課	市内の障害者団体や障害福祉サービス事業所等で組織する豊中市障害者啓発活動委員会を設置し、共感的・効果的な啓発のあり方検討やパネル展の開催等を企画し、啓発活動の充実に協働して取り組みます。また、障害者並びに障害者福祉に対する理解と啓発を目的に、啓発用のぼりの設置や車体マグネットの掲示等(障害者週間(12月3日から9日))の啓発活動を行います。	実施回数2回 ・素のままフェスタを実施 ・啓発用のぼり及び車体マグネットの掲示を実施	障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ-A	

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
110 自殺に関する知識等の普及啓発	保健所 保健企画課	自殺に関する知識や相談窓口等情報の普及を目的に、広報誌・ケーブルテレビ・ホームページ等による情報の発信、講演会・駅頭啓発等を実施します。	・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)の周知として、広報誌への記事掲載のほか、駅頭啓発(豊中駅周辺で啓発媒体入りのティッシュ3000個配布)を実施。また、啓発記事を、パッカー車にマグネット貼付、図書の貸出しシートに印字して周知しました。 ・「こころといのちを守る相談窓口一覧」の作成・配布(5000部) ・11月に、千里地域連携センターと共同で自死遺族支援講演会を実施(参加者85名)	駅頭啓発や広報周知等は豊中市の自殺者の状況や取り組み等について広く市民に知ってもらう機会になっています。また、講演会では、僧侶の方にお話しいただき、遺族の方が「安心して悲しめる社会」の大切さを感じていただきました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	Ⅲ-A	Ⅲ-B
111 自殺に関する知識等の普及啓発	千里地域連携センター	地域住民が自死・自殺を身近な課題としてとらえ、地域の誰もが安心して共生できる「生き心地の良い(地域)社会」の実現に寄与することを目的として、自死遺族支援団体等、自死・自殺に関する地域活動を展開している多様な団体から講師を迎え、自死遺族を取り巻く現状や、自死・自殺の背景にある孤立等の社会的な課題等について学ぶ講演会を開催します。	・11月に、保健企画課と共同で自死遺族支援講演会を開催(参加者85名)し、千里公民館登録グループ及び公民館東部ブロック協議会の人権研修を兼ねて実施しました。	講演会の開催を通じて、自死遺族を取り巻く現状、自死・自殺の背景にある人権を含む社会的な課題、自死遺族支援や自殺防止に取り組む地域団体の活動について知っていただくことにより、自死遺族を支える環境づくりの大切さや、見守りや傾聴等、地域で取り組める身近な自殺防止のあり方等について、関心を深めていただきました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	Ⅲ-A	Ⅲ-B
112 精神保健福祉講座	保健所 保健予防課	こころの健康づくり(精神疾患・障害の予防)、ならびに精神疾患の早期発見と回復に必要な正しい知識の普及啓発を行います。	精神疾患の早期発見及び回復を図るため、患者の身近な存在である家族等を対象として、医師等による普及啓発を実施。家族教室等21回、289人	教室での学習効果だけでなく、教室参加をきっかけに個別相談につながる波及効果もみられました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	Ⅲ-A	V-A
113 人権ケースワーク事業	人権政策室	地域のセーフティネットとしての身近な相談窓口体制の充実を図るため、身近な人権相談に対する適切な助言などに情報提供や事案に応じた適切な機関の紹介、取次ぎ、人権侵害の実態把握を行っています。	毎週 月・水・金 9時～12時、13時～17時 第2・第4 木 13時～15時 相談窓口を開設。	相談者の多くがこころの悩みや不調を抱えており、相談員の適切な対応で、他機関への通報・取次ぎ、関係機関との連携がスムーズに行われています。身近な相談窓口として市民のセーフティネットの役割を担い、一定の効果を上げることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	Ⅲ-B	
114 女性の生き方総合相談	人権政策室	((一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 女性の抱える心理的な悩みを女性自身が解決できるよう支援します。	女性の生き方総合相談:年間件数1426件(電話688件、面接738件) 相談例:DV、離婚、夫婦関係、うつ状態など	人間関係のストレスを原因とした心やからだの不調等に対し、心理的サポートを行ったことで、回復への支援となりました。	継続			●	●	●	●	●	Ⅲ-B	Ⅲ-A
115 女性のからだ性と性の相談	人権政策室	((一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 女性特有の体の悩みについて、専門家が相談を受けます。	からだ性と性の相談:年間件数16件(電話5件、面接11件) 相談例:月経不順、閉経、体調不良、薬についてなど	女性の専門相談員が気軽にからだのことを相談できる窓口として対応しています。	継続			●	●	●	●	●	Ⅲ-B	Ⅲ-A

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
116 労働相談苦情処理	くらしセンター 雇用労働課	個別労働紛争において権利侵害を受け、訴訟等による解決を希望する場合に訴訟等の理由が労働法令・社会通念に照らして合理的であり、かつ資金の貸付が適当であると認められた市民に対して、当該訴訟等の費用の貸付を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	申請があれば審査の上で、労働訴訟に関わる費用貸付を行います。H26年度は申請はありませんでしたので、委員会のみ1回開催いたしました。	貸付はありませんでしたが、問い合わせなどは数件ありました。セーフティネットとして意識していただくことにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	Ⅲ-B	
117 労働相談業務	くらしセンター 雇用労働課	市内の勤労者、事業主などからの労働問題に関する相談に応じ、適切な助言、指導を行う。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	週3回(月水金)の10時～16時に専門員による労働相談を実施し、平成26年度では年間178人・延べ318件の相談を受けました。	労働相談は件数は横ばいですが、解決まで時間のかかるパワハラ等の困難事例が増加しており、解決支援に役立つ労働相談を受けることにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	Ⅲ-B	
118 地域就労支援事業	くらしセンター 雇用労働課	生活情報センターくらしかん並びに市立労働会館内に地域就労支援センターを設置し、障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	就職困難者に対して相談・就労訓練などを行い、就労へ導きました。(平成26年度相談件数 6,195件、就労決定 290人)	障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行い、就職へと導き、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	Ⅲ-B	
119 無料職業紹介事業	くらしセンター 雇用労働課	平成15年8月に「地域就労支援センター」を設置し、さまざまな理由により就労が困難な市民を対象に、相談やカウンセリング、教育訓練などの就労支援を行ってききましたが、これらの機能をさらに拡充し、求職者の居住地の近隣での就職を実現するとともに、市内事業所の求人活動等を応援することを目的に、平成18年11月に無料職業紹介所「豊中しごと相談ひろば」を設置しました。平成23年4月からはくらしかんの「無料職業紹介所・豊中」と、労働会館の「無料職業紹介所・庄内」の2拠点で行っています。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	市内外の事業所の求人獲得、地域就労相談者など求職者の求人事業所への紹介、各種(若者、障害者、学生向け等)面接会、面接対策講座等を実施しました。(平成26年度新規求人数 1,797人、就職件数 86件)	新たな求人ニーズの把握に努め、求人開拓チームによる新規企業の開拓・効果的なマッチングを積極的に行い、求職者を就職へと導き、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	Ⅲ-B	
120 住宅支援給付事業	くらしセンター 雇用労働課	「住宅手当」は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方または喪失するおそれのある方を対象として、住宅の確保(住宅喪失の予防)及び就労機会の確保を支援することを目的とした制度であり、就職支援を受けながら賃貸住宅の家賃のための給付金の支給を受けることができます。	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅支援給付金を支給するとともに、就労支援を行いました。(平成26年度支給延人数 59人、住宅支援給付金支給額 2,634千円)	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者の住宅の確保及び就労機会の確保を行うことにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	Ⅲ-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
121 消費生活相談業務	くらしセンター 消費生活課	契約や販売方法、品質などの消費者トラブルに対する苦情相談及び問合せに対する情報提供をしています。相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	相談件数 2,926件 苦情 2,491件 問合せ 435件	アドバイスや助言により様々な情報提供を行い、安心して相談できる場所として周知できました。	継続				●	●	●	●	III-B	
122 高齢消費者の見守り体制との連携（地域福祉ネットワーク会議）	くらしセンター 消費生活課	高齢者の消費者被害の未然防止、早期発見に向け、豊中市ライフセーフティネット、地域見守りネットワーク等と連携しています。高齢者が安心して暮らせることで精神的な安定につながります。	地域福祉ネットワーク 年14回	高齢者の消費者被害の未然防止にかかる情報提供をし、身近に相談できる場所の周知を行い、精神的な安定につながりました。	継続							●	III-B	
123 多重債務者生活相談業務	くらしセンター 消費生活課	多重債務者の債務や生計の状況などを聴取し、債務整理のための法律専門家への誘導をするとともに、関係部局が連携して多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援します。相談する場があることで精神的に安定することにつながる。	相談人数 201人	債務整理や生活再建の支援をすることで、精神的な安定につながりました。	継続				●	●	●	●	III-B	
124 多重債務問題連絡会等による連携	くらしセンター 消費生活課	多重債務者の債務整理や生活再建のため、意見・情報交換等により関係部局が連携して多重債務者生活再建業務に資するものです。	—	債務整理や生活再建のため、意見・情報交換を相談業務にいかし、精神面での安定につながりました。	完了									
125 相談支援事業	いきいきセンター 障害福祉課	・知的障害者相談支援：知的障害者が安心して地域生活を送れるよう、生活協力員（生活アシスタント）が本人の生活を見守り、相談相手となりながら必要な支援を行います。（（社福）豊中親和会に委託） ・精神障害者相談支援事業：精神障害者が安心して地域生活を送れるよう、本人の生活を見守り、相談相手となりながら必要な支援を行います。（（社福）みとい福祉会に委託） ・豊中市障害相談支援ネットワークえん（豊中市障害福祉課含む12機関で構成）	・豊中市障害相談支援ネットワークえん：全体会議12回	相談支援事業所のネットワークを構築し、連携を深めることで、障害者が安心して地域生活を送れるよう支援を行うことができました。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
126 障害者相談員事業	いきいきセンター 障害福祉課	身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員がそれぞれの立場に立って、各手帳の取得や障害者の身近な問題についていろいろな相談に応じます。	相談員数：22名 相談件数：延べ27件	当事者や家族といった相談員が身近な問題について相談に応じることができ、一定の効果をあげています	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
127 成年後見制度利用支援業務	いきいきセンター 高齢者支援課	市長による成年後見事業の申立および成年後見利用支援事業を実施します。	市長申立件数：14件	権利擁護の観点から後見人が必要な市民に対して速やかに利用支援を実施しました。	継続							●	III-B	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
128 自殺予防のための 人材育成事業	保健所 保健企画課	自殺の危険性の高い人の早期発見・ 早期対応を図るため、相談窓口担当 職員や地域で活動するボランティア 団体・一般市民等を対象に、自殺や 自殺関連事象に関する知識を普及 するとともに、自殺の危険性を示すサ インへの気付きやその対応に関する 研修会などを実施します。	・安心協力員、介護相談員を対象に、自殺 の現状や要因・支援方法、各地の取組み 事例等に関する講演会を実施(参加者 90 人)(豊中市社会福祉協議会と共同) ・理容組合員を対象に、自殺の現状や要 因、ゲートキーパーの役割などに関する人 材養成研修を実施(1回・参加者 108人) (衛生管理課と共同)・保健・福祉部門職員 ・関係者、相談窓口担当職員等に対し、ロ ールプレイ等実技を交えたゲートキーパー 養成講座を実施(2回・参加者 36人)(地 域福祉室(当時)、保健予防課と共同)	身近な地域で活動する民生委 員や地域ボランティア等への研 修は、日常での変化に気づき早 期に次の支援へのつなぐことが できることから、自殺予防対策 の裾野を広げることにつなが っています。また、ゲートキーパー 養成研修は直接相談支援に従 事する担当者のスキル向上に もつながり、どちらも参加者には 好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	III-C	
129 精神保健福祉相談	保健所 保健予防課	こころの健康問題・不調を抱える人 に対して、個別相談を行い、健康の回 復を図るとともに、精神疾患の早期発 見、早期治療に向けてケースワーク 等で支援を行います。	精神疾患の患者・家族等からの相談に応 じ、ケースワーク等による相談・訪問等を実 施。 個別相談人員:818人 相談・訪問延べ人員 3,333人 電話相談 1,113人	未受診者のへの医療の導入 や、医療中断者等への治療再 開、治療継続支援等を行うこ うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	V-B	
130 自殺対策事業	人権政策室	自殺対策基本法の理念に基づき、市 民が健康で生きがいを持って暮らすこ のできる社会の実現をめざし、総合 的かつ効果的な自殺対策について協 議及び推進するため、庁内の自殺対 策に関わる室等で構成される豊中市 自殺対策連絡会議、庁内外の関係 機関・団体で構成する豊中市自殺対 策ネットワーク会議を設置しています。	豊中市自殺対策連絡会議を1回実施。ま た、それと同時開催で豊中市自殺対策ネッ トワーク会議を1回実施。	1回の会議を通じて、当市の自 殺対策の取り組みについて協議 をしました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	III-A III-B	
131 総合生活相談事業	人権政策室 蛭池人権まちづくり センター	地域住民の多様な相談に対し、多角 的な観点から最も適切な支援方を を検討し、長期的・継続的に支援活動 を行っています。	事業実施回数 365回 参加延人数 392人 総合相談事業の充実、ケース検討会議、 支援方策検討会議等を実施しました。	事業を継続的に実施すること により、市民の不安や悩みを解決 するとともに、人権尊重のまちづ くりに取り組みました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	
132 総合生活相談事業	人権政策室 豊中人権まちづくり センター	社会的援護を要する地域住民・市民 の多様なニーズに対し、福祉、健康、 住宅、教育、保育、子育て、就労、人 権、その他のさまざまな観点から、身 近かで相談者の立場に立った最も有 効、適切な支援方を検討し、相談 者自らが課題等を解決するための長 期的、継続的な支援を行っています。	延べ相談件数 406件 支援方策検討会議 1回 ケース検討会議 5回	高齢化社会が進み、さらにニー ズが高まっていくと考えられるた め、今後も継続して取り組む必 要があります。また、問題の多 様化のため、福祉関係部局、 福祉施設、民生委員、福祉委 員等との連携を重ね、相談事 業の強化の取り組みを進めま す。	継続								●	●	●	III-C

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
133 生ごみ・剪定枝堆肥 化事業	公園みどり推進課	循環型社会を推進するため、堆肥「とよびー」を使った資源循環啓発を行っていますが、その取組みの一つとして、農体験学習を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	●野菜の栽培や田植えなどが体験できる農体験学習を55回、サツマイモ掘り体験ができる「とよびー祭り」を1回実施。サツマイモ掘りの参加者は251人。	児童を対象とした農体験学習には安定した需要があり、「とよびー祭り」や親子を対象としたシリーズ制の収穫イベント等は、都市部で農業を学べるという点から好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
134 ヒメボタル保全事業	公園みどり推進課	希少なヒメボタルを保全するために、生息地の保全活動及び保全啓発を行っていますが、その取組みの一つとして、ヒメボタル学習会・観察会を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	ヒメボタル学習会・観察会を1回実施	毎年度、キャンセル待ちが出るほど多くの申込みがあり、希少なヒメボタルについて学べる学習会と観察会をあわせたイベントは、非常に好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
135 自然環境啓発事業	公園みどり推進課	自然観察会等の自然環境啓発イベントを開催していますが、その取組みの一つとして、自然観察会及び自然体験で学ぶ環境学習を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	自然観察会を4回、自然体験で学ぶ環境学習を6回実施	毎年度、同回数を実施していますが、ここ数年は参加者数が高い水準で推移しており、特に、自然体験で学ぶ環境学習シリーズは、人気が高いイベントです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
136 自然環境保全事業	公園みどり推進課	里山の保全・再生及び民有地の樹木等の保全を支援していますが、その取組みの一つとして、里山の保全・再生活動及び自然観察会を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	里山(島熊山緑地)の管理作業を21回、島熊山緑地を活用した自然観察会を2回実施。	毎年度、管理作業及び自然観察会に安定した参加者がありますが、近年、ナラ枯れ被害が増加傾向にあり、管理作業の回数が増加しています。	継続	●			●	●	●	●	III-C	II-C
137 中小企業勤労者互助会事業	くらしセンター 雇用労働課	市内の中小企業に働く勤労者及びその家族の福利厚生の充実を図り、併せて中小企業の振興に寄与します。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	中小企業勤労者互助会の予算のうち、福利厚生事業費や一般事務管理費を補助することにより、市内中小企業に働く勤労者及びその家族の福利厚生の充実を図り、併せて中小企業の振興に寄与しました。(平成26年度末会員事業所153社、1,216人)	中小企業で働く従業員の福利厚生の充実を図り、心の健康づくりに寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-C	
138 福祉なんでも相談・ 審議会運営管理	地域福祉室	相談事業、地域福祉の活動拠点の運営や福祉サービス等の情報の受発信を行います	安心・安全なまちづくりの推進を図るため、福祉なんでも相談窓口の委託を行い、住民の身近な相談窓口運営支援を行いました。福祉なんでも相談窓口の設置数:36箇所	福祉なんでも相談窓口は、地域住民が、地域の問題を行政の適切な窓口へ素早くつなぐことができるため、地域福祉の向上につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-C	V-C
139 民生・児童委員協議会	地域福祉室	民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行います。見守り活動や相談に応じ、必要な支援を通じて住民の福祉の増進を図っています。	厚生労働大臣により委嘱された民生委員の活動支援を行いました。相談支援件数:15,375件 委員実数:560人	地域福祉の充実に寄与しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-C	VIII-B
140 認知症対策連携強化業務	いきいきセンター 高齢者支援課	認知症連携担当者を中央地域包括支援センターに配置し、認知症対策の体制を整備します。	認知症疾患医療センターとの連携会議:11件	引き続き中央地域包括支援センターに委託し、認知症対策の仕組みづくりを強化しました。	継続							●	III-C	III-A III-B

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
141 認知症サポーター等 養成事業	いきいきセンター 高齢者支援課	キャラバンメイトを養成し、サポーター養成講座を行い認知症について理解してもらおう普及啓発を進めます。	認知症サポーター養成数:2,684人 キャラバンメイト養成数:65人	地域包括支援センター職員以外の講師役であるキャラバンメイトを要請し、市内全域に展開を拡大させました。	継続								●	Ⅲ-C	Ⅲ-A Ⅲ-B	
142 こころの健康に関する 研修	保健所 保健予防課	市民のこころの健康にかかわる関係機関職員に対して、正しい知識の普及啓発等のための研修を行います。	市民のこころの健康にかかわる関係機関職員に対して、精神疾患やその対応についての基礎知識の普及啓発等を行いました。関係機関向け専門教育8回150人。	関係機関等のニーズを聞きながら実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	Ⅲ-C	
143 幼保小連携推進事業	保育幼稚園室	保育所・幼稚園・小学校の円滑な接続を図るための取り組みを行います。また、個々の子どもたちの引き継ぎも行っていきます。	各幼保小連絡会や協議会などで具体的な地域実態についても意見交換できました。 幼保小連絡協議会…年間2回、17校区に分かれての幼保小連絡会…年間2回	保育所・幼稚園・小学校の円滑な接続を図るための取り組みを行います。また、個々の子どもたちの引き継ぎも行っていきます。	継続		●	●							Ⅲ-C	
144 地域子育て・子育て支援ネットワーク事業	保育幼稚園室	子育て関係機関や団体との連携を図り、身近な日常的なかかわりの中で、子育て支援を行います。小学校区ごとに、地域子育て・子育て支援ネットワーク校区連絡会を開催します。	子育て子育て支援ネットワーク校区連絡会41校区で開催	小学校区ごとに連絡会を開催し、子育て関係機関・団体と情報交換や地域ごとの課題の共有を行いました。	継続	●	●			●	●	●		Ⅲ-C		
145 創造活動(不登校対応)	教育センター	不登校の児童生徒を対象に、学校復帰し自立できることを目的とし、個々の児童生徒の興味・関心を行動につなげ、自らが活動する過程で成長がはかれるように、必要な援助を組織的・継続的に行うことをねらいとします。クッキング活動、体を動かそう等のプログラムを実施しています。	文化館でのクッキング(20回)、体を動かそう(26回)等のプログラム活動のほか、ハイキングや宿泊体験活動、乗馬体験なども実施しました。	不登校の児童生徒が、プログラムや体験活動を通して児童生徒相互や指導員との心の交流を深め、安心感や達成感を持つことができ、学校へ復帰したり、学校復帰に近づいたりすることができました。	継続			●						Ⅲ-C	I-C II-A	
146 スクールソーシャルワーカー活用事業(連絡会)	教育センター	虐待など児童生徒のさまざまな課題に対応するため、教育と福祉に関して高度な専門的知識を有し、相談支援活動経験のある人材を、スクールソーシャルワーカー(SSW)等として小中学校に派遣します。	小学校22校、中学校5校に派遣し、ケース会議、教員・保護者等との面、教室訪問(児童生徒の観察)等を行いました。	相談者らとともに適切なアセスメントとプランニングを行い、課題解決に向けたチーム支援の方向づけを行うことができました。	継続			●						Ⅲ-C		
147 スクールカウンセラー 配置事業(連絡協議会)	教育センター	学校における教育相談体制の充実を図るために、学校に児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーとして配置し、児童生徒のいじめ・不登校・問題行動等の解決につなげます。	市内全18中学校に各1名のスクールカウンセラーを配置し、1回6時間、年間35回の相談活動等を、ほぼ行うことができました。	児童生徒に関わる問題について、児童生徒、保護者、教職員のカウンセリングやケース検討等を行う中で課題解決につなげることができました。	継続			●						Ⅲ-C		

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
148 子ども・若者育成支援 事業	青少年育成課	市の関係機関や家庭、地域等との連絡調整、情報の共有、連携をはかることにより青少年が社会的自立を果たすことができるよう支援をつなげるとともに、必要となる支援があれば関係部局と調整を図ります。	・「ひきこもりの若者を支援につなぐための講習会」(7回) ・先進都市視察(2都市) ・若年者就労問題等連絡会議と子ども・若者育成支援推進検討会議の合同会議開催(1回)	・講習会実施により、庁内外の方へ知識習得を促進するとともに、ユースアドバイザーの養成を行いました。 ・両会議の統合再編による法定協議会設置及び実務担当者会議の設置と支援の連携についてさらに検討を進めました。	継続				●	●			III-C	
149 ひとり暮らし老人の会 の組織化	豊中市 社会福祉協議会	(団体自主事業) 「孤独感の解消」、「一人よりみんなと」をスローガンに小学校区単位にひとり暮らし老人の会を組織化し、会食会などの開催を通じて、会員同士のつながりを構築しています。	組織状況 37校区 1317名 役員会 3回 連絡会・総会 3回 シングルライフ編集委員会 4回 シングルフェスティバル開催	シングルフェスティバルの出演や作品展への出品で、やりがいや喜びが次回への意欲となっています。会員同士で情報交換をすることで介護保険やサロンの利用に繋がる事もあります。	継続							●	III-C	

IV.たばこ

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
150 受動喫煙に関する普及啓発・禁煙表示の推進	保健所 保健企画課	受動喫煙による健康への悪影響に関する啓発活動や、学校・医療機関・官公庁施設・民間施設等での禁煙化および禁煙表示を推進します。	・市広報誌、ホームページに受動喫煙防止・禁煙表示の協力に関する記事を掲載・禁煙表示ステッカー配布チラシを配布(健康づくり応援団の店などの飲食店、世界禁煙デーイベントなどの各事業・催しの場ほか)	広報誌やちらしを見て禁煙表示に関する問い合わせもあり、市民や民間事業者を受動喫煙について関心を持ってもらう機会につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	IV-A	IV-B
151 市内禁煙治療・禁煙サポート実施医療機関調査	保健所 保健企画課	禁煙治療・禁煙サポートを実施する市内の医療機関情報を提供し、喫煙者の減少については禁煙環境の整備を推進します。	市内医療機関に調査を実施し、禁煙治療・禁煙サポートを実施する医療機関一覧リーフレットを作成。市ホームページに掲載しているほか、市薬剤師会会員店舗、世界禁煙デーイベント等の各種催しや健診事業で配布しました。禁煙治療等実施医療機関数(市内) 56件	禁煙が必要な人・禁煙を希望する人が禁煙し喫煙者が減ることで、個人の健康管理だけでなく、非喫煙者の受動喫煙の機会を減らすことができると考えています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	IV-A	IV-B
152 市有施設受動喫煙防止ガイドラインの推進	保健所 保健企画課	市有施設受動喫煙防止ガイドラインに基づき、市有施設の建物内禁煙の実施状況の確認及び推進に関する検討を行います。	全市有施設において建物内禁煙実施を実施中です。(平成25年11月より)	ガイドラインの設置により、全ての市有施設(個人が所有・管理する区域を除く)で建物内禁煙が実施されています。今後も、必要に応じてガイドラインの周知啓発を実施し建物内禁煙の徹底に努めます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	IV-A	IV-B
153 たばこの健康教育	保健所 地域保健課	たばこの情報提供・防煙教育を実施。地域住民等へのたばこに関する情報提供や健康教育・小中学校での喫煙防止教育	市内の中学校において、生徒向けの健康教育を実施。対象:5校 1,578人	地域に向けて(特に青少年)、たばこに関する正しい知識の普及啓発、情報提供ができました。	継続	●	●	●	●				IV-B	IV-A

V. アルコール等

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
154	薬物乱用防止啓 発事業	保健所 保健企画課	学校での薬物乱用防止教室の開催、健康展など地域のイベントにおける普及啓発を実施しました。	・薬物乱用防止教室を開催しました。(11回、延べ963人参加) ・薬物乱用防止キャンペーンを実施しました。(10回、延べ4,900人参加)	・学校薬剤師等と連携し、市内の小中学校で薬物乱用防止教室を開催し、生徒に薬物乱用防止の大切さを伝えました。 ・街頭キャンペーンで薬物の恐ろしさを伝えました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	V-A	V-C
155	HAPPY プログラム	保健所 保健予防課	・多量飲酒者の飲酒量低減とアルコール依存症の疑いのある人の早期発見を目的とします。 ・スライド教材による学習と飲酒日記を用いた、認知行動療法の手法に基づく簡易介入プログラム。	H26年度から実施。3回/1クールの講座。利用者は実4人-延10人。修了者2人は飲酒量や健康状態、生活面での改善が認められました。	プログラムの有効性が認められました。今後も継続し、より多くの利用を図る計画です。	継続				●	●	●	●	V-A	
156	アルコールの健康 教育	保健所 地域保健課	アルコールの情報提供・教育を実施。・地域住民等へのアルコールに関する情報提供や健康教育・小中学校での飲酒防止教育	市内の小中学校において、生徒向けの健康教育を実施。対象:5校 計784人	地域に向けて(特に青少年)、アルコールに関する正しい知識の普及啓発、情報提供ができました。	継続	●	●	●	●				V-C	V-A
157	アルコール連絡会	保健所 地域保健課	関係機関及び当事者団体等との情報交換等連携した酒害等に関する取り組みの推進	・豊中市域アルコール連絡会(課題報告、意見交換):1回・実務者研修会(講師講演、体験談):2回	関係機関との連携を図りながら、飲酒による健康への影響について正しい知識の普及啓発ができました。	継続		●	●	●	●	●	●	V-C	

VI. 歯や口の健康

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
158	妊婦教室「マタニ ティーママのデンタル 教室」	保健所 保健予防課	歯みがきとデンタルフロス(歯と歯の間をみがく糸)の使い方を歯科衛生士と練習します。併せて、むし歯菌簡易検査も実施しています。	11回開催 参加者数延119人	平成25年度からカンガルークラスと同日開催にしたことで受講の利便性が高まり、受講者数が徐々に増えています。	継続	●							VI-A	VII-D	
159	すくすくよい歯の教室	保健所 保健予防課	生後12か月前後の乳幼児(の保護者)を対象に、乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発を行います。	28回開催 参加者数延633人	対象や内容を見直しながら実施していきます。	継続		●						VI-A		
160	幼児の食育を支える歯や口の健康づくりの取り組み	保健所 保健予防課	保育園(所)・幼稚園と協働し、幼児の歯や口の健康に関して、保護者に対する啓発と職員への情報提供を実施しました。	職員向け研修会 受講者43名	研修以外の情報提供方法も検討しながら取り組みを進めていきます。	継続		●		●	●	●	●	VI-A	I-A	
161	歯科健康診査	保健所 地域保健課	市民への歯科医院での歯科健康診査を実施します。	豊中市歯科医師会と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。 H26年度受診者数:5,080人	歯周疾患予防のための歯科健診を受診することで、歯及び口腔内の健康への関心を高めることができました。	継続						●	●	●	VI-A	VII-B

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
162 障害者(児)歯科 診療事業	保健所 保健予防課	(一財)豊中市医療保健センターに事業委託し、市立庄内保健センターにおいて一般医院で治療が困難な障害者(児)の歯科診療を行います。(毎週水曜日 14時から16時。祝日、夏期(8月14日・15日)、年末年始期間除く)	庄内保健センターにおいて、延べ診療日数50日、延べ患者数728人の歯科診療を行いました。	一般医院で治療が困難な障害者(児)の歯科診療を行うことにより、障害者(児)支援の充実に寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VI-B	

Ⅶ.健康管理

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
163 環境交流センターにおける情報提供等業務	環境政策室	3R実践市民講座	実施回数:2回 参加人数:29人	家庭でのごみ減量の推進の一環として、食の安心・安全をテーマに、ごみの減量や食品ロス・ゼロに向けた取組み(とよなか食べきり運動)を楽しく参加・体験しながら、3Rの推進を学びました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	I-A
164 国連・持続可能な開発のための教育(ESD)の10年の取組み	環境政策室	ESDリソースセンターWEBにより、豊中市内の、健康づくりに寄与する店舗などを紹介しています。	掲載内容を随時更新。	市民のみなさんに、食への関心を高めていただくとともに、食材、食事を大切にすることを学んでいただいています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	I-A
165 コラボ事業	千里地域 連携センター	市民との協働や千里文化センターコラボ内の施設間の連携による事業を実施します。	市民実行委員会事業、10月に健康講座「ひざの健康」開催74名参加 3月に健康講座「中高年の腰痛」80名参加	健康講座については、毎回定員を超える申し込みがあり、市民の健康管理に対する意識や関心の高さが見受けられます。講演だけでなく、実際に身体を動かすなどの実技指導もあり、好評を得ています。	継続				●	●	●	●	VII-A	
166 生活保護受給者等健康管理支援事業	福祉事務所	生活保護受給者等で日常生活において健康管理が困難な者への助言・指導、病状把握、受診勧奨や医療扶助・介護扶助の適正化を行い、自立した生活が営めるよう支援をします。受給者等の健康上の問題について対応します。	受給者等への家庭訪問・面談等104件 医療機関への同行受診・病状照会等36件 自立支援医療(精神通院医療)の適用61件(平成27年3月現在) 重複受診・処方の改善24件(平成27年3月現在)を行いました。	地区担当者と連携して健康上の問題の解決及び医療扶助等の適正化に努めました	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
167 自立訓練	いきいきセンター 障害福祉課	地域生活を希望する障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を行います。	利用者数:延べ448人	地域生活を希望する障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を行うことができました。	継続				●	18歳以上	●	●	VII-A	I-A II-A II-B

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
168 介護保険制度等の啓発	いきいきセンター 高齢施策課	介護保険制度パンフレット等の作成・配布、地域説明会の開催などにより、介護保険制度等の啓発を行います。パンフレット「介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業を掲載しています。	・介護保険制度パンフレット「介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業について掲載。発行部数：20,000部 設置・配布先：市役所及び出張所、地域包括支援センター、市立豊中病院、校区福祉委員会など。・地域説明会の開催数：9回	高齢者も受けることができる各種サービスについて情報提供を行うことができました。	継続					●	●	●	●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A VII-B
169 ぬくもりサロンとよなか事業	いきいきセンター 高齢者支援課	営業開始前の公衆浴場を開放し、健康体操やレクリエーションなどのプログラムを行い、参加者は100円で入浴できます。	実施回数：73回 延参加人数：1,933人	健康体操やレクリエーションなどのプログラムの実施により、健康の保持や介護予防につながりました。	継続							●		VII-A	I-A II-A III-A VI-A
170 街かどデイハウス介護予防教室	いきいきセンター 高齢者支援課	街かどデイハウスを運営する住民参加型非営利団体等に委託し、介護予防体操、健口体操をはじめとした介護予防のプログラムを実施します。	実施回数：32クール、384回 延参加人数：2,474人	各街かどデイハウスで工夫を凝らして介護予防教室を実施しています。	継続							●		VII-A	I-A II-A III-A VI-A
171 二次予防事業の対象者把握事業	いきいきセンター 高齢者支援課	基本チェックリストの配布・回収および他部局からの情報提供等により、要支援・要介護状態になるおそれの高い状態にあると認められる二次予防事業の対象者の把握を行います。	基本チェックリストの配布数 29,787人 返信数 25,666人	基本チェックリストの配布・回収により、二次予防事業の対象者の把握し、介護予防につなげています。	継続							●		VII-A	I-A II-A III-A VI-A
172 通所型介護予防事業	いきいきセンター 高齢者支援課	自立した生活の確立と自己実現の支援のため、二次予防事業の対象者に対して、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などのプログラムを実施します。	運動：13クール、延参加人数：1,688人 口腔：6クール、延参加人数：263人 脳力：7クール、延参加人数：858人	二次予防事業の対象者に対して、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などのプログラムを実施し、介護予防につながっています。	継続							●		VII-A	I-A II-A III-A VI-A
173 訪問型介護予防事業	いきいきセンター 高齢者支援課	二次予防事業対象者であり、特に閉じこもり、うつ、認知症の傾向がある等、心身の状況等により通所形態による事業への参加が困難な人へ、自宅を訪問して必要な相談・支援等を行います。	訪問型介護予防事業実施人数：0名	訪問型介護予防事業の利用はありませんでした。事業の継続について、検討が必要です。	継続							●		VII-A	I-A II-A III-A VI-A
174 介護予防地域教室事業	いきいきセンター 高齢者支援課	地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために、必要な援助を行い、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援します。	地域教室開催回数：63回	介護予防等に関する知識や情報を地域住民に普及・啓発することで、「予防のまちづくり」の構築につなげることができました。	継続							●		VII-A	
175 地域包括支援センター運営支援・管理業務	いきいきセンター 高齢者支援課	地域包括支援センターの運営に関与し、各センターの連絡調整や情報共有、必要な支援を行い「地域包括ケア体制」の構築を図ります。	「地域ネットワーク部会（高齢部会）」を通じた圏域におけるネットワークづくりや、「医療関係者とケアマネとの意見交換会（虹ねつと）」を通じた医療と介護の連携など、地域包括ケアシステムを構築します。	第5期介護保険事業計画に基づき、事業を展開しました。	継続							●		VII-A	III-A III-B

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
176 家族介護者教室	いきいきセンター 高齢者支援課	介護方法や介護予防などについて、 デイサービスセンター等で開催。	デイサービスセンター2カ所、参加者 18 人	家族介護者の負担軽減につながり、 高齢者の在宅生活を支えることが できました。	継続						●	●	VII-A		
177 認知症高齢者家族 交流会・教室	いきいきセンター 高齢者支援課	認知症高齢者等を介護している家族 介護者に対し、その介護疲れやスト レスを軽減することを目的に介護に 関する教室の開催や家族間の情報交 換等の交流会を開催し、家族介護者 の負担の軽減を図ります。	参加者数:304人	認知症高齢者を抱える家族介護 者の交流の場や、情報交換の場と しての役割を果たしました。	継続							●	●	VII-A	III-A III-B III-C
178 家族介護者交流事 業	いきいきセンター 高齢者支援課	家族介護者を一時的に介護から解 放するため、宿泊旅行などを通じ介 護者相互が交流しながら元気回復を 図ります。	参加者数:28人	要介護高齢者等を抱える家族介 護者に交流・情報交換の場を提供 し、家族介護者の心身のリフレッシュ を図ることに役立ちました。	継続							●	●	VII-A	
179 在宅高齢者虐待防 止事業	いきいきセンター 高齢者支援課	市が実施する高齢者虐待防止関連 事務において、社会福祉士及び弁護 士から情報提供、助言を受けます。	高齢者虐待個別ケース会議開催数:5 回	高齢者虐待の速やかな対応を行 いました。	継続							●		VII-A	
180 豊中市健康づくり計 画の推進	保健所 保健企画課	計画の周知及び計画に基づく取り 組みの推進・進行管理。豊中市健康 づくり計画推進会議の開催、講演会・ 出前講座等での計画の周知等を行 います。	計画の進捗管理を目的に、新たに年次 報告書を作成しました。また、市民健康 展・3歳6ヶ月児健診の場で、健康づく りに関する市民意識調査を実施しました。	保健所各課や庁内他部局等と連 携し、様々な面から健康づくりにつ いて啓発できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
181 階段トレーニング(「段 トレ」)	保健所 保健企画課	より多くの市民の方に「健康づくり」 に取り組んでいただけるよう、身近にあ る「階段」を活用した取り組みを行っ ています。生活関連の各分野とも連 携して、「健康づくり」の普及啓発をめ ざします。	・ポスター、チラシを作成。環境政策室 (当時)や市内飲食店とも連携しました。 ・広報とよなか、ケーブルテレビ(かたらい プラザ、撮影:大阪モノレール蛍池駅)、 各種イベント等で周知を行いました。 ・市民への普及の足掛かりとして、豊中 市の職員にも段トレを実施してもらい「職 員段トレ」を実施しています。(共同:職員 課)	市民意識調査によれば、「段トレ」 の認知度はあまり高いとは言えな かったため、周知方法を再検討しま す。職員段トレについては、平成 27年度の職員健診後、取組前・ 取組後の結果比較等を行い、効果 について評価を行う予定です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
182 二次救急医療対策 事業	保健所 保健企画課	豊能圏域(豊中市・吹田市・箕面市・ 池田市・豊能町・能勢町)における二 次救急医療体制の円滑な運営およ び整備を図ります。	救急告示病院 17 病院による病院群輪 番制事業を実施しました。また、救急告 示病院のうち小児科を標榜する 5 病院 による小児医療支援事業を実施しま した。	市民の健康保持に重要な役割で あり、今後も安定的な事業運営が 必要不可欠です。平成 26 年度中 には新規で 1 病院が病院群輪番 制事業に参加することとなり、体制 の一層の充実が図られました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
183 かがやき施設運営管理	保健所 保健企画課	リハビリテーションやレクリエーション、看護・介護を通じて、居宅における生活への復帰の支援を行います。また、自宅にお住まいの方の短期間の宿泊サービス、在宅でお住まいの方のための通いのリハビリテーションなどを実施することにより、利用者の身体機能の維持・回復を図ります。	通所 1日平均 25.3人／延べ 7,802人 長期 1日平均 87.3人／延べ 31,854人 短期 1日平均 4.6人／延べ 1,689人	利用者ニーズに応じたサービス提供を行うことに努めています。また、受入れ先がないケースの一時的な受入れなども行っており、市立施設としての役割を果たしています。	継続								●	VII-A			
184 豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス推進事業	保健所 保健企画課	急性脳卒中患者が発症(急性期)からリハビリ(回復期)在宅(維持期)にかけて一貫した途切れない医療を受けられる体制の推進。地域連携診療計画書や「脳卒中ノート」など情報共有のツールの普及、広くは患者自身による健康管理・再発の予防、また、発症予防を目的にワーキング会議と検討会議を実施しています。	豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス検討会とワーキング会議を開催しました。連携ツールである「脳卒中ノート」を改訂しました。また、介護保険事業者との連携促進のため、維持期施設一覧の冊子を作成しました。その他、早期発見・早期治療の啓発としてリーフレットを各医療機関に配布しました。	「脳卒中ノート」の改訂により、関係機関や患者の連携促進だけでなく、患者自身による自己管理の推進を図りました。冊子やリーフレットの配布により、脳卒中に関して広範囲の方々に周知できました。	継続								●	●	●	VII-A	
185 難病事業(個別援助)	保健所 保健予防課	難病患者等のQOLの向上のために、面接や訪問等で療養生活上の支援を行います。	保健師等の療養相談件数 3,861件。	保健師等の療養相談件数も増加しており、患者のニーズ把握と状況に応じた支援を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
186 難病事業(集団援助)	保健所 保健予防課	難病患者等が疾病の正しい知識をもち、よりよい療養生活を送るために、講演会の開催や交流会の支援を行います。	北ブロック保健所(池田・吹田・茨木・高槻市・豊中市)で協力し、患者及び家族向け講演会を5回開催。患者家族交流会の活動を支援し、必要時療養相談を実施しました。	難病患者及び家族が疾患の正しい知識を学び、情報交換を通してよりよい療養生活につながりました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	VII-F
187 難病事業(医療費助成)	保健所 保健予防課	指定難病の医療費助成事業の申請受付事務を行います。	指定難病医療費助成制度 新規申請数 414件 更新申請数 2,715件。	医療費助成を行うことにより、難病患者の健康保持を図りました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
188 健康カレッジ	保健所 地域保健課	7回シリーズ。講演・実技・グループワークの後に学びノートへ各自記入し、家族・近所・地域に情報発信します。	7回シリーズ。講演・実技・グループワークの後に学びノートへ各自記入し、家族・近所・地域に情報発信します。	7回(公開講座3回)シリーズの講演や実技を行い、受講者は45人、受講者数は258人、また、公開講座参加者は68人でした。・毎回、講座内容をまとめたカレッジ通信を作成し冊子として取りまとめ、ホームページでも公開しています。	継続								●	●	●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
189 健康手帳の交付	保健所 地域保健課	健康診査の受診者や健康相談等を受けた人に対し、健康手帳を配布します。	40歳以上の希望者 2,565人に配布	自身の健康管理の指標となり、健康づくりに寄与できました。	継続								●	●	●	VII-A	II-B

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
190 健康教育 (成人保健)	保健所 地域保健課	健康に関する講座など教育事業。出前講座・健康づくり推進員主催講座・老人会・地域のサロンなどに専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が出向き啓発を行います。職種により健康・運動・口腔・栄養などの内容で実施しています。	集団 286回 9,241人 個別 278回 349人	各専門職によって、地域に向けた健康に関する啓発、情報提供ができました。	継続							●	●	●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
191 健康相談 (成人保健)	保健所 地域保健課	健康に関する相談事業。電話や面接などで専門職(保健師・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が相談に応じます。	1,176回 2,661人	各専門職により、相談内容、対象者に合わせた相談対応ができました。	継続							●	●	●	VII-A	I-A II-A VI-A
192 訪問指導事業 (成人保健)	保健所 地域保健課	健康に関する訪問指導事業。専門職(保健師・作業療法士・歯科衛生士)による生活習慣病予防や介護予防などの指導を行います。	寝たきり、閉じこもり、生活習慣病の要指導者等に訪問指導を実施。延べ293件 実人数52人	訪問件数の増加。各専門職が前年度にくらべ、より多く地域(家庭)に出向き、対象者に合わせた支援ができました。	継続							●	●	●	VII-A	I-A II-A VI-A VII-B
193 公害健康被害保 健福祉事業	保健所 地域保健課	被認定患者に係る知識普及、保健指導等を行います。	インフルエンザ予防接種費用助成52件 118,588円 家庭療養指導 182件(うち不在57件)	被認定者に対して公害健康被害に係る指定疾患に関する知識普及、療養上の保健指導や支援を行うことができました。	継続							●	●	●	VII-A	
194 公害健康被害補 償業務	保健所 地域保健課	公害被認定患者に係る認定の更新及び等級の見直しや、医療費についての診療報酬明細書の審査、また補償給付費の支給事務を行います。	認定審査会12回 更新審査63件 等級見直し審査143件 診療報酬審査会12回 審査レセプト2,645件	認定審査会・診療報酬審査委員会を滞りなく行うことにより、患者に対して適切に補償業務を行うことができました。	継続							●	●	●	VII-A	
195 地域保健医療等 申請受付進達業 務	保健所 地域保健課	肝炎医療費助成、石綿健康被害救済給付、被爆者援護事業に係る申請受付進達業務を行います。	肝炎医療費助成 345件 石綿健康被害救済給付 2件 被爆者健康診断受診者 対象者320人中、第1回(5月)88人、第2回(10月)78人	被認定者に対して医療費助成や給付、健康診断を実施することで、健康保持を図ることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
196 保健事業 (健康家庭表彰 費)	保険窓口センター 保険給付課	3年間医療機関への受診がなく国民健康保険料を完納された世帯に対し健康をお祝いするため記念品を贈呈します。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。	表彰世帯:214世帯	国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援しました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
197 老人医療費助成 事業	保険窓口センター 保険給付課	老人に対し医療費の一部を助成します。老人の健康の保持及び福祉の増進を図る事業。	件数:155,009件 助成額:526,317,322円	一部負担金相当額等一部助成事業により、特定疾病等、一定の条件を満たす老人について、一部負担金相当額を助成することで医療の受信を容易にし、その健康の保持と福祉の増進に寄与していると考えられます。	継続									●	VII-A	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
198 訪問看護基本利用料助成事業	保険窓口センター 保険給付課	身体障害者及び知的障害者で居宅において療養が必要な対象者に対して、指定訪問看護を受けた場合に負担すべき基本利用料の一部を助成します。在宅医療の推進と福祉の増進を図る事業。	日数：3,558日 助成額：7,534,426円	重度障害者(児)に対し基本利用料の助成を行うことにより、訪問看護の利用が促進され在宅療養の推進と福祉の向上に寄与していると考えられます。	継続		●	●	●	●	●		VII-A	
199 障害者医療費助成事業	保険窓口センター 保険給付課	身体障害者及び知的障害者に対し医療費の一部を助成します。身体障害者及び知的障害者の健康の保持及び福祉の増進を図る事業。	件数：61,538件 助成額：381,509,807円	身体障害者および知的障害者が必要とする医療を経済的に保障することにより、その健康の保持及び福祉の向上に寄与していると考えられます。	継続		●	●	●	●	●		VII-A	
200 アスベスト対策事業	土地利用調整センター 建築審査課	吹付けアスベストが施工されているおそれのある建築物において行うアスベスト含有の有無に係る調査の費用及び多数の者が利用する建築物(多数の者が共同で利用する部分(当該建築物に付属する電気室、機械室等を含む。))に限る。)に露出して施工されている吹付けアスベスト除去工事の費用に対して一部を補助します。	吹付けアスベスト含有調査補助 2件(補助額 464,000円) 吹付けアスベスト除去工事補助 1件(補助額 1,000,000円)	安心・安全なまちづくりに寄与していると考えられますが、結果を踏まえ、補助制度のあり方について検討を行います。	継続	●	●	●	●	●	●		VII-A	
201 学校施設安全衛生委員会	教育推進室	学校施設安全衛生委員会の開催・産業医による面談・職場巡視等の実施により、教職員の健康管理の充実及び職場環境の整備を図ります。	学校施設安全衛生委員会の開催・産業医による面談・職場巡視等を実施しました。また、産業カウンセラー・トレーナーによる健康相談活動、メンタルヘルスケア研修会、ヒヤリハット調査を実施しました。	各種の健康相談活動についてよりPRすることで対応件数が増えました。また学校施設安全衛生委員会、職場巡視の回数を前年度より増やしました。これらにより教職員の健康の保持増進及び学校施設の安全衛生の推進につながりました。	継続				●	●	●		VII-A	
202 公民館事業	中央公民館	公民館が実施する文化祭・体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取組み内容の発信など、分館活動全般への支援を行います。	41 公民館において体育祭・文化祭・講座等の事業を実施しました。	体育祭や健康に関する分館講座等の事業においては、親・子・孫の世代間交流と地域づくりが図られるとともに、あらゆる世代の方が健康の維持増進を考える機会となりました。	継続	●	●	●	●	●	●		VII-A	
203 公民館登録グループ支援	中央公民館	公民館登録グループに対して活動場所の確保や、公民館まつり、グループ体験講習会など活動成果の発表の場を提供するとともに、教養の向上、生きがいを支援します。	4 公民館で、「太極拳体験講習会」等のグループ体験講習会を 89 講座 123 回実施し 941 人が参加しました。	健康体操、ヨガ、太極拳、ダンベル体操、フラ、社交ダンス等健康に関するグループ体験講習会においては、「学びの循環」が図られるとともに、参加者が当該登録グループに入会することにより、継続的に健康づくりに取り組む市民が増えました。	継続			●	●	●	●	●	VII-A	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
204 課題別講座	中央公民館	環境学習事業、食育推進事業、健康づくり推進事業、人権啓発関係事業、フリースペース活用事業などを開催します。	4 公民館で、「幸せな長寿の秘訣沖縄料理に学ぶ」等の食育推進事業を 14 講座 14 回実施し、306 人が、「認知症サポーター養成講座」等の健康づくり推進事業を 15 講座 21 回実施し 421 人が参加しました。	豊中市沖繩市兄弟都市提携40周年ということもあり、沖縄市関連の事業なども行いました。また、予防という観点での講座にも取り組んでいます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A		
205 図書館活動・すべての人への資料提供事業	読書振興課	暮らしの課題解決支援サービスの一つとして、岡町図書館に医療・健康情報コーナーを設置し、市民の身近な施設、図書館において、健康に関する情報提供を行っています。また医療や健康に関する講座、健康レクチャーを関係各課と連携し実施するとともに、関連の講座で資料の貸出やバスファインダーによる情報等を提供しています。	健康カレッジ(地域保健課主催事業)及び豊中市保健所主催講座等への資料提供(すこやかプラザ7回、豊中市保健所5回、岡町図書館1回) 医療健康情報レクチャー3回(岡町2回・野畑1回) *市立豊中病院と共催医療情報コーナーの充実(岡町図書館)	健康カレッジほか新たに豊中市保健所主催講座への関連図書の展示や貸出、岡町以外でレクチャーを実施することができました。また資料購入し、蔵書の充実を図りました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A		
206 市民健康診査	保健所 地域保健課	市民への健康診査を実施。(内容)身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・医師診察	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。健診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団健診を実施しました。 H26年度受診者数:2,776人	生活習慣病を早期に発見、また生活改善が必要な人の相談に応じることで、生涯を通して健康づくりに貢献することができました。	継続							●	●	●	VII-B	
207 がん検診	保健所 地域保健課	市民への各種がん検診を実施。(内容)大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん	豊中市医師会と委託契約を締結し、医療機関での個別検診を実施しました。検診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団検診を実施しました。 H26年度受診者数::28,186人(大腸がん)、5,823人(胃がん)・4,927(肺がん)・7,922人(乳がん)・15,262人(子宮がん)・8,218人(前立腺がん)	がんの早期発見を目的に、健康の保持・増進を図ることができました。	継続				●	●	●	●			VII-B	
208 骨粗しょう症検査	保健所 地域保健課	市民(女性)への骨密度測定を実施します。	検査業者と委託契約を締結し、集団骨密度測定を実施しました。 H26年度受診者数:1,032人	骨粗しょう症予防のための骨密度測定を受診・指導を受けることで、生活習慣の改善につながりました。	継続				●	●	●	●			VII-B	
209 特定健康診査・特定保健指導	保健所 地域保健課	市の国民健康保険加入者対象の健康診査および保健指導。健診の内容は市民健診と同様。集団健診時には、看護師が「高血圧」(高血圧者)、「たばこ」(喫煙者)、「アルコール」(飲酒ありの人)にチラシを配布しています。保健指導では、「内臓脂肪測定会」「無理しないカラダづくり講座」や、保健師との個別での面接などを実施しています。	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。健診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団健診を実施しました。 H26年度健診受診者:20,722人 H26年度特定保健指導 計482人 動機づけ支援418人、積極的支援64人	生活習慣病を早期に発見、またメタボ該当者(ハイリスク者を含む)に指導を行うことで、生涯を通して健康づくりに貢献することができました。	継続								●	●	VII-B	I-A II-A IV-A V-A VII-A

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
210 保健事業 (疾病予防費)	保険窓口センター 保険給付課	人間ドック・脳ドックの費用の7割を助成します。また、市民健康展において骨粗しょう症予防のための骨密度測定及び保健師による生活指導を行います。国民健康保険被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。(人間ドック事業については壮年期以降が対象)	人間ドック:1,620件 脳ドック:181件 セット:1,324件	受診により重大な疾病の早期発見につながり、健康の保持・増進に寄与していると考えられます。	継続					●	●	●	●	VII-B	
211 幼稚園幼児健康管理	保育幼稚園室	園児の健康増進、園の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	健康調査・健康検査など進めてきました。	園児の健康増進、園の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	継続		●				●	●	●	VII-B	VI-B
212 小中学校教職員健康管理	教育推進室	小学校および中学校教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施をめざすため、定期健康診断の実施、がん検診等を実施します。	府費負担教職員定期健康診断、がん検診の実施と、それぞれの結果送付及び受診勧告を行いました。	検診未受診者に対する受診勧奨を強化し、要精検者には2回文書で勧奨することで、受診につなげることができました。	継続						●	●	●	VII-B	
213 妊婦健康診査	保健所 保健予防課	妊婦の健康管理として母子健康手帳の交付時などに受診券を発行し、かかりつけ医にて個別健診を行います。	妊婦健診受診数 3,659件 受診率 96.6% 他市や市の財政状況をふまえ、助成額を増額。	経済的負担の軽減と積極的な受診を促し、すべての妊婦が安心して受診できるようにしています。	継続	●								VII-C	VIII-A VIII-B
214 母子健康手帳の交付	保健所 保健予防課	母子健康手帳の交付の機会を通じ、すべての妊産婦等と面接をすることにより個々の妊婦が持つ不安や悩み、喫煙や飲酒などを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介等の援助を行ないます。(妊婦相談、父親向け小冊子やマタニティーバッチ交付)	妊娠届出数 3,788件。 すべての妊婦に専門職が面接を行い、個々の状況に応じた援助を実施。母子健康手帳の活用を促すためのチラシを作成し配布。	専門職が面接を行うことで支援の必要な妊婦に対して早期から関わりを始めることができています。母子健康手帳の活用方法についてのチラシを配布することで、来所が難しい妊婦にも周知することができました。	継続	●								VII-C	IV-A V-A VIII-A VIII-B
215 助産制度	こども政策室	生活保護受給等の経済的な理由で入院出産ができない人を対象に、指定する病院で出産できるものです。	随時受付入所者数 31名	相談及び受付を滞りなく行いました。	継続	●								VII-C	
216 青少年学習活動推進事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	青少年の文化芸術活動やスポーツ活動、その他さまざまな体験活動などの学習活動を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図っています。	事業実施回数 438回 参加延人数 12,567人 野外体験活動やスポーツ活動等を実施しました。	事業を通して差別を考える仲間づくりを軸とした青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続						●			VII-D	II-B III-A
217 青少年学習活動推進事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	人権の仲間づくりを基盤とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人とつながることの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	文化活動教室 実施回数 31回 延参加人数 365人 スポーツ活動教室 実施回数 100回 延参加人数 1,388人 体験活動教室 実施回数 33回 延参加人数 550人	継続的な活動を通して、子どもたちそれぞれの生きる力や人を大切にできる心が育まれています。日常的に児童館を利用する子どもたちについては、各種教室やキャンプを通して成長した姿が、日常生活でも見られます。また、市域の子どもたちの参加により、より多くの子どもたちが関わる機会となっています。	継続						●			VII-D	II-B III-A

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
218 子育て支援事業	人権政策室 蛍池人権まちづ くりセンター	保護者同士がともに子育てを考えていく関係づくりや自主的に子育てを考える関係づくりをすすめるため、人権に視点を置いた子育て支援を行い、地域における子育てネットワークづくりと心地よい子育て環境づくりを推進しています。	事業実施回数 754 回 参加延人数 17,240 人 子育て交流広場、健康づくり学習会等を実施しました。	人権の視点から、子育てを支援するとともに、人権教育の推進に貢献しました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-D		
219 子育て支援事業	人権政策室 豊中人権まちづ くりセンター	子どもたちが、安全・安心な居場所として児童館を利用する中で、子どもの人権を大切にしたい子育てを考える学習会や、就学前の子どもと保護者を対象にした取り組みなどを通して、子どもたちの育ちを見守るネットワークづくりを支援しています。	轟レインボークラブ入会説明会 実施回数 5 回 延参加人数 77 人 親子交流会 実施回数 12 回 延参加人数 194 人 あそびの広場 実施回数 48 回 延参加人数 816 人 施設利用・遊具貸し出し 実施回数 289 回 延参加人数 28,716 人	子どもすこやか広場においては子ども自身が選択をして居場所を作っており、生活習慣の一部としている子どもも多く見られます。生活課題や生きにくさを感じている子どもには、学校、保護者、各専門機関とも必要に応じて連携しながら継続した問題解決への支援・見守りを行っています。また児童館の取り組みへの保護者の口こみも多く、就学前の親子の利用や参加があり、センター保育所年長組への説明会も行っています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-D		
220 豊能広域こども急病センター負担金	保健所 保健企画課	豊能圏域(豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町)における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行います。	豊能圏域における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行いました。	小児一次救急の拠点として休日夜間に大きな役割を果たしています。また、センターの運営については経費のコストダウンに努めており、効率的で効果的な経営が行われています。	継続		●	●					VII-D		
221 妊婦教室「フレンドリーコース」	保健所 保健予防課	拠点の保健センターにて1コース 2 回実施。育児のイメージ作りや先輩ママとの交流などを目的に保健師・助産師が従事しています。	25 年度に廃止		廃止										
222 両親教室	保健所 保健予防課	初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行っています。隔月に 1 回(土曜日の午前・午後)実施しています。(大阪府助産師会に委託、男女共同参画推進センターと共催で実施)	12 回開催 参加者数延 1,101 人(553 組)	初妊婦とそのパートナーを対象に妊娠・育児の基礎知識を普及する場になっています。	継続	●							VII-D	VIII-A VIII-B	
223 障害児等支援事業	保健所 保健予防課	身体障害や小児慢性特定疾患などの長期療養児とその家族に対してピアサポートの場の提供や情報提供を行います。	15 回開催 参加者数延 130 人	障がい受容の促しやピアサポート、情報共有の場として事業を実施しました。今後も対象のニーズに合わせて内容を見直していきます。	継続		●						VII-D		

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
224 乳幼児健康診査	保健所 保健予防課	乳幼児の疾病や障害の予防や早期発見・治療につなげるなど乳幼児の健康の保持増進とその家族の不安解消や必要な支援につなげるため、乳幼児に対して健診を行います。また、職員のスキルアップを図るため従事者研修も開催します。	【集団健診】 4か月児健診受診率 97.1% 1歳6か月児健診受診率 94.6% 3歳6か月児健診受診率 91.5% 【個別健診】 乳児一般健診受診率 80.6% 乳児後期健診受診率 86.4%	健診未受診者対策により、集団健診の受診率は向上してきています。個別面接により不安や疑問の解消を行うとともに、その場で解消できない問題に対しては継続して保健指導・育児支援を行うことで、乳幼児の健康保持増進に努めています。	継続		●							VII-D	I-A VI-A VIII-A VIII-B
225 二次健診	保健所 保健予防課	疾病や障害の早期発見・治療へつなげるとともに、乳幼児の健全育成をめざすため、医師や心理相談員による二次健診を行います。(にこりちゃん歯科健診、医師クリニックなど)また、乳幼児健診や二次健診の結果、精密検査が必要な乳幼児に受診票を発行し、医療機関の受診を促します。(乳幼児精密健康診査など)	にこりちゃん歯科健診受診率 49.1% 医師クリニック受診率 86.0% 療育クリニック受診率 93.8% 心理相談受診率 92.8% 紹介状発行数 延 185 件	乳幼児健康診査および保健師活動から二次健診につなげることで、疾病や障害の早期発見・治療につながっています。精密健康診査受診票を紹介状に変更したことで、保護者と児にとって受診しやすい医療機関の選択の幅が広がり、サービス向上につながりました。	継続		●	●						VII-D	VI-A
226 相談 (母子保健)	保健所 保健予防課	妊産婦・乳幼児の保護者等の電話や来所による相談に対して、保健師・栄養士・歯科衛生士・助産師等が応じます。また、健診後に育児状況などの確認が必要と思われる対象者に対し、保健師等が電話による保健指導を行います。身体障害や小児慢性特定疾病・高度医療などの児、養育医療申請者を含む未熟児等とその家族の電話や来所による相談に保健師が応じます。	妊産婦・乳幼児の保護者等の電話や来所による相談 延 10,364 件 育児相談 173 回 延 1,182 件 未熟児や身体障害、小児慢性特定疾患、高度医療児等とその家族を対象とした育児・療育に対する相談も合わせて実施。 転入者への相談窓口の周知を強化するため、転入窓口で案内チラシを配布。	相談件数は増加傾向にあり、相談ニーズが増えています。必要な時にすぐに相談できるよう、相談窓口の周知を継続して実施します。	継続	●	●	●						VII-D	I-A VI-A
227 訪問指導事業 (母子保健)	保健所 保健予防課	安心して妊娠出産を迎え育児をスタートするために妊産婦や新生児に訪問を行い、家庭の状況に合わせた必要な保健指導を行います。(妊産婦新生児低出生体重児訪問指導等) 未熟児や身体障害児・小児慢性特定疾病や高度医療児等とその家族に対して訪問を行い、家庭の状況と障害の状況に合わせた必要な保健指導を行います。	妊産婦・新生児・低出生体重児訪問指導 実 2,320 件 延 2,711 件 乳幼児等訪問指導 実 1,623 件 延 2,021 件	保健師・助産師等の専門職による家庭訪問により、安心して妊娠出産・子育てを行えるよう支援しています。豊中市版特定妊婦、要支援児童のリスクアセスメントシートの活用により、虐待の早期発見・予防、支援ができるようになりました。	継続	●	●	●						VII-D	VII-C VIII-A VIII-B

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
228 アレルギー講演会 専門相談	保健所 保健予防課	15歳未満でぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状があり適切な治療を受けていない人に対して医師・保健師・栄養士が相談に応じ、正しい情報提供を行います。(アレルギー講演会・アレルギー専門相談) 乳幼児健康診査時に、アトピー性皮膚炎・ぜん息等の家族歴、有症状児に保健指導を行います。(アレルギー素因スクリーニング)	アレルギー講演会 5回 178人 アレルギー専門相談 12回 79人参加。 仕事をしている保護者が参加しやすいよう、アレルギー講演会を土曜日にも開催しました。	アレルギー講演会を土曜日に開催したことで、乳幼児に加え学童期の保護者や関係者の参加が増えました。	継続	●	●	●						VII-D	VII-B	
229 母子医療費助成事業	保健所 保健予防課	国庫補助(負担)事業である小児慢性特定疾病医療費助成制度(H26年12月31日までは小児慢性特定疾患治療研究事業)、未熟児養育医療給付事業、結核児童療育給付事業、不妊に悩む方への特定治療支援事業を実施しています。	小児慢性特定疾患治療研究事業申請者数:265人 小児慢性特定疾病医療費助成制度申請者数:433人 未熟児養育医療給付事業申請者数:72人 結核児童療育給付事業申請者数:0人 不妊に悩む方への特定治療支援事業申請者数:569人	母子医療費助成事業を実施することにより、市民負担の軽減を図り、安心してすこやかな生活のできるまちづくりに寄与しました。	継続	●	●	●	●	●				VII-D		
230 子ども医療費助成事業	保険窓口センター 保険給付課	子どもに対し医療費の一部を助成します。安心して医療を受けることができる環境を整えることにより次世代を担う子どもたちの保健の向上と健やかな成長を支援する事業です。	(医療)件数:456,845件助成額:699,643,487円 (食事)件数:2,731件助成額:9,041,400円	子どもの医療費の一部を助成することにより、乳幼児が必要とする医療を経済的に保障し、その健康の保持及び福祉の向上に寄与していると考えられます。	継続		●	●						VII-D		
231 ひとり親家庭等医療費助成事業	保険窓口センター 保険給付課	ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成します。ひとり親家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を支援する事業です。	件数:80,274件 助成額:199,389,998円	医療保険の自己負担額の一部を負担することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図り、もって福祉の増進に寄与していると考えられます。	継続		●	●	●	●	●			VII-D		
232 冷房設備設置事業	保育幼稚園室	保育環境を整備し、保育内容を充実を図るため、冷房設備未設置園に冷房設備を設置します。	25年度で完了		完了											
233 幼稚園施設運営	保育幼稚園室	市立幼稚園の保育業務が円滑に進むよう活動を支援します。	25年度で完了		完了											
234 幼稚園子育て支援事業	保育幼稚園室	子育てに役立つ講座を開催したり、相談を行ったり、体験入園を行ったりし幼児の健やかな成長を助け、保護者の子育ての支援を行っています。食育講座等も行っています。	リミックや、親子ふれあい遊び、体操や食育等の講座を行いました。	子育てに役立つ講座を開催したり、相談を行ったり、体験入園を行ったりし幼児の健やかな成長を助け、保護者の子育ての支援を行っています。食育講座等も行っています。	継続	●	●	●	●	●	●			VII-D	I-C II-C VIII-C	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
235 放課後こどもクラブ 運営	保育幼稚園室	放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の、本市に居住する、または本市の市立小学校1年生～4年生(支援学級在籍児童及び本市に居住する支援学校在籍児童は6年生)までの児童に、遊びや学習などを通じて、自主的かつ自発的な生活態度や習慣を養うために必要な保護及び指導を行い、児童の健全育成を図ります。	平成26年5月1日の在籍数 2,975人 市内41小学校すべてで実施	放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の本市に居住する、または本市の市立小学校1年生～4年生(支援学級在籍児童及び本市に居住する支援学校在籍児童は6年生)までの児童に、遊びや学習などを通じて、自主的かつ自発的な生活態度や習慣を養うために必要な保護及び指導を行い、児童の健全育成を図ります。	継続			●						VII-D	
236 保育 (医療型児童発達支援センター)	保育幼稚園室	体に障害のあるこどもたちが地域や社会でのびのびと生活できるように支援しています。	親子通園で年齢に配慮したクラス編成を行い様々に工夫した遊びを提供し、保護者や友達など、人との関わりを大切に保育しました。	クラスの子どもの出席が揃わず、お友達関係を作ることが難しい状況でしたが、親子の関係を基本に保育士からお友達へと関係が広がりました。	継続		●							VII-D	
237 診察・看護・訓練 (医療型児童発達支援センター)	保育幼稚園室	園児、外来児(者)の健康管理。体に障害のあるこどもの訓練。	体に障害を持つ子どもたちに対して、医師の指示のもとに理学療法、作業療法、言語療法等の訓練を実施しました。通園の時間帯以外に外来障害児(者)の訓練をしました。	機能訓練を実施することで身体能力を上げ、日常生活をしやすくなりました。	継続		●							VII-D	
238 私立幼稚園振興助成金	保育幼稚園室	1. 私立幼稚園振興財団の実施する幼児教育の向上のための事業補助を行います。①特色ある幼稚園教育 ②尿・ぎょう虫検査 ③教職員研修 ④園児診察料 ⑤連合会事業 2. 各私立幼稚園が実施する幼児教育の充実および子育て支援のための事業補助を行います。「地域に開かれた幼稚園づくり事業」 3. 各私立幼稚園で障害のある幼児を受け入れのためにかかる費用の補助を行います。「障害児保育助成金」	豊中市内の私立幼稚園33園に対し、補助を実施しました。	1. 私立幼稚園振興財団の実施する幼児教育の向上のための事業補助を行います。①特色ある幼稚園教育 ②尿・ぎょう虫検査 ③教職員研修 ④園児診察料 ⑤連合会事業 2. 各私立幼稚園が実施する幼児教育の充実および子育て支援のための事業補助を行います。「地域に開かれた幼稚園づくり事業」 3. 各私立幼稚園で障害のある幼児を受け入れのためにかかる費用の補助を行います。「障害児保育助成金」	継続		●							VII-D	
239 小学校医療費援助	教育総務室	学校保健安全法第24条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行います。	4,041枚の医療券が使用されました。	援助を要する児童の健康促進に努めました。	継続			●						VII-D	
240 中学校医療費援助	教育総務室	学校保健安全法第24条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行います。	1,097枚の医療券が使用されました。	援助を要する生徒の健康促進に努めました。	継続			●						VII-D	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
241 図書活動	教育センター	児童生徒の自発活動を奨励し、個性の伸長をはかるとともに自主的に創造性に充ちた情操豊かな児童生徒を育成し、少年文化の向上をめざします。	図書ラウンジ活動を年間 280 回行い楽しいつどいを 86 回、おはなしと折り紙を楽しむ会を 3 回開催し、図書活動の述べ利用人数は 11,033 人でした。	読書や制作を通じて、児童生徒の豊かな情操の育成に寄与することができました。	継続		●	●						VII-D	
242 子どもの居場所づくり (提案公募型委託事業)	教育センター	地域で子どもたちが遊び、憩い、学び、つながる場が必要とされています。このことから、地域とともに気づき、学べる場として、日曜日や長期休業中の地域における子どもたちの居場所づくりを行い、「子ども文化」をキーワードに未来に生きる子どもたちを健やかで心豊かに育ていく場を創出・提供していきます。親子クッキング、お菓子作りの講座も実施。	休館日を除く毎週日曜日等に事前申し込み不要の図書ラウンジや卓球台開放、読み聞かせ等を行いました。また、親子クッキング、お菓子作りの講座を開催しました。	地域の子どもたちが過ごす居場所になるとともに、子どもたちを健やかで心豊かに育ていく場を創出・提供することができました。	継続		●	●						VII-D	I-C
243 就学時健康診断	教育推進室	就学予定者の心身の状況を把握し、入学後の学校生活の円滑な実施に資するため、就学時の健康診断を実施します。	10月下旬から12月中旬まで7会場で計16回実施した。未受診者には市立豊中病院で未受診者検診を実施しました。	聴力・視力、歯科・耳鼻科・内科・眼科の健康診断で健康状態の確認や、入学に向けての相談を行いました。受診率は96.7%と高率でした。	継続		●							VII-D	
244 児童生徒の健康管理	教育推進室	児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、毎学年定期的に健康診断を実施します。	①児童の定期検診(内科・歯科・眼科・耳鼻科)・尿検査・心臓検診・結核検診・ぎょう虫検査を実施しました。 ②生徒の定期検診(内科・歯科・眼科・耳鼻科)・尿検査・心臓検診・結核検診を実施しました。	心臓検診では1校につき2~3回巡回し未受診者を減らすことにつながりました。尿検査においては3回実施の機会をつくることで受診率の向上が図れました。	継続			●						VII-D	
245 学校災害給付(豊中市学校災害見舞金)	教育推進室	学校管理下におけるけが等に対して、豊中市学校災害見舞金の給付を行うことで、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	学校管理下における医療総額点数が500点未満のけが事案及び障害見舞金にかかる申請に対して、豊中市学校災害見舞金の給付を行いました。	災害見舞金の給付により、保護者の負担軽減やトラブル回避にもなり、保護者の安心の一助となりました。	継続			●						VII-D	
246 学校災害給付(給付金)	教育推進室	学校管理下におけるけが等に対して、(独法)日本スポーツ振興センターへの治療費等の給付手続きを行い、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	学校管理下における医療総額点数が500点以上のけが事案にかかる医療費支払請求を受け、独立行政法人日本スポーツ振興センターへの治療費等の給付手続きを行い、センターより支払われた医療費を保護者の口座に振り込むことにより給付を行いました。	給付金の支給により、保護者の負担軽減やトラブル回避にもなり、保護者の安心の一助となりました。	継続			●						VII-D	
247 学校配当	教育推進室	小学校および中学校の保健室で使用する医薬材料やプール薬品の配当を行い、学校の保健環境の向上を図ります。	医薬材料品については学校からの購入希望を受け、配当予算枠内で執行しました。プール薬品については、年度当初に一括して購入希望数量調査を行い、市による契約・入札によって購入し、学校に配付しました。	保健室・プールをはじめ、学校の保健・体育環境の向上が図れ、児童生徒の健康の保持増進につながりました。	継続			●						VII-D	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
248 三世代交流事業	青少年育成課	シニア世代と子どもたち及びその保護者を含めた三世代が、自然の中で遊びながら自然について学び合います。	・日帰り事業の実施(4回)	子ども世代、親世代、シニア世代が自然の中で交流しながら、思いやりや共感など豊かな感性を培い、青少年の健全育成を行うことができました。	継続			●					VII-D	
249 野外活動事業	青少年育成課	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。キャンプスクール、ジュニアサマーキャンプなどを行います。	ジュニアサマーキャンプ 3泊4日 小学校5・6年生 22人 キャンプスクール 2泊3日 小学校3・4年生 39人 青少年カーニバル1日 市民 72人 ユースチャレンジキャンプ 4泊5日 15歳以上の若者 9人 ワンデイサイエンスキャンプ 1日 小学校3・4・5年生 58人	青少年が、豊かな自然環境の中で、集団活動による衣食住の体験を通して自己の健康づくりの大切さ、仲間づくりの大切さを実感してくれました。	継続			●	●				VII-D	
250 青少年自然の家施設運営管理	青少年育成課	民間のノウハウを活用した運営及び青少年健全育成に資する事業を実施します。	小・中学校や家族を対称に、自然の中で野外活動事業(野外料理等)・里山事業(植林等)等を実施しました。 (利用団体数 280、主催事業数 13)	自然の家の利用者は、増加傾向にあります。参加者は、リピーターが多く継続した関わりができることにより、知識等の向上が図ることができました。	継続		●	●	●				VII-D	
251 青年の家いぶき主催事業	青少年育成課	青少年に学習機会を提供します。プラネタリウムドームを活用し若者に活動の場を提供します。	夏休みの自習室開放や高校生以上のバンド活動や練習成果の発表の機会等を提供しました。延べ参加者 4,465人	バンド活動に参加するメンバーが自分たちで、ライブの企画運営を行うことで、さまざまな課題を解決していくことから学ぶ機会を提供できました。	継続			●	●				VII-D	
252 次世代育成講座	中央公民館	子育て・子育て親育ち事業や世代間交流事業など次世代育成に係る講座や講演会を実施します。	「親子ふれあい体操」等の子育て・子育て親育ち事業を4公民館で53講座121実施し、3,218人が参加しました。	父親が参加しやすい講座日時の設定や、関係部局と連携した講座等の取り組みも行ってあります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-D	
253 子どもをとりまく読書環境整備の取り組み	読書振興課	図書館職員による読み聞かせと保健師によるお話や育児相談を行う「すくすくあかちゃんタイム」や図書館職員による読み聞かせと歯科衛生士による子どもの歯の健康に関するお話を行う「食育コラボ～みんなでは・は・は」など、子どもの体や健康に関する事業を実施。「みんなでは・は・は」は成人向けにも実施し、歯科衛生士による口腔機能の講座と、図書館職員による関連本の紹介・展示を行っています。	「すくすくあかちゃんタイム」は8館で実施。「食育コラボ～みんなでは・は・は」は乳幼児向けを6館・成人向けを2館で実施。	「すくすくあかちゃんタイム」、「食育コラボ～みんなでは・は・は」とともに健康に関する講座だけでなく、個別に質問・相談できるとアンケートで好評でした。	継続		●			●	●	●	VII-D	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
254	ブックスタート事業 「えほんはじめまし て」	読書振興課	4か月児健診において対象者一人一人に言葉かけをして絵本を手渡し、家庭ですぐに絵本を開いて保護者と赤ちゃんが楽しみながらゆったりとしたコミュニケーションの時間を持てるきっかけとしています。また乳幼児と気軽に利用してもらえる施設として、近隣の図書館や子ども文庫などを案内。ボランティア、図書館、保健予防課の三者が連携することで、地域で子育てを支援していることを伝える機会ともなっています。	3会場で48回実施。未受診者へは保健師の家庭訪問や絵本の引換券を通じて対応し、合計3,622人に実施。ボランティアを含めスタッフ間の研修や情報共有のためのスタッフミーティングは年3回実施し、事業に対する共通の理解を深める機会となりました。また「豊中市子ども読書活動推進計画 第2期実施計画評価報告書」作成の一環として、1歳6か月児健診・3歳6か月児健診において保護者に対する聞き取り調査を実施しました。	継続		●						VII-D		
255	ボランティアセンタ ー事業	豊中市社会福 祉協議会	(市補助事業) 1歳6か月児健康診査時の対象児兄弟姉妹への対応のためのボランティア活動の調整やボランティア体験プログラム等の継続により、ボランティア育成にも努めています。	ニーズ受付件数…303件 ボランティア体験プログラム…137名 延べ201名	様々なニーズに応えることだけでなく、ボランティア入門講座や体験プログラムを行うことでボランティアへの理解、育成しています。市民がボランティア活動に参加することで、自身の健康増進につながっています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-D	VII-F
256	感染症予防事業	保健所 保健予防課	【普及啓発】 HIVなどの性感染症やその他の感染症などについて、予防や治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 【検査・相談】 エイズなどの予防・啓発・症状・感染・治療・療養生活について、医師・保健師が相談に応じ、検査を実施しています。 【発生時対応】 感染症発生時、患者や接触者の状況を把握し、感染拡大を防ぐための対応を行います。	HIV/AIDS 啓発事業・健康教育:9回、4,397人参加 感染症啓発事業・健康教育:12回、179人 参加電話相談:215人 HIV 抗原抗体検査(毎週火曜日実施):219件 HIV 即日抗体検査:年2回実施 風しん抗体検査(月2回実施):485件	HIV/AIDSについては、検査の勧奨を年間通して行いました。成人の日には、母子保健グループとともにコンドームの配布を行いました。ノロウイルス感染症などの相談対応では、施設などへの訪問を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	VII-E		
257	結核予防事業	保健所 保健予防課	(普及啓発)結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 (患者支援)結核患者等に医療費公費負担の申請、療養相談、日常生活について医師や保健師などが相談に応じます。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めます。	啓発事業:6回453人参加 家族・接触者健診:家族109人 患者接触者351人 患者療養支援:電話相談2,053件	結核患者は高齢者が多いため、高齢者に接する関係者に対して結核についての啓発を行いました。また、診断が遅れて感染拡大しないよう医療機関向けにもチラシでの啓発を行いました。また、肺がん検診の受診勧奨をすることが、結核の早期発見につながることも啓発しました。	継続	●	●	●	●	●	●	VII-E		

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
258 思春期教育	保健所 保健予防課	小中学生等を対象に、性感染症や予期せぬ妊娠などをテーマにお話します。	中学校 6校で実施 延 942人	地区活動として地域や学校の特性に応じて内容を検討し実施していきます。	継続			●					VII-E	
259 急性灰白髄炎(ポリオ)予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 1回目 86人・2回目 278人・3回目 339人・追加 1,948人 合計 2,651人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
260 日本脳炎予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 1回目 4,395人・2回目 4,138人・3回目 3,717人・第Ⅱ期 2,161人 合計 14,411人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●	●					VII-E	
261 インフルエンザ予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 46,634人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続						●		VII-E	
262 ジフテリア・破傷風予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 2,046人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続			●					VII-E	
263 ジフテリア・百日せき・破傷風予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 1回目 5人・2回目 24人・3回目 55人・追加 815人 合計 899人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●	●					VII-E	
264 麻しん及び風しん予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 第1期 3,694人 第2期 3,533人 第3期 2人 合計 7,229人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
265 結核(BCG)予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 3,730人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
266 予防接種関連事業	保健所 地域保健課	予防接種事業を円滑に遂行するため啓発活動などを行います。	市広報誌、ホームページ、案内チラシなどで啓発活動を実施しました。	市民に対し、予防接種を円滑に遂行するため啓発活動を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-E	
267 子宮頸がん予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種数 初回 26人・2回目 25人・3回目 29人 合計 80人	積極的勧奨には至っていません。	継続			●	●				VII-E	
268 インフルエンザ菌B型(ヒブ)予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 1回目 3,788人・2回目 3,658人・3回目 3,644人・追加 3,739人 合計 14,849人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
269 小児用肺炎球菌予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 1回目 3,818人・2回目 3,701人・3回目 3,678人・追加 3,553人 合計 14,750人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
270 ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎(ポリオ)・破傷風予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種者数 1回目 3,724人・2回目 3,716人・3回目 3,789人・追加 3,073人 合計 14,302人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●	●					VII-E	
271 風しん予防接種費用助成事業	保健所 地域保健課	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、風しん予防接種の費用助成を行います。	平成 26年度助成者数 323名	赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防することができました。	継続				●	●	●		VII-E	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
272 健康被害補償	保健所 地域保健課	定期予防接種による健康被害救済事業	定期予防接種による健康被害が生じた方に医療費や障害年金など、健康被害補償を実施した。	定期予防接種による健康被害が生じた方に適切に健康被害補償を行うことができました。	継続		●	●	●			●	VII-E	
273 水痘予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種数 1回目 5,061人・2回目 2,163人 合計 7,224人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
274 高齢者の肺炎球菌 予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	接種数 10,031人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続							●	VII-E	
275 青少年自主活動 支援事業	人権政策室 豊中・人権まちづくりセンター	青少年の自主活動を支援するとともに青少年リーダーを養成する中で、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図っています。	事業実施回数 330回 参加延人数 4,254人 青年リーダー研修や学習クラブ等の事業を実施しました。	事業を通して、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
276 青少年自主活動 支援事業	人権政策室 豊中・人権まちづくりセンター	小・中学生の学習習慣づくりと自学自習力の向上を支援しています。また、児童館事業での子どもとの関わりを通して、人権・同和問題を共に考える青少年リーダーを養成しています。	ボランティアリーダー 実施回数 65回 延参加人数 70人 インターンシップ・教育実習 実施回数 42回 延参加人数 115人 青少年指導者養成講座 実施回数 2回 延参加人数 46人 はなまるまなびのひろば 実施回数 36回 延参加人数 161人 学習クラブ 実施回数 96回 延参加人数 461人	講師や職員間の中で、子ども一人ひとりの課題の発見や、どんな手を差し伸べられるのかを確認し合えることにより、子どものやる気や集中力が高まっています。また、青少年リーダーとして役割を担ってもらうことで、人と人との関わりの大切さを知る機会となっています。また、障害のある子どもたちも参加できる場となっています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
277 地域交流活動促進 事業	人権政策室 豊中・人権まちづくりセンター	さまざまな交流事業を通して、青少年の豊かな育ちを支援するとともに、地域での青少年や保護者の自主的な活動を支援し豊かな人間関係づくりを促進しています。	事業実施回数 108回 参加延人数 5,135回 高齢者との交流や豊池小学校・第十八中学校との交流事業を行いました。	事業を通して、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
278 地域交流活動促進 事業	人権政策室 豊中・人権まちづくりセンター	地域の団体や関係機関などと連携しながら、多くの子どもたちや保護者などが参加する交流事業を実施しています。また、この取り組みを通して、地域で活動するさまざまな世代の人や団体などとの交流を深め、子どもを取り巻く環境づくりの支援を行っています。	ふれ愛ネット関係 実施回数 13回 延参加人数 892人 夏まつり関係 実施回数 5回 延参加人数 1,887人 人権まちづくりフェスタ関係 実施回数 4回 延参加人数 811人 おはなし会 実施回数 3回 延参加人数 19人 自主サークル関係 実施回数 52回 延参加人数 404人 世代間交流活動 実施回数 6回 延参加人数 65人 保育教育協議会関係 実施回数 6回 延参加人数 108人 保小中連絡会 実施回数 6回 延参加人数 25人	地域の人が集う行事や活動に子どもたちが参加することにより、社会的な経験を豊かにしていく機会となっています。また、子どもの想いや生活状況に即した課題や問題について、小中学校との連絡会やふれ愛ネットの見守り等によりタイムリーな解決や対応ができる体制へと取り組みが進んでいます。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
279 情報収集・提供等事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	青少年の健全育成や子育てに関する今日的課題について情報収集し、地域における青少年や保護者の自主的活動を促進する学習情報や人権に関する情報を発信しています。	事業実施回数 41 回 参加延人数 407 人 児童館だよりの発行、事業実施案内の提供、関係機関との意見交換を行いました。	人権意識の高揚と差別や偏見のないまちづくりの推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
280 情報収集・提供等事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	児童館事業などの広報をはじめ、自主的活動を促進する学習情報、人権・教育・子育て・子どもなどに関する情報を収集・発信しています。また、人権に関する学習機会の提供を行っています。	小中学校地域学習 実施回数 8 回 延参加人数 184 人 じどうかんだより発行 発行回数 11 回 発行部数 26,210 部	情報提供により児童館事業に対する市民の認知度が向上し、利用者の増加へとつながっています。また、小中学校における地域学習等により、子どもたちの生きる力や人を大切にする心を育む機会となっています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
281 生涯学習事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	幅広く文化活動を行うことにより、地域で一貫した生涯学習機能の充実を図っています。	事業回数 405 回 参加延人数 6,493 人 識字教室や現代的課題講演会、登録サークルの育成と支援を図りました。	人権意識の高揚と差別や偏見のないまちづくりの推進を図ることができました。	継続						●	●	VII-F	
282 生涯学習事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	人権を大切にする豊かな人間関係と文化創造をめざした生涯学習活動を支援する事業を行っています。	識字教室 実施回数 37 回 延参加人数 436 人 サークル育成関係 実施回数 995 回 延参加人数 12,027 人 人権文化まちづくり講座 実施回数 6 回 延参加人数 356 人 人権パネル展 実施回数 6 回 延参加人数 2,163 人 地域体験学習支援 実施回数 4 回 延参加人数 37 人	生涯学習活動への支援を通じて、差別や偏見のない一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりをめざして、今後も継続して取り組んでいきます。	継続						●	●	VII-F	
283 地域交流事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	人権を軸とした地域交流の推進と人権文化のまちづくりを地域に寝付かせるため、地域の関係団体・機関と連携し、人権同和問題解決に向けた情報発信をすすめています。	事業回数 16 回 参加延人数 5,940 人 蛸池納涼祭やまちづくりコンサートを行い、人権文化のまちづくりの推進を図りました。	地域の関係諸団体と協働して事業を行うことにより、人権意識の高揚と差別や偏見のない人権尊重のまちづくりの推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
284 地域交流事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	様々な地域の交流事業を促進し、共に生きる地域社会の実現を地域の機関・団体等と協働して進めています。	夏まつり関係 実施回数 7 回 延参加人数 1,912 人 人権まちづくりフェスタ関係 実施回数 5 回 延参加人数 823 人 世代間交流事業 実施回数 10 回 延参加人数 686 人 克明ささえあいネット活動 実施回数 13 回 延参加人数 194 人	今後も、多くの関係団体と協働し、人権尊重のまちづくりをめざし継続して取り組んでいきます。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F	
285 健康福祉サービス苦情調整委員会	地域福祉室	健康福祉サービス受給にかかる市民等から苦情や相談を受け、調整を行います。	健康福祉サービスの苦情調整を行いました。苦情相談件数：41 件	利用者の権利擁護、利用者本位のサービス選択、利用者支援に貢献しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
286 被爆者援護事業	地域福祉室	被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	被爆伝承活動は小学校等からの依頼により年間13回開催しました。被爆者相談対応件数は、年間のべ472件でした。	原爆に関する各種行事や相談支援活動および伝承活動を積極的に行っており、成果は高いです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
287 献血推進事業	地域福祉室	献血普及のための啓発、献血の計画および実施、献血広報活動、地域献血組織の育成等を行います。	市内の各地域において、献血推進協議会(豊中市社会福祉協議会に設置)主催の献血事業を92回実施し、3,417人が献血に参加しました。	献血者数の減少がみられるため、より積極的な広報・啓発が必要だと考えられます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
288 社会福祉協議会事業補助	地域福祉室	社会福祉協議会に対して事業補助を行います。	社会福祉協議会の対象事業に対して補助金を交付しました。CSW配置事業支援相談件数:1,263件	補助対象事業に対し、十分な成果が出ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
289 街かどデイハウス事業運営補助	いきいきセンター 高齢者支援課	要支援・要介護認定を受けていない高齢者に介護予防サービスを提供する住民参加型非営利団体等に対し、運営費補助等の補助金を交付します。(事業内容:健康チェック、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防活動、給食、レクリエーション等の日常生活向上に資する事業)	延利用人数:14,988人 延利用時間数:82066.5時間	新しい講座の開催もあり、各街かどデイハウスで工夫を凝らして意欲的に活動しています。	継続							●	VII-F	
290 高齢者虐待防止ネットワーク会議	いきいきセンター 高齢者支援課	ライフセーフティネット総合調整会議の高齢部会を「高齢者虐待防止ネットワーク会議」として位置づけ、関係機関の連携を図ります。	ライフセーフティネット総合調整会議開催回数:1回	関係機関で意識的に、また計画的に高齢者7虐待防止に取り組み、ライフセーフティネット総合調整会議を開催しました。	継続							●	VII-F	
291 地域活動支援センター事業	いきいきセンター 障害福祉課	(地域活動支援センターくも、サポートセンターる〜ぶ、豊中市障害者自立支援センターに委託) ・活動支援型:創作的活動、生産活動、社会との交流促進、食事・入浴等の日常生活における便宜の供与、機能訓練・社会適応訓練等。 ・相談支援型:創作的活動、生産活動、社会との交流促進、福祉サービス・社会資源を活用するための支援、施設や病院から地域に戻るための支援、ピアカウンセリング、権利擁護のための援助、自立支援協議会の運営、障害当事者活動の育成、地域住民ボランティアの育成、啓発活動等。	活動支援型:延べ204人 相談支援型:延べ11040人	障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な便宜の供与を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
292 地域保健等諸活動 団体支援事業	保健所 保健企画課	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、 豊中市薬剤師会、豊中精神保健福祉 協議会、豊中公衆衛生協力が地域 のために行う保健・医療・福祉の連携、 健康教育、健康情報の発信、会員の資 質向上等の活動に係る経費の一部を 補助します。	左記団体が地域のために行う保健・医 療・福祉の連携、健康教育、健康情報 の発信、会員の資質向上等の活動に 係る経費の一部について補助を行いま した。【補助実績】豊中市医師会(6, 571千円)、豊中市歯科医師会(2, 742千円)、豊中市薬剤師会(1,009 千円)、豊中精神保健福祉協議会 (151千円)、豊中公衆衛生協力が (151千円)	各種団体による活動内容の継続及 び充実が図れました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
293 保健医療審議会	保健所 保健企画課	市長の諮問に応じて豊中市の保健医 療についての総合的な施策その他の重 要事項について調査審議し、意見を答 申することを目的に設置。行政職員を 含め学識経験者、市民委員などで構成 されています。	2回開催。保健所の事務概要や取り組 みを中心に報告したほか、豊中市にお ける健康づくりの進め方についてご意見 をいただきました。	保健所の事業や26年度のトピック スについて、市民の方や団体の方 に知っていただく機会となりました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
294 お薬講座	保健所 保健企画課	お薬講座や地域での出前講座等を通 じ、市民に薬の正しい知識の普及を図 ります。	・お薬講座や講習会、出前講座を開催 しました。(10回、延べ286人参加) ・薬と健康の週間街頭キャンペーン を実施しました。(延べ300人参加)	・出前講座では様々な世代の方を 対象に、薬の正しい使い方につ いて、伝達できました。 ・お薬講座では講演テーマを決め、 掘り下げた内容の講演ができた。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
295 難病事業(地域ケア システムの構築)	保健所 保健予防課	医療・保健・福祉等の関係機関と、連 携会議や、研修会を通して、機関相互 の連携を深め、難病患者支援システ ムの質の向上に努めます。	北部地域の保健所(池田・吹田・豊中 市)で患者の療養支援体制づくりのため に北部地域神経難病医療ネットワー ク会議等を2回開催。関係機関向け研 修会を2回開催	ネットワーク会議では連携システム 等について検討しました。関係機関 研修会では、難病についての知識、 技術等の情報提供に努めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
296 休日等急病診療事 業	保健所 保健予防課	(一財)豊中市医療保健センターに事 業委託し、市立庄内保健センターにお いて、医療機関の体制が不十分である 日曜日、祝日、休日、夏期(8月14 日・15日)及び年末年始における内 科、小児科、歯科の急病患者を受入れ ます。	庄内保健センターにおいて、延べ診療 日数74日、延べ患者数2,378人の 診療を行いました。	医療機関の体制が不十分な休日 等に診療を行うことにより、市民の 健康の保持に寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
297 健康づくり推進委員会 事業	保健所 地域保健課	市が行う保健福祉等に関する事業を市民の立場から普及啓発を行います。	・健康づくり推進委員会:校区分 22 校区、推進員数 151 人・市民健康づくりフォーラムの実施:参加人数 123 人 ・校区健康教室:48 回、参加者数 1,331 人 ・校区健康づくりサポート事業:94 回、参加者数 16,096 人 ・催しでの健康啓発ブースの出展:ふれあい緑地フェスタ、豊中まつり	市民の自主的な団体として、市民の健康づくりの推進と保健福祉の向上を目的に活動。小学校区単位に健康づくり推進員及び代表者を配し、保健行政と地域との連携の役割をも担います。2つの催しに健康啓発ブースを出展。校区において健康教室の実施また健診受診勧奨物品やチラシなどを配布し、市民への健康づくりに対する啓発活動を行なえました。	継続				●	●	●	●	VII-F	I-C II-C III-C VI-C
298 子育てつどいの広場 事業	保育幼稚園室	乳幼児とその親が集う場の提供や育児相談を実施します。	つどいの場の提供 3,275 組 6,984 人	保護者が相談しやすい雰囲気づくりを行い、参加人数を少なくして、ホットタイムを実施しました。子育て支援センターとの地域的な整合性を検討し、平成 26 年度末で事業を完了しました。	完了	●	●			●	●	●	VII-F	
299 子育て支援センター ほっぺ事業	保育幼稚園室	地域の子育て支援センターを統括する中核的な施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座、地域の子育てを支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートします。食育講座なども行っています。	子育て相談 2,239 件 ほっぺ講座(食育講座を含む)13 回	子育て中の保護者から、お子様と保護者と祖父母との関係づくりについての相談が数多く寄せられます。そこで、外部講師を招き『パパ・ママ・ばあば・いじいじ 良い関係づくりと豊かな子育てのコツ』というテーマのもとに「ほっぺ講座」を実施しました。土曜日開催だったので、男性参加も多くありました。	継続	●	●			●	●	●	VII-F	I-C II-C VIII-A
300 地域子育て支援センター 事業	保育幼稚園室	地域の子育て支援の拠点施設として市内 16 か所(てしま幼稚園内含む)において、子育て相談、情報提供、講座の開催、サークルの育成、あそびや交流の場の提供を行います。子育て関係機関・団体と連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組みます。食育講座等(はみがき指導)も行っています。	子育て相談 15,087 件 センター講座(食育講座を含む)217 回	所内の畑で育てた野菜を利用して、保育所技能員と連携を図りながら講座を実施しました。日ごろは食べない野菜もたくさん友達と一緒に食べましたという声もいただき、食に触れる機会となりました。	継続	●	●			●	●	●	VII-F	I-C II-C VI-B VIII-A
301 寄り添い型学習・生活 支援事業	教育センター	青少年の社会的自立に向けて、高校進学・卒業等への支援を行います。生活自立支援の一環として軽運動やクッキング等を実施しています。	中学 3 年生～高校 3 年相当年齢の青少年に生活支援の一環として、バスケットボールや卓球等の軽運動、コロッケや豚汁など身近なメニューを中心としたクッキングを実施しました。	対象の青少年が高校進学・卒業等に向け、心身の健康を考えたり、技能を身に付けてたりすることができました。	継続			●	●				VII-F	I-C II-A

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
302 修学旅行等付添看護師派遣事業	教育推進室	修学旅行等泊を伴う行事において、付添看護師派遣の助成事業を行い、子どもの健康管理及びけが・疾病への対応を行うことにより児童生徒の安全を確保します。	派遣要望のあった小中学校 56 校に対し、延べ 58 人の付添看護師への謝礼金及び旅費の執行により助成事業を行いました。	宿泊行事中の児童生徒全体の健康管理及び配慮を要する子どもへの適切な対応が行われました。	継続			●					VII-F	
303 各種負担金・補助金(保健振興費)	教育推進室	豊中市学校保健会総会・専門委員会研修会・豊中市中学校体育連盟の充実発展に向け、開催・指導調整を行います。	各補助金交付要綱に基づき、豊中市学校保健会に対しては研修会及び啓発・活動関係経費として、豊中市中学校体育連盟に対しては総合体育大会・種目別大会運営費としてそれぞれ補助金交付を行いました。	それぞれの独自性・専門性を生かした事業・活動を展開でき、保健会では今日の課題に応じた研修会の実施、中体連では各大会の充実につながり活性化が図れました。	継続			●	●	●	●	●	VII-F	
304 小中学校環境衛生	教育推進室	小学校および中学校の環境衛生の向上を図るため、各種学校環境衛生検査を実施し、適切な環境の維持に努めます。	学校環境衛生基準に基づき、飲料水・貯水槽外観検査・プール水質検査・教室の照度及び空気検査を学校薬剤師により実施しました。	学校薬剤師の指導助言のもと、各種の検査を実施することにより適切な環境を維持することができ、学校の安心安全につながりました。	継続			●					VII-F	
305 遊びのボランティア紹介事業	青少年育成課	竹とんぼや飛行機づくり、手芸やけん玉など、昔ながらの遊びを含め、様々な遊びの技能を持った市民や団体を登録し、派遣を希望することも会、学校、PTA、児童会などの団体に紹介します。	登録団体数:17 団体 ボランティア内容:人形劇、マジパルーン、マジック、こま回し、リコーダー、弟子将遊び、けん玉、玉すだれなど	10,000 人を超える子どもたちが、伝承遊びの魅力を満喫したり、音楽をととした情操教育の機会を得たものと評価できます。子どもたちにとってもボランティア活動の大切さを感じてくれたと考えられます。	継続		●	●					VII-F	
306 コミュニティソーシャルワーカー配置事業	豊中市 社会福祉協議会	(市補助事業) 制度の狭間を担う専門職として、介護保険の生活圏域ごとに2名ずつ配置。福祉なんでも相談のバックアップや、地域福祉ネットワーク会議の開催などに取り組んでいます。	なんでも相談窓口相談件数…435 件 CSW支援相談件数…1,263 件 延べ対応件数…5,460 件 地域福祉ネットワーク会議…14 回 延べ 1,171 名参加	地域福祉ネットワーク会議では各圏域にある高齢、障害、自動などの施設が施設同士、また地域との関わりを持てるように支援します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	III-C V-C
307 地域福祉活動支援センター事業	豊中市 社会福祉協議会	(市補助事業) 市立のデイサービスセンター内に設置された地域福祉活動支援センターにおいて、ボランティアに関する講座などを実施。また、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、さまざまな福祉相談に応じています。	延べ来場者数…14,937 名 講座開催…10 回 延べ…190 名参加 作品展開催…24 回 延べ…3,358 名来場 車いす貸出し…26 件	様々な講座や展示を行うことで地域の人たちの交流の場の提供をしています。また、相談に応じることで不安の解消につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●		VII-F	

Ⅷ.子育て・子育て

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
308 父親の子育て参画を推進する講座「両親教室」	人権政策室	((一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 赤ちゃんの入浴、着替えなどを体験することを通して父親が子育てに参加することの大切さを理解してもらい、父親の子育て参加を図ります。(保健予防課との共催事業)	両親教室:年間6回実施 553組が参加しました。「働く女性のちよこっと相談」ブースを設けて、初妊婦の就労継続について相談を受けています。	父親となる男性に赤ちゃんの沐浴体験などを通じて健康と育児について理解してもらい、父親の子育て参加を促しました。	継続	●			●	●	●		VIII-A	VIII-B
309 男女共同参画計画の推進	人権政策室	第2次男女共同参画計画に掲げる事業の進行管理を行います。ワークライフ・バランスを推進する一環として、育児に関する制度等の情報提供を行います。	研修により、男性の育児参加やワークライフ・バランスの大切さを啓発。また、大阪府作成の冊子「すすめよう!ワークライフ・バランス」や、すてっぷ作成のリーフレット「仕事中心の生き方からワークとライフの充実で自分の望む未来へ!」を引き続き配架。	継続的な啓発への取り組みとなりました。	継続				●	●	●		VIII-A	
310 人権ケースワーク事業	人権政策室	地域のセーフティネットとしての身近な相談体制の充実を図るため、身近な人権相談に対する適切な助言ならびに情報提供や事案に応じた適切な機関の紹介、取次、人権侵害の実態把握を行っています。	毎週月・水・金 9時~12時、13時~17時 第2・第4木 13時~15時相談窓口を開設。	親からの育児上の相談なども含め、地域住民の様々な相談を受けて継続的に関わることで相談者の問題解決に寄与することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VIII-A	
311 ファミリー・サポート・センター事業	こども政策室	子育てをしているすべての家庭を支援するため子育ての援助が必要な人と子育ての援助ができる人とを結びつける会員制の育児支援ネットワーク。親のリフレッシュ目的での利用などもあり、親の心の健康にも繋がっています。	・会員数 1,888人 (内訳)依頼会員 1,428人 援助会員 359人 両方会員 101人 ・活動回数 3,575回	活動回数は前年度の4,097回から減少しているものの、会員数は、前年度の1,773人(内訳:依頼会員1,348人、援助会員335人、両方会員90人)から増えており、育児支援のネットワークは広がってきています。	継続				●	●	●		VIII-A	III-C
312 子育て短期支援事業	こども政策室	保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について一週間以内や日帰りで施設に受け入れます。	ショートステイ延べ261日(日数×児童) トワイライト延べ4日	保護者の疾病や仕事、冠婚葬祭、レスパイトケアとしての利用がありました。母の出産時に上のお子さんを預かったり母子家庭の母が仕事で出張時の利用等困ったときに、安心して預けられる制度として役立っています。しかし、施設の定員に空きがなかったり病気の流行等により利用できない時もあることが課題です。	継続	●	●		●				VIII-A	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
313 育児支援家庭訪問事業 こんにちは赤ちゃん事業	保育幼稚園室	児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭を訪問して育児に関する相談や助言等の支援を行います。生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握に努め相談や助言等の支援を行います。	育児支援家庭訪問 45件 85回 こんにちは赤ちゃん訪問 対象家庭数 3,587件	こんにちは赤ちゃん訪問時において、子育て支援の情報提供を行い、子育て支援センター、子育てサロン等への利用につなげました。保健センターと連携を図りながら、保護者の子育て不安の軽減に努めました。	継続	●	●			●	●	●	VIII-A	
314 保育・療育 (福祉型児童発達支援センター)	保育幼稚園室	成長発達に何らかの課題をもつ子どもに、それぞれの育ちに応じた保育・療育を行います。園庭を開放し、地域の親子と関わることで地域の子育て支援につなげています。成長・発達に関して電話相談や外来相談を行っています。	年齢別の小集団クラスの中で、子ども1人ひとりの発達や特性に応じた療育を行っています。生活や遊びを通して、保護者や担任、友だちとの関わりを大切にしています。 療育相談:15件 保護者教室 9回 園庭開放:21組 電話相談:46件 外来相談:11件	日々の療育や療育相談の中で、多職種、専門職が連携をしながら関わり、子どもの発達支援や保護者支援に繋がりました。保護者教室を通して情報提供や保護者の子ども理解に繋がりました。園庭開放は、参加者が少なく、呼びかけに工夫が必要です。	継続		●						VIII-A	VII-D
315 障害者虐待防止 対策支援	いきいきセンター 障害福祉課	障害者虐待防止センターにて、養護者、福祉施設従事者、使用者による虐待に関する相談や通報の受付、啓発活動を行います。地域における関係機関等の協力体制を図り、障害者虐待の未然防止、早期発見、養護者支援など、迅速な対応やその後の適切な支援を行います。	通報:16件 届出:1件 相談:21件 合計:38件	地域の様々な支援機関と連携し、障害者虐待の未然防止、早期発見、迅速な対応やその後の適切な支援を実施しました。	継続		●	●		●	●	●	VIII-B	VII-A
316 児童虐待相談事業	こども政策室	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援を実施します。	児童虐待相談対応件数(人)が310人となり、前年よりも増加している。	児童虐待の早期発見・早期対応を実施することで、被虐待児童の重症化を防ぎ、虐待対応件数の増加に歯止めをかける役割を果たしました。	継続		●	●		●			VIII-B	
317 児童虐待防止ネットワーク事業	こども政策室	児童虐待予防・発見・早期支援のために、関係機関の連携・協力体制を確立します。	代表者会議1回、実務者会議14回(運営会議を含む)、ケース会議60回実施	被虐待児童の援助内容の進行管理の徹底など児童虐待の防止対策を講じることで、被虐待児童の重症化や対応件数の増加の抑制に効果がありました。	継続	●	●	●		●			VIII-B	
318 公立保育所施設運営	保育幼稚園室	児童の健康増進、所内の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	健康調査・健康検査など進めてきました。また新たに眼科検診を始めました。	児童の健康増進、所内の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	継続		●						VIII-B	VII-D

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
319 教育相談・支援事業	人権政策室 蛭池人権まちづくりセンター	青少年の教育などに関する相談を行うとともに、学校や関係機関とのネットワークづくりをすすめ、青少年や家庭を支援しています。	事業実施回数 86 回 参加延人数 643 人 育児不安を取り除くための子育て相談や家庭教育相談を実施し、保育所との連携を強化しました。	地域の関係機関と連携した相談ネットワーク化の推進に貢献できました。	継続		●	●	●	●	●	●	VIII-C	
320 教育相談・支援事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	子ども、保護者からの子育てや教育等に関する相談事業を実施しています。また、地域の関係機関等と連絡して支援を行っています。	延べ相談件数 330 回	保護者や子どもたちからの継続的な相談ケースも多く、相談者の話をじっくり聴くことで信頼関係の構築につながりました。	継続		●	●	●	●	●	●	VIII-C	
321 子育て心の悩み相談事業	こども政策室	子育ての悩みや不安、子どもの心身の発達に関する相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行います。	相談人数 344 人、延べ 1,954 件	子育ての悩みや不安、乳児院の心身の発達についての相談を受け、保護者自身らが課題に向き合っていけるように援助。この相談事業から児童虐待が発覚したケースもあり、虐待予防の役割も担っています。	継続		●	●					VIII-C	
322 民間保育所運営助成	保育幼稚園室	地域の子育て支援の為に事業補助を行います。	32 か所の民間保育所に対し、世代間交流事業や育児講座等に必要な補助を行いました。	補助を行った民間保育所数が昨年度と同様の 32 か所で、地域子育て支援活動実施保育所数を維持できました。	継続		●						VIII-C	
323 キッズフェスタ	保育幼稚園室	子育て支援の一環として、関係機関と連携し、子育てに係る情報を提供するとともに、親子でふれあい、遊ぶ機会を提供しています。	キッズフェスタ参加人数・・・延 2,500 人	子育て支援の一環として、関係機関と連携し、子育てに係る情報を提供するとともに、親子でふれあい、遊ぶ機会を提供しています。	継続	●	●	●	●	●	●		VIII-C	I-C II-B
324 子育て支援ネットワーク事業	豊中市 社会福祉協議会	(市補助事業) 市内の子育てサークルの情報を一元化した「子育てサークルマップ」の発行や、子育てサークル同士のミーティングの実施、校区福祉委員会による子育てサロンを開催しています。	子育てサークルマップ 6,000 部発行 わいわい子育てミーティング開催	サークルマップを見た市民から多くの問合せがあります。子育てサロンでは、悩み事の相談やママ同士のつながりや情報交換の場としても役立っています。	継続	●	●						VIII-C	

その他

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
325 外国人向け市政案内・相談窓口	人権政策室	来庁する外国人へ基本的な行政情報を提供するとともに、行政サービスに関する相談(通訳)を行っています。通訳業務においては、母子手帳、予防接種手帳の交付などに付き添う場合もあります。	案内・相談 1,670 件。うち、保健(出産・予防接種等)に関するものは 73 件。	医療・保健に関する相談も含め、前年度よりも相談件数が増加しました。保健に関する情報提供ができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
326 国際化施策の推進	人権政策室	豊中市国際化施策推進基本方針に基づき、事業を展開しています。とよなか生活ガイドブック冊子(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)では、母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しています。	国際化施策連絡会議を開催し、多文化共生のまちづくりに向けての啓発と、とよなか生活ガイドブック改訂(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)等。	相談窓口を中心に、来庁した外国人へとよなか生活ガイドブック冊子を配布することで、医療・保健に関する情報を発信することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
327 自治基本条例に基づく取組みの推進	企画調整室	市民、事業者および職員への条例の周知、条例に基づく施策等の具体化を推進します。	平成 27 年 1 月に、市内全小学校 6 年生を対象に「豊中市自治基本条例の手引き【子ども版】」を配布しました。実際に授業で活用していただくことで、将来本市のまちづくりを担う子どもたちに、自分たちのまちに関心を持ってもらうとともに、市のまちづくりを進めるための基本的な考え方やルールを学んでいただく機会になることを目的としています。	26 年度に授業で「豊中市自治基本条例の手引き【こども版】」を活用した小学校は全体の約 7 割で、前年度より増加しています。27 年度はさらに周知してもらうよう、6 年生の担任教諭に事前に配布する予定です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
328 広報とよなか等の発行	広報広聴課	「広報とよなか」の発行、テレホンガイドの発行、市街地図「とよなかもっぷ」の発行、外国人向け市政情報案内チラシの作成、広報誌・テレホンガイドへの広告掲載を行います。	広報とよなかを毎月発行し、全世帯、全事業所に配布。発行数月平均 195,067 部。外国人向け市政情報チラシを毎月発行。テレホンガイドを 7 月に発行。広報誌、テレホンガイドに広告を掲載しました。	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
329 パブリシティ(報道機関への情報提供)	広報広聴課	報道機関へ行政情報や地域情報などの提供を行います。	405 件の行政ニュースや地域情報などを提供しました。	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
330 映像情報の提供	広報広聴課	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送します。また、同番組のウェブ配信を行います。	市広報番組(30分番組、1日3回放送。10日ごとに内容更新)で行政情報や市内イベント、地域・市民活動等を紹介しました。	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
331 インターネットを活用した情報発信等	広報広聴課	インターネットを活用した情報発信およびメールによる市民の疑問や意見の収集を行います。また、財源確保の一環としてバナー広告の掲載を行います。	市公式ホームページを運用し、情報の受発信を行うとともに、フェイスブックで市の魅力を写真と文章で紹介しました。(ホームページ全ページアクセス数月平均 629,156 件、総コンテンツ数月平均 10,316 ページ)	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
332 苦情・要望・陳情への 対応	広報広聴課	投書箱、電子メール、郵送、面談、電話、ファクスなどで寄せられる市政に対する意見、陳情、要望を受け付けます。	市民の声受付件数 691 件 陳情要望件数 5 件	寄せられた市民の声の要旨と市の回答をホームページで紹介し情報共有しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
333 施設見学・庁舎見学	広報広聴課	豊中市伊丹市クリーンランド、原田学校給食センター他約 50 施設を見学対象とし、市のマイクロバスで送迎します。平日の午前か午後、希望される市の施設 2、3 か所の見学ができます。また、庁舎見学では市の小学校 3 年生を対象に、屋上からの市内眺望と議場の見学を行います。	施設見学実施回数：10 回、参加人数：165 人 庁舎見学実施回数：8 回、参加人数：700 人	継続して参加を呼びかけます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
334 出前講座	広報広聴課	約 130 のテーマの中から希望講座を選択。市の職員が地域に出向き、担当事業や制度内容を分かりやすく説明します。	実施回数：169 回、参加人数：6,648 人	継続して市民の利用を呼びかけます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
335 意見公募手続制度の 推進	広報広聴課	市の基本的な制度や事項を定める計画や条例案などを定めるにあたって、事前にその案を公表して広く意見を募り、その意見を計画や条例案などに反映させていきます。	意見公募件数：24 件 意見提出者数：87 人 提出意見数：346 件	意見公募手続制度の推進を継続して行います。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
336 協働推進の公募制度	コミュニティ政策室	市が課題を提示し、市民公益活動団体から企画提案を募る提案公募型委託制度と、市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。	1. 提案公募型委託制度 ①募集件数 2 件 ・豊中まつりでの「くらしかん」周知・啓発の企画・実施 ・中学生向け消費者問題で前教室の企画及び実施事業 ②提案件数 3 件 ③契約件数 2 件 2. 協働事業市民提案制度 ①募集説明会参加 10 団体 ②申込 1 団体 ③成案化事業件数 1 件 事業名：住生活コーディネーター養成・活用プロジェクト	提案公募型委託制度新規事業は、25 年度 4 件から 2 件に減少。協働事業市民提案制度は、25 年度に引き続き 1 件の成案化。 課題は、協働の意義や成果についての市民・職員の理解を深めること・市民と行政で地域課題の共有を図ることで、お互いに有益な関係づくりと、協働を評価するしくみづくりが必要です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	

第3章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	26年度実施状況・実績	評価	27年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
337 市民公益活動 推進助成金制 度	コミュニティ 政策室	市民公益活動事業に必要な経 費の助成を希望する団体の公 募を行い、公開プレゼンテーショ ン・審査を経て交付決定しま す。事業実施後に報告会を行 います。	1. 助成金交付団体数 11 団体 2. 助成金交付事業： ①うつのE場所『ちゃんす』 ②子どもがつくる多世代交流型ZINE ③地震による住民の避難経路図の作成と防災対策 ④演劇青春塾わにまーる ⑤蛍池ミュージックパーティ ⑥浜松ライオネット児童合唱団・豊中少女少女合唱 団ジョイントコンサート ⑦シアタースタート〜もっとかんげきして子育て〜 ⑧産後ママ応援事業「ママになった記念祭〜おめで と！お母さんになった私〜」 ⑨あつまれ！元気だ！わんぱくらんど(豊中)の集団 遊び場 ⑩豊中子育て応援マガジン「SMILE」8・9号発行 ⑪カラフルキッチンとよなかま	助成金交付団体数は、25 年度 の 6 事業から 11 事業に増加。 課題として、市民活動団体が抱え る課題やニーズのいっそうの把握 が必要です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
338 市民活動情報サ ロン主催事業	コミュニティ 政策室	市民公益活動のための情報発 信及び交流の場の提供、市民 公益活動の推進に関する情報 の収集・提供、相談、講座の開 催、啓発の実施などを行います。	市民活動情報サロン来場者数 8,502 人 団体情報掲載団体数 134 団体	平成 26 年度より豊中市民サービ スコーナー廃止後のスペースを 活用して、機能を拡充。来場者数 は 25 年度の 5,179 人から大幅 に増加。団体情報掲載団体数 も、25 年度の 122 団体から増 加。課題として、市民活動情報サ ロンの認知度の向上が必要です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
339 専門相談等相 談業務	市民窓口センタ ー市民相談課	市民相談を受ける中で、健康に 関する不安等あれば、健康相 談窓口や、その他相談窓口を 案内しています。	市民相談を受ける中で、健康に関する不安等あれ ば、健康相談窓口や、その他相談窓口の案内を行 いました。	行政内の健康相談窓口やその他 相談窓口の案内を行い、健康づく りへの総合的な支援が行えまし た。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	

ページ 83

■ 所管部局・関連団体名の記載について ■

「所管部局・関連団体」欄は、事業の実施主体を基準として記載しています。
委託事業・指定管理者事業の場合、事業主体はあくまで自治体であることから記載は委託元・指定元である豊中市の組織名称とし、
団体自主事業・補助事業は事業主体である関連団体の名称としています。

その他

平成 26 年度（2014 年度）豊中市健康づくり計画年次報告書

平成 27 年（2015 年）12 月

豊中市 健康福祉部 保健所 保健医療課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6152-7309 FAX 06-6152-7328